

**第3次府中市公共施設マネジメント推進プラン  
進行管理シート**

**令和8年5月**

# 目次

施設名	ページ	施設名	ページ
1 市民会館	1	26 保育所	55
2 府中の森芸術劇場	3	27 幼稚園	58
3 府中の森芸術劇場分館	5	28 学童クラブ	60
4 市民活動センター「プラッツ」	7	29 特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター	63
5 旧府中グリーンプラザ分館	9	30 ふれあい会館	65
6 郷土の森博物館	11	31 介護予防推進センター	67
7 ふるさと府中歴史館	13	32 心身障害者福祉センター「きずな」	69
8 美術館	15	33 保健センター	71
9 生涯学習センター	17	34 市営住宅	73
10 中央図書館	19	35 市民保養所「やちほ」	76
11 地区図書館	21	36 ハケ岳府中山荘	78
12 文化センター	24	37 本庁舎	80
13 総合体育館	27	38 府中駅北第2庁舎	82
14 地域体育館	29	39 市政情報センター	84
15 市民総合プール	31	40 観光情報センター	86
16 地域プール	33	41 消費生活センター	88
17 市民陸上競技場	35	42 リサイクルプラザ	90
18 野球場	37	43 男女共同参画センター「フューラル」	92
19 サッカー場	39	44 自転車駐車場	94
20 庭球場	41	45 府中駅南口市営駐車場	96
21 小学校	43	46 府中の森市民聖苑	98
22 中学校	46	計画的保全の取組	100
23 学校給食センター	49	モデル事業5	103
24 教育センター	51	モデル事業6	105
25 子ども家庭支援センター「たち」	53		

番号・施設名称		主管課	
しゅん工年度	昭和●●（19●●）年度	延床面積	●●㎡ (令和4年度末時点の延床面積を記載する。)
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状を踏まえハード面及びソフト面それぞれで課題となる点を記載する。</li> <li>機能が類似又は重複している施設について記載する。</li> <li>第2次推進プラン策定時以降、新たに発生してきた課題を記載する。</li> </ul>		
今後の方向性	大規模改修や建て替えの時期を見据え、今後の施設の在り方の検討や必要機能の整理、運営面での改善などハード面及びソフト面それぞれについて、長期的な視点で当該施設が取り組むべき項目を記載する。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	今後の方向性を踏まえた第3次推進プラン計画期間中の取組内容を記載する。			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
			●方針決定	
期待する主な効果	取組により期待する主な効果を記載する。			

●進捗管理表

		令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
取組項目	予定	...	...	...	...	...	...	...
	実績	...	...	...	...	...	...	...
	予定	...	...	...	...	...	...	...
	実績	...	...	...	...	...	...	...
	その他の取組等	...	...	...	...	...	...	...
	予定	...	...	...	...	...	...	...
	実績	...	...	...	...	...	...	...
	予定	...	...	...	...	...	...	...

・次期の予定を記載する。  
例 令和8年度下半期の予定の欄（セル）  
→令和8年度上半期に予定している取組を記載

・進捗評価をプルダウンから選択する。  
(評価指標：◎完了、○計画通りに進んでいる、△計画通りに進んでいない、×未着手)

・令和4年度上半期から令和7年度末まで、スケジュールにある取組項目ごとに半年ごとの取組実績と取組予定を記載する。  
・今回記載箇所は、緑色で表示されているところ。  
・スケジュールで、●（方針等の決定）がある年度は、黄色で強調されているので、スケジュール通りに進められるように計画的に取り組む。  
・各施設の運用は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上でのものため、当該対策については特段記載しない。

● 4年間の取組の総括

評価	
取組の成果	項目

・ 4年間の取組の評価をプルダウンから選択する。  
(評価指標： A. 取組完了に伴い進行管理を終了した。 B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。 C. 予定どおり取組を行った。 D. 当初の予定を変更し、方針決定や計画策定を次期プランに引き継いだ。 E. 未着手の取組がある。)

・ 令和4年度から令和7年度末までの、各施設の取組項目の成果を記載する。

I 市民会館		担当課 文化生涯学習課	
しゅん工年度	平成19(2007)年度	延床面積	2,864㎡(共有部除く。) (建物全体 14,190㎡)
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率が低い料理講習室や講師控室を中心に、施設全体の稼働率向上に向けた方策を再考する必要がある。</li> <li>周辺の公共施設と機能の重複が見られるため、一体的に必要な機能の検討が必要。</li> </ul>		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携し、稼働率の向上や収入の増加に向けた方策を検討する。</li> <li>中央図書館との複合施設という特色をいかして、来館者が相互利用できるような施設活用を図る。</li> <li>PFI事業者と連携して、修繕計画に基づいた計画的な維持管理を実施し、効率的な施設運営を行う。</li> <li>市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○指定管理者と連携し、稼働率の向上や収入の増加に向けた方策、来館者が相互利用できるような施設活用の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○期初修繕・改修工事	○修繕計画に基づく計画的な保全及び効率的な施設の維持管理	▽継続	▽継続
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率の向上や歳出の削減</li> <li>施設の維持管理費の効率化</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組	稼働率の向上や収入の増加に向けた方策の検討・実施	実績 令和4年10月以降の第2期PFI事業において、複合施設のメリットを活かせるような事業計画書の提出を求めた。	実績 市民会館、図書館、レストラン・カフェが連携したりニューアルオープンイベントを開催し、複合施設のメリットを最大限活かしながら多くの来館者を集めた。	実績 市民会館、図書館、レストラン・カフェが連携し複合施設のメリットを活かしたイベントを実施した。	実績 市民会館、図書館、レストラン・カフェが連携し複合施設のメリットを活かしたイベント等を実施した。施設の稼働率、利用者人数はコロナ禍前の水準に戻りつつある。	実績 自主事業としてのイベント実施等により、来館者の増加に努めるとともに、HPの更新とチラシの配布など施設のPRを図り、稼働率が10%増加した。	実績 市民会館、図書館、レストラン・カフェの連携事業である全館イベントや自主事業としてのイベントを実施し、来館者の増加に努めた。	実績 市民会館、図書館、レストラン・カフェの連携事業である全館イベントや自主事業としてのイベントを実施し、来館者の増加に努めた。	実績 自主事業としてのイベントを実施し、複合施設間でそれぞれの事業の広報を行うことで、来館者の増加に努めた。
	予定	初期修繕・改修工事終了後、施設のリニューアルイベント等の企画立案・実施。	引き続き、複合施設間の連携を強化し、各種イベントを実施する。	引き続き、複合施設間の連携を強化し、各種イベントを実施するとともに、それらの取組について評価する。	引き続き、複合施設間の連携を強化し、各種イベントを実施するとともに、新たな取組を検討する。	引き続き、複合施設間の連携を強化し、各種イベントを実施するとともに、新たな取組を検討する。	引き続き、複合施設間の連携を強化し、各種イベントを実施するとともに、新たな取組を検討する。	引き続き、複合施設間の連携を強化し、各種イベントを実施する。	引き続き、複合施設間の連携を強化し、各種イベントを実施する。
項目	計画的な維持管理、効率的な施設運営に関する取組(大規模改修等)	実績 期初修繕・改修工事の実施に向け、PFI事業者と協議を進めた。	実績 期初修繕・改修工事を予定通り実施した。	実績 PFI事業者と定期的に打ち合わせを行い、施設維持管理業務の報告を受けた。	実績 PFI事業者と定期的に打ち合わせを行い、施設維持管理業務の報告を受けた。	実績 施設維持管理業務についてPFI事業者及び関係課と定期的に打ち合わせを行い、連携して効率的な施設運営に努めた。	実績 施設維持管理業務についてPFI事業者及び関係課と定期的に打ち合わせを行い、事業者から業務について報告を受けるなど関係者間で連携して効率的な施設運営に努めた。	実績 施設維持管理業務についてPFI事業者及び関係課と定期的に打ち合わせを行い、事業者から業務について報告を受けるなど関係者間で連携して効率的な施設運営に努めた。	実績 施設維持管理業務についてPFI事業者及び関係課と定期的に打ち合わせを行い、連携して効率的な施設運営に努めた。計画修繕の実施に向け、PFI事業者と協議を進めた。
	予定	期初修繕・改修工事の進捗管理を行う。	期初修繕・改修工事後も引き続きPFI事業者において、施設の維持管理・運営等を実施する。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。
項目	将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	実績 ワークショップ「文化・スポーツ施設の将来の方向性を考える」に参加するなど、今後の施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、令和5年2月に実施したオープンハウス開催に関する検討に携わった。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と施設の在り方を検討した。	実績 パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画(案)の作成を支援した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、令和19年度の大規模修繕を見据え、令和8・9年度の計画修繕について検討を行った。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、令和19年度の大規模修繕を見据え、令和8・9年度の計画修繕について実施時期等の検討を行った。
	予定	文化・スポーツ施設配置等適正化業務に関する定例会等において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、今後の施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、今後の施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。
その他の取組等		実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -
予定		-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	稼働率の向上や収入の増加に向けた方策の検討・実施	第2期PFI事業を開始し、市民会館、図書館、レストラン・カフェが連携したイベントを継続して実施した。また、各施設の事業者による自主事業のイベントを実施することで、来館者の増加と稼働率の向上に寄与した。
	計画的な維持管理、効率的な施設運営に関する取組（大規模改修等）	第2期PFI事業開始に伴い、期初修繕・改修工事を実施した。定期的にPFI事業者及び関係課と打合せを行い、事業者からそれぞれの業務について報告を受けるなど関係者間で連携して効率的な施設運営に努めている。
	将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	「文化・スポーツ施設配置等適正化計画」の策定を踏まえて、市民会館の在り方を検討した。また、令和19年度の大規模修繕を見据え、令和8・9年度の計画修繕について検討を行った。

2 府中の森芸術劇場		担当課 文化生涯学習課	
しゅん工年度	平成 2 (1990) 年度	延床面積	31,088㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率の低い会議室について、改修時期を見据えて機能の見直しを検討する必要がある。</li> <li>周辺の公共施設と機能の重複が見られるため、一体的に必要な機能の検討が必要。</li> </ul>		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆指定管理者と連携し、稼働率の向上や収入の増加に向けた方策を検討する。</li> <li>◆修繕計画に基づいた計画的な維持管理を実施し、効率的な施設運営を行う。</li> <li>◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○稼働率の向上や収入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○改修工事に向けた設計	▽改修工事	▽継続	○修繕計画に基づく計画的な保全及び、効率的な施設の維持管理
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）の策定	○結果に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新たな歳入の確保</li> <li>◆施設の維持管理費の効率化</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	稼働率の向上や収入の増加に向けた方策の検討・実施	実績 大規模改修の実施設計において、稼働率が低い会議室の改修内容を検討した。	実績 大規模改修の実施設計において、稼働率が低い会議室の改修内容を決定した。	実績 稼働率向上に向けて会議室の改修工事を実施するための手続を行うとともに予約のオンライン化を検討した。	実績 会議室の改修工事に向けて打ち合わせ等を行った。また、ホール及び平成の間について、予約受付の一部オンライン化を実施し、申込みしやすい環境を整えた。	実績 稼働率向上のための会議室の改修工事に向けた打合せ等を進めた。	実績 会議室の改修工事を行った。また、会議室の改修を含む施設の改修工事のポイントの周知において、施設のパンフレット及び施設の変更点を利用者目録でピックアップした冊子を新たに作成した。	実績 令和7年5月にリニューアルオープンを迎え、改修した会議室等を施設の広報紙等を通じて周知し、施設の稼働率向上に努めた。
	予定	引き続き、大規模改修の実施設計において、稼働率が低い会議室の改修内容を検討する。	稼働率向上に向けて決定した会議室の改修工事を行う。	会議室の改修工事を行うとともに一部の諸室で先行して予約のオンライン化を実施する。また、これらの取組について評価を実施する。	会議室の改修工事を行う。また、会議室以外の諸室でも予約のオンライン化を実施するとともに、新たな取組を検討する。	会議室の改修工事を行う。また、指定管理者と協力して改修後の会議室の周知を行い、稼働率の向上を図る。	新たに作成した施設のパンフレット及び施設の改修工事のポイントをまとめた冊子を配布し、施設の稼働率の向上を図る。	施設の稼働率向上のため、引き続き施設のPRに注力する。
取組項目	計画的な維持管理、効率的な施設運営に関する取組（大規模改修等）	実績 特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修の実施設計を行った。	実績 特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修の実施設計を行った。また、特定天井の落下防止対策について、設計において安全性が確保されているという民間機関の評定を取得した。	実績 特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修工事を実施するための手続を行った。	実績 特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修工事に係る手続を進めた。	実績 令和6年4月から施設を休館し、特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修工事を行った。	実績 令和6年4月から施設を休館し、特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修工事が完了した。	実績 リニューアルオープン後の施設運営において、不具合が発生した箇所の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。
	予定	引き続き、特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修の実施設計を行う。	特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修工事を行う。	特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修工事を行う。	令和6年4月から施設を休館し、特定天井の落下防止対策を含めた大規模改修工事を行う。	引き続き、外壁などを含めた大規模改修工事を行う。	適正な維持管理を行い保全に努める。	引き続き適正な維持管理を行い、保全に努める。
取組項目	将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	実績 老朽化対策連絡会の内容を踏まえ、建築施設課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、建築施設課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画（案）の作成を支援した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、新たな収入源としてネーミングライツの導入を検討したが、市内企業へのヒアリング等の結果を踏まえて導入を見送った。
	予定	引き続き、老朽化対策連絡会の内容を踏まえ、建築施設課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、建築施設課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。
その他の取組等	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -
	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	稼働率の向上や収入の増加に向けた方策の検討・実施	稼働率の低い会議室について、令和6年度に大規模改修工事を実施し、利用しやすい会議室へと改修した。改修に当たっては、稼働率の向上に資する改修内容を検討するとともに、会議室予約のオンライン化を進め、予約しやすい環境を整備した。今後も、施設全体の稼働率向上に向けた取組を継続していく。
	計画的な維持管理、効率的な施設運営に関する取組（大規模改修等）	令和6年度に大規模改修工事を実施した。実施に際しては、特定天井の落下防止対策を含めた改修内容を検討し、予定していたスケジュールのとおり工事を進めることができた。引き続き適正な維持管理を行い、保全に努める。
	将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	令和6年10月に、担当課において「文化・スポーツ施設配置等適正化計画」を策定し、公表したことを通じて、芸術劇場の今後の施設の在り方について検討した。パブリック・コメント等を通じて寄せられた市民意見を踏まえ、今後も芸術劇場の施設機能の在り方について検討を進めていく。

3 府中の森芸術劇場分館			担当課 文化生涯学習課
しゅん工年度	平成29(2017)年度	延床面積	484㎡
課題	令和3年度に設定した指標を達成するための取組を検討する必要がある。		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆指定管理者と連携し、施設の利用に係る課題の抽出及び解決に向けた取組を検討・実施する。</li> <li>◆稼働率の向上に向けた取組を検討・実施する。</li> <li>◆施設の効率的な維持管理・運営について検討・実施する。</li> <li>◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○利用状況調査の実施及び課題抽出	○課題解決のための方策の検討及び決定	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討
	○稼働率の向上に向けた取組の検討及び決定	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○取組の実施及び評価
	○施設の効率的な維持管理・運営手法の検討及び実施	▽継続	▽継続	▽継続
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆稼働率の維持や歳出の削減</li> <li>◆施設の維持管理費の効率化</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取	施設の利用に係る課題の抽出及び解決に向けた取組の検討・実施	実績 利用者アンケートの回答をもとに利用者の満足度向上のため施策を検討した。	利用者更なる満足度向上のため、2月に利用者アンケートを実施した。	アンケートの結果、利用者の満足度は高い水準で推移していることから、この水準を維持するための方策を検討した。	2月に利用者アンケートを実施し、利用者からの要望が高い楽器等の修繕を行った。	稼働率、利用者の満足度ともに高い水準を維持しているため、現状の運営を継続することにした。	利用者の意見を聴取するため、2月に利用者アンケートを実施し、高い満足度を維持していることが分かった。	利用申込手続の見直しについては、公共施設予約システムの入替えに併せて行うこととした。	2月に、施設の利用者を対象として、属性(年代・職業等)、利用目的、利用頻度、施設設備やサービスに対する満足度、要望などを把握するためのアンケートを実施した。
	予定	引き続き、利用者アンケートの回答をもとに利用者の満足度向上のため施策を検討する。	アンケートの回答を精査し、利用者の満足度向上のための施策を検討する。	満足度維持のための方策について引き続き検討する。	アンケートの結果を精査し、利用者の満足度維持のための施策を検討及び実施するとともに、取組について評価する。	引き続き利用者アンケートを実施し、意見の聴取に努める。	アンケートの回答で利用申込書手続が難しいという意見があったため、手続の簡素化を検討する。	引き続き利用者アンケートを実施し、意見の聴取に努める。	公共施設予約システムの入替えに併せて、利用申込手続の見直しを検討する。
組	稼働率向上に向けた取組の検討・実施	実績 ツイッター等での空室情報の発信(週1回)を継続して行った。	ツイッター等での空室情報の発信(週1回)を継続して行った。稼働率はコロナ禍前の水準に戻りつつある。	引き続きSNSを活用して空室情報の発信を行った。	SNSを活用した情報発信に加えて、芸術劇場が発行している刊行物に広告を掲載し知名度向上を図った。これらの取組によって新規利用者が増える効果が確認できた。	引き続きSNSを活用して空室情報の発信を行った。稼働率は前年度よりも高くなった。	郷土の森博物館が発行する刊行物に広告を出し、施設のPRを行った。稼働率は前年同様高い水準を維持している。	引き続き、SNSや刊行物を活用して積極的な情報発信を行った。	これまでの取組に加えて、3月中におもやのデジタルサイネージを利用した施設PRについて調整を進めた。
	予定	引き続き、ツイッター等で積極的な空室情報の発信を行う。	引き続き、SNSを活用して積極的な空室情報の発信を行い、稼働率の向上を目指す。	SNSの活用に加えて、稼働率維持のための広報を検討する。また、SNSの活用について取組を評価する。	引き続き、SNSや刊行物を活用して積極的な情報発信を行う。また、新たな取組について検討する。	劇場本館の休館に伴い刊行物も休刊となったため、他の媒体での情報発信を検討する。	引き続き、SNSや刊行物を活用して積極的な情報発信を行う。	これまでの取組に加えて、おもやのデジタルサイネージを利用して施設のPRを行う。	引き続き、SNSや刊行物を活用して積極的な情報発信を行う。
項	施設の効率的な維持管理・運営についての検討・実施	実績 故障箇所について迅速に修繕を行った。また、定期的に保守点検を行い予防保全に努めた。	故障箇所について迅速に修繕を行った。また、定期的に保守点検を行い予防保全に努めた。	故障箇所について迅速に修繕を行った。また、定期的に保守点検を行い予防保全に努めた。	故障箇所について迅速に修繕を行った。また、定期的に保守点検を行い保全に努めた。	故障箇所について迅速に修繕を行った。また、定期的に保守点検を行い保全に努めた。	経年劣化による故障箇所について計画的に修繕を行った。また、定期的に保守点検を行い保全に努めた。	経年劣化による故障箇所について計画的に修繕を行った。また、定期的に保守点検を行い保全に努めた。	ITVの更新、デジタルサイネージについて、故障箇所を計画的に修繕した。また、定期的に保守点検を行い保全に努めた。
	予定	引き続き、適切な点検を行い予防保全に努める。	引き続き、適切な点検を行い予防保全に努める。	引き続き、適切な点検を行い予防保全に努める。	引き続き、適切な点検を行い保全に努める。	引き続き、適切な点検を行い保全に努める。	引き続き、適正な点検を行い保全に努める。	引き続き、適正な点検を行い保全に努める。	引き続き、適正な点検を行い保全に努める。
目	将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化業務に関する定例会等の内容を踏まえ、今後の施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、今後の施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画(案)の作成を支援した。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、新規利用者が予約しやすい運営とはどのようなものか検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、新規利用者が予約しやすい運営とはどのようなものか検討した。
	予定	文化・スポーツ施設配置等適正化業務に関する定例会等において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容に沿って、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容に沿って、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	項目 施設の利用に係る課題の抽出及び解決に向けた取組の検討・実施	利用者アンケートを定期的実施し、寄せられた意見をもとに課題を把握して改善に取り組んできたことで、高い満足度を維持することができた。
	項目 稼働率向上に向けた取組の検討・実施	SNSや刊行物を活用して積極的に情報発信を行い、施設の認知度向上につなげたことで、稼働率の向上を図ることができた。
	項目 施設の効率的な維持管理・運営についての検討・実施	経年劣化による故障箇所について計画的に修繕を実施し、あわせて定期的な保守点検により施設の適切な保全に努めた。
	項目 将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	文化・スポーツ施設配置等適正化計画の策定に当たり、将来に向けた施設の在り方や必要機能を整理・検討した。策定後は、同計画に基づき施設運営を行った。

4 市民活動センター「プラッツ」			担当課 協働共創推進課
しゅん工年度	平成29(2017)年度	延床面積	5,929㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設評価指標を設定し、その指標の達成に向けた取組を検討する必要がある。</li> <li>料理室は、施設内の他の機能と比較すると稼働率が低いため、稼働率向上に向けた取組を検討する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	施設評価指標に基づき評価し、指定管理者と連携することで、市民活動及び協働を推進する施設としてより良いサービスを提供していく。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市民活動及び協働を推進していく施設」として、評価指標を検討する。</li> <li>指定管理者と連携し、利用者数や収入の増加に向けた方策を検討する。</li> <li>料理室の稼働率向上に向けた取組を検討する。</li> <li>市民活動団体や事業者等と協働した施設運営に努めるとともに、協働による効果的・効率的な施設運営に向けた方策を検討する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○施設評価指標の検討及び設定	○指標達成に向けた取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○利用者数や収入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○料理室の稼働率向上に向けた取組の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働の実践者数の増加</li> <li>稼働率の向上等による収入の増加及び歳出の削減</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	施設評価指標の検討及び設定に関する取組	実績 令和4年度より新たにコーディネート件数の把握を開始した。	実績 プラッツがコーディネートし、各主体が新たに協働で実施した事業数を把握するとともに、達成に向けてコーディネート等を行った。	実績 プラッツがコーディネートし、各主体が新たに協働で実施した事業数を把握するとともに、達成に向けてコーディネート等を行った。	実績 プラッツがコーディネートし、各主体が新たに協働で実施した事業数を把握するとともに、さらなる協働事業の実現に向けてコーディネート等を行った。	実績 協働事業の実現に向けて主体同士をつなぐコーディネートを行い、例年通り約30件の新規事業が行われた。	実績 協働事業の実現に向けてのべ70件以上の相談を受け、年間で30件以上の新規事業実施につながった。	実績 7月末時点で約40件の相談に応じたほか、協働コーディネーター養成講座を11名が修了した。	実績 R8.1月時点でコーディネートした案件のうち、40件以上の事業が実現した。
		予定 総合計画で設定した指標の達成に向けた取組を実施する。	予定 引き続き、事業数を把握するとともに、事業数増加に向けた取組を実施する。	予定 引き続き、事業数を把握するとともに、事業数増加に向けた取組を実施し、取組を評価する。	予定 引き続き、事業数を把握するとともに、事業数増加に向けた積極的なコーディネートや取組の評価を基に新たな取組を検討する。	予定 引き続き件数増加に向けて積極的にコーディネートを行うとともに新たな取組についても検討する。	予定 引き続き積極的なコーディネートのほか、市民を協働コーディネーターとして育成することに力を入れる。	予定 引き続き積極的なコーディネートのほか、協働コーディネーターの修了後の活動もサポートしていく。	予定 引き続きコーディネート依頼に親身に対応し、今後はその社会貢献としての成果も注視していく。
	利用者数や収入の増加に向けた方策の検討・実施	実績 サーモカメラを新たに設置するなど、引き続き感染対策を徹底して貸館業務を実施した。	実績 バルトホール稼働率回復のため、舞台を練習で使用できることについてのPR方法を検討した。	実績 SNSを活用し施設利用促進のため、適宜広報を行った。	実績 5、6階のフリースペースの利用を再開した旨や、バルトホールは午前の利用時間より前および夜間の利用時間より後の利用が可能であることについて周知を図った。	実績 ワクチン接種会場が完全撤去され、フリースペース全体を使用し市民団体同士の交流や、自習等のために来館する青少年にプラッツの役割を知ってもらうきっかけになるイベント等を実施した。	実績 フリースペース等で市民活動団体同士の交流企画を実施したほか、新規来館者獲得のためフードドライブやコンサートなど幅広いイベントを実施した。	実績 フリースペース等では引き続き市民活動団体が企画して交流の場を提供しているほか、ランチコンサートも来館者増加に貢献している。	実績 来館者数は例年と大きな変動はなかったが、初めて実施した分野をまたいだ団体同士の交流イベントは盛況となり、新たなつながりの創出につながった。
		予定 バルトホール稼働率回復のため、舞台を練習で使用できることをPRする。	予定 施設全体のPRチラシを作成し、公共施設に配布することを検討する。また、PR方法を引き続き検討する。	予定 引き続きSNSを中心に広報に力を入れ、利用者促進につなげ、取組を評価する。	予定 ホームページやSNSを通じて施設のPRを図る。	予定 引き続き地域活動の拠点としてのプラッツの機能を使う市民を増やせるよう、イベント等を実施するとともに新たな取組について検討する。	予定 引き続き地域活動の拠点としてのプラッツの機能を使う市民を増やせるよう、イベントや新たな取組を実施する。	予定 引き続き地域活動の拠点としての施設利用者を増やせるよう、イベントや新たな取組を実施する。	予定 引き続き、団体のニーズを丁寧に把握し、希望に沿った企画立案に努める。
料理室の稼働率向上に向けた取組の検討・実施	実績 稼働率が低い料理室に特化してPRすることを検討した。	実績 料理室に特化したPR方法を検討した。	実績 芸術劇場が発行している機関誌に広告を載せるなど広報活動に力を入れつつ、市民の要望をもとに備品の充実を図った。	実績 料理室の利用促進のためのチラシを作成し、館内及びサイネージに掲出するとともに、過去に利用実績のある団体に周知した。	実績 料理室の利用促進のためのチラシを作成し、館内及びサイネージに掲出するとともに、PR動画を公開した。	実績 料理室利用促進のためチラシやPR動画を作成し、稼働率は上半期の約32%に対し、下半期は約45%となった。	実績 料理室の稼働率は35%前後の月が多く、引き続き積極的な周知が必要である。	実績 料理室を含めた稼働実績は横ばいであった。	
	予定 料理室に特化したPRの実施を引き続き検討する。	予定 料理室に特化したPRの実施を引き続き検討する。	予定 引き続き広報に力を入れつつ、料理室の会議室としての利用の可能性も検討する。また、これらの取組を評価する。	予定 料理室の紹介動画を作成し、ホームページに掲載する。また、引き続き料理室の会議室としての利用可能性も検討する。	予定 引き続き広報をするとともに、新たな取組として調理を伴わない利用についても可能である旨を用途に応じて案内する。	予定 引き続き動画等で料理室の利便性を広報するとともに、調理を伴わない利用も可能であることを案内する。	予定 他市の類似施設等を参考にした周知方法を引き続き模索する。	予定 チラシや動画でも周知を継続するとともに、料理室や和室など、通常の会議室とは異なる機能を持つ部屋の可能性を引き出す工夫を求めていく。	
市民活動団体等と協働した施設運営の検討・実施	実績 団体と協働し、施設内でフードドライブを実施した。	実績 団体と協働し、フードドライブや団体と市民との交流カフェ事業を実施した。	実績 団体と協働し、フードドライブや団体と市民との交流カフェ事業を実施した。	実績 団体等と協働したフードドライブやコミュニティカフェ事業、展示企画をフリースペースで実施した。	実績 交流の場の作り方に関する講座の修了生によるコミュニティカフェ等のイベントをフリースペースで実施した。	実績 協働コーディネーター養成講座や講師育成講座の修了生が協働まつりやコミュニティイベント等の運営に関わった。	実績 協働コーディネーター養成講座では修了生が登壇して自身の活動内容を紹介したことと講座内容が充実した。	実績 協働コーディネーター養成講座の修了生は、開館以来100名を超え、一定の成果を上げた。	
	予定 引き続き団体と協働して施設運営を行う。	予定 引き続き団体と協働して施設運営を行う。	予定 引き続き団体と協働して施設運営を行う。	予定 引き続き多様な団体等と協働して交流のきっかけづくりに資する施設運営を行う。	予定 引き続き多様な団体等と協働して交流のきっかけづくりに資する施設運営を行う。	予定 引き続き多様な団体等と協働して交流のきっかけづくりに資する施設運営を行う。	予定 引き続き市民や団体同士をつなぎ、協働のきっかけづくりに資する施設運営を行う。	予定 修了後の活動機会の創出のためポータルサイトへの掲載や、コーディネートと希望する市民への紹介を継続する。	
その他の取組等	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	
	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	施設評価指標の検討及び設定に関する取組	コーディネート件数を把握し始めたことにより、通常の相談対応とは別に、市民活動センターの本来機能がどの程度発揮されているか確認することができた。また、コーディネートに関する相談件数は令和4年度の約70件から、令和7年度末には約90件に達する見込みであり、市民がセンターを効果的に活用できるようになってきたこともうかがえる。
	利用者数や収入の増加に向けた方策の検討・実施	市民活動センターに足を運ぶきっかけづくりとしては、気軽に立ち寄って簡単なボランティアや会話ができるカフェ、ランチコンサート、親子向けのミニイベントなど、多様な取組を実施してきた。いずれの企画にも市民活動団体が関わり、本来機能と連動した形で実施できた点は良かった。
	料理室の稼働率向上に向けた取組の検討・実施	料理室の稼働率は、令和4年度の実績である26.8%と比べると、30%台後半を維持できるようになり一定の改善が見られた。しかし、全体の稼働率が70%以上であることを踏まえると、さらなる活用が望まれ、引き続き工夫が求められる。
	市民活動団体等と協働した施設運営の検討・実施	市民等との協働による施設運営については、協働コーディネーターの育成に加え、市民意見を取り入れるための運営委員会の実施、市民協働まつりを実行委員会方式で運営するなど、さまざまな取組を行った。何かを進める際には都度、市民等と協働で取り組む姿勢を示すことができたと考える。

5 旧府中グリーンプラザ分館		担当課 資源循環推進課 障害者福祉課 産業振興課	
しゅん工年度	平成 8 (1996) 年度	延床面積	1, 350㎡
課題	利用者数の向上が見られないため、改めて利用者数及び売上の向上に向けた方策を再考する必要がある。		
今後の方向性	内装改修工事に合わせ、市民ニーズや施設の稼働状況、周辺公共施設の状況を踏まえ、今後施設に必要な機能の整理や施設の在り方の見直しを行う。		

第3次推進プランの取組 (令和4年度～令和7年度)				
取組内容	◆高架橋耐震補強工事開始時期までに、施設内の機能の今後の在り方を決定する。 ◆利用者数や売上の増加を目指し、施設機能の発信力を高める。 ◆高架橋耐震補強工事後の施設の効果的な活用方法について検討する。			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	●施設内の機能の今後の在り方の決定及び決定に基づく取組の実施	○決定に基づく取組の実施	▽継続	▽継続
	○利用者数や売上の増加を目指した発信力向上策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
期待する主な効果	◆府中駅前への更なるにぎわいの創出 ◆利用者数の増加			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	施設内機能の今後の在り方の決定及び決定に基づく取組の実施	実績 施設の更新を視野に施設内の機能の今後のあり方について関係課と協議した。	施設を取り巻く諸条件を整理した結果、既存施設の存続は不可能であることから、改築することとした。 ※改築後の機能については令和5年度に検討予定。	改築後の施設の方向性について詳細な検討を行った。	関係課との調整を行い、規模を縮小しての改築とにぎわい創出に資する機能を整備することとした。	現施設の整理、及び改築後機能の整備について、時期や内容に関して関係課との調整を行った。	現施設の整理及び改築後機能の整備について、時期や内容に関して関係課と調整を行った。	現施設の整理及び改築後機能の整備について、時期や内容に関して関係課と調整を行った。	現施設の整理及び改築後機能の整備について、時期や内容に関して関係課と調整を行った。
	予定	引き続き、施設内機能の今後のあり方について関係課と協議する。	改築後の施設の方向性について詳細な検討を行う。	検討に沿って関係課と調整しつつ、行政利用の希望について調査を行う。	関係課と調整しつつ、改築後の施設の機能等の検討を行う。	関係課と調整しつつ、改築後の施設の機能等の検討を継続する。	関係課と調整しつつ、改築後の施設の機能整理及び運営手法等を検討する。	関係課と調整しつつ、改築後の施設の機能整理及び運営手法等を検討する。	関係課と調整しつつ、改築後の施設の機能整理及び運営手法等を検討する。
取組項目	利用者数や売上の増加を目指した発信力向上策の検討・実施	実績 府中特産品直売所については、6月から水曜営業を開始したほか期間限定で土曜営業を実施した。またスタンプカードの発行などにより売上増を図った。	これまでの取組を継続実施したほか、府中特産品直売所については、セール開催時の店頭販売や直売所のPR記事を掲載したJAのコミュニティ誌の新聞折り込みなどにより売上増を図った。リサちゃんショップについては、ポスター等によるPRを実施した。喫茶・福祉ショップについては、作業所等経営ネットワークの共同受注に参加し、受注件数増に努めた。	これまでの取組を継続実施したほか、府中特産品直売所については、セール開催時の店頭販売や近隣飲食店への働きかけなどにより売上増を図った。リサちゃんショップについては、近隣へのチラシのポスター作成などにより利用者数の増加を図った。喫茶・福祉ショップについては、地元産野菜の使用や季節に合わせたフェアメニューの導入などにより売上増を図った。	これまでの取組を継続実施したほか、府中特産品直売所については、セール開催時の店頭販売や近隣飲食店への働きかけなどにより売上増を図った。リサちゃんショップについてはイベントでの販促チラシ、ティッシュの配布や案内チラシの自治会回覧などにより利用者の増加を図った。喫茶・福祉ショップについては、地元産野菜の使用や季節に合わせたフェアメニューの導入などにより売上増を図った。	これまでの取組を継続実施したほか、府中特産品直売所については、セール開催時の店頭販売などにより売上増を図った。リサちゃんショップについては、リサイクルフェスタ、再生家具即売会などにより事業の周知、利用者の増加を図った。喫茶・福祉ショップについては、地元産野菜の使用や季節に合わせたフェアメニューの導入などにより売上増を図った。また、作業所等経営ネットワークの共同受注に参加し、受注件数増に努めた。	これまでの取組を継続実施したほか、府中特産品直売所については、セール開催時の店頭販売などにより売上増を図った。リサちゃんショップは、10月末の閉店を決定し、受付終了時期等の周知を行い、利用者の理解を得られるよう努めた。喫茶・福祉ショップについては、地元産野菜の使用や季節に合わせたフェアメニューの導入などにより売上増を図った。また、作業所等経営ネットワークの共同受注に参加し、受注件数増に努めた。	これまでの取組を継続実施したほか、府中特産品直売所については、セール開催時の店頭販売などにより売上増を図った。リサちゃんショップは、10月末の閉店し、周知を十分に行い混乱等はなかった。おもちゃの病院は現施設において継続する。喫茶・福祉ショップについては、上半期と同様に、地元産野菜の使用や季節に合わせたフェアメニューの導入などにより売上増を図った。また、作業所等経営ネットワークの共同受注に参加し、受注件数増に努めた。	これまでの取組を継続実施したほか、府中特産品直売所については、セール開催時の店頭販売などにより売上増を図った。リサちゃんショップは、10月末の閉店し、周知を十分に行い混乱等はなかった。おもちゃの病院は現施設において継続する。喫茶・福祉ショップについては、上半期と同様に、地元産野菜の使用や季節に合わせたフェアメニューの導入などにより売上増を図った。また、作業所等経営ネットワークの共同受注に参加し、受注件数増に努めた。
	予定	これまでの取組を継続しつつ、更なる売上増を図るための方策を検討・実施していく。	これまでの取組を継続しつつ、更なる売上増を図るための方策を検討・実施していく。	これまでの取組を継続しつつ、更なる売上増を図るための方策を検討・実施していく。	これまでの取組を継続しつつ、更なる売上増を図るための新たな方策を検討・実施していく。	これまでの取組を継続しつつ、更なる売上増を図るための新たな方策を検討・実施していく。	これまでの取組を継続しつつ、更なる売上増を図るための新たな方策を検討・実施していく。	これまでの取組を継続しつつ、更なる売上増を図るための新たな方策を検討・実施していく。	これまでの取組を継続しつつ、更なる売上増を図るための新たな方策を検討・実施していく。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	施設内機能の今後の在り方の決定及び決定に基づく取組の実施	現施設の整理については、移転等の時期、内容等を関係課と継続的に調整し、機能の整理および運営手法の検討を進行した。 改築後機能の整備については、規模縮小とにぎわい創出に資する機能の整備を軸に方向性を明確化した。
	利用者数や売上の増加を目指した発信力向上策の検討・実施	直売所は、水曜営業の開始や期間限定の土曜営業、セール時の店頭販売、JAコミュニティ誌の新聞折込、農業まつりとのタイアップ出店等を実施し、売上増を図った。また、近隣飲食店への働きかけや継続的な販促により、来店機会の拡大に寄与した。 リサちゃんショップは、広報、ごみ新聞、リサイクルフェスタ、再生家具販売など媒体や事業を通じて市民への周知を図った。 喫茶・福祉ショップは、地元産野菜の使用やフェアメニューの導入、作業所等経営ネットワークとの連携等により魅力ある店舗運営を行い、地域への浸透に努めた。

6 郷土の森博物館			担当課 ふるさと文化財課
しゅん工年度	昭和62(1987)年度	延床面積	(本館部分) 6, 917㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年5月にリニューアルオープンしたプラネタリウムについては、集客効果を更に高める必要がある。</li> <li>周辺施設との連携も含めた一体的な活用について検討する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携し、広報活動の充実や復元建築物を含む園内施設の利活用など、利用者数や収入の増加に向けた方策を検討する。</li> <li>周辺施設との連携も含めた一体的な活用について検討する。</li> <li>市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○本館の大規模改修工事に向けた手続	○本館の大規模改修工事	▽継続	-
	○利用者数や収入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○周辺施設との一体的な活用の検討	▽継続	▽継続	▽継続
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数の増加や歳出の削減</li> <li>今後の施設運営における更なるサービスの向上</li> <li>施設の適切な機能及び規模の検討</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組	実績	大規模改修に伴う館内収蔵品等移設・復旧業務について、関係課及び指定管理者と複数回の打合せを実施した。	大規模改修工事の契約事務手続を行った。館内収蔵品等移設・復旧業務について、関係課及び指定管理者と打合せを実施した。	大規模改修工事及び館内収蔵品等移設・復旧業務委託については、業者及び関係課並びに指定管理者と打合せを行いながら進めた。	大規模改修工事及び館内収蔵品等移設・復旧業務委託については、業者及び関係課並びに指定管理者と打合せを行いながら進めた。	大規模改修工事及び館内収蔵品等移設・復旧業務委託については、業者及び関係課並びに指定管理者と互いに協力して進め、本館は予定通り7月20日に再開した。	-	-	
	予定	大規模改修の起工に伴う、契約事務手続を行う。また、館内収蔵品等移設・復旧業務に向けた取組を進める。	大規模改修工事を進める。館内収蔵品等移設・復旧業務委託の契約を行い、工事側と調整をしながら移設・復旧作業を進める。	引き続き、大規模改修工事及び館内収蔵品等移設・復旧業務委託について、業者及び関係課並びに指定管理者と打合せを行い調整しながら進める。	7月20日の本館再開に向け、引き続き、大規模改修工事及び館内収蔵品等移設・復旧業務委託について、業者及び関係課並びに指定管理者と打合せを行い調整しながら進める。	-	-	-	-
項目	実績	あじさいまつりで新たな企画展やヒガンバナの植付けを行い集客力を高めた。	梅園を一部拡張し、新品種の増植を行い集客力を高めた。また、親子向けのベビープラネタリウム等プログラムを工夫したことで利用者が増加した。	アナベル(アジサイ)の丘の拡張等、植栽整備を行った。曼珠沙華まつりを初開催し、集客力を高めた。	本館休館に伴い復元建築物を活用した展示会を行った。また、エアドームを用いた出張授業、商業施設でのイベント等、アウトリーチ活動を通じて、博物館事業の認知度を高めた。	全館休館中は、商業施設での博物館体験事業の出張開催を実施するなど、アウトリーチ活動に積極的に取り組んだ。また、アジサイの株やヒガンバナの球根の補植等、植栽整備に努め、園内の魅力を高めた。	武蔵府中鉄道模型博は、規模の拡大や内容の充実(プラネタリウム、やすらぎ亭の活用、スタンプラリーの実施等)を図り好評を得た。天文講座は、「大人のための星空入門」を新規開催し、新たなニーズの掘り起こしに成功した。	郷土の森博物館で開催した「わんぱく相撲府中場所」にあわせて、「グルメと音楽で楽しむ2DAYS FES」を試行開催した。あじさいまつりでは、市制70周年記念として広島県府中市から寄贈を受けたアジサイ25株のスポット展示を行った。	「矢崎小PTAまつり」を誘致し協働事業の充実を図るとともに、既存事業も継続して展開した。また、梅まつりでは枝垂れ梅など新たな見どころについて周知を図り、WEB広告の導入など情報発信を強化し、集客向上を図った。
	予定	梅園の一部拡張の取組を進める。	アナベル(アジサイ)の丘の拡張等、植栽整備の取組を進める。ヒガンバナまつりを新規開催する。	改修工事のため本館は休館となることから、引き続きアウトリーチ活動に取り組む。また、アジサイの株やヒガンバナの球根の補植等、植栽整備の取組を進める。	改修工事に伴い3月から5月まで全館休館となることから、引き続きアウトリーチ活動に取り組む。また、アジサイの株やヒガンバナの球根の補植等、植栽整備の取組を進める。	武蔵府中鉄道模型博の規模を拡大し、内容の充実を図る。天文講座「大人のための星空入門」を新規開催する。	園内で初開催の「わんぱく相撲府中場所」にあわせて、「グルメと音楽で楽しむ2DAYS FES」(仮称)を試行開催する。また、あじさいまつりでは、市制70周年記念として広島県府中市から寄贈を受けたアジサイ25株のスポット展示を行う。	矢崎小PTAまつりの誘致など、近隣地域の団体等の協働事業を開催する。また、梅まつりでは、枝垂れ梅など新たな見どころを周知し更なる集客を図る。	アナベル(アジサイ)の丘の再拡張等、植栽整備に取り組むとともに、あじさいまつりPRにはWEB(SNS)を使い発信を強化する。
項目	実績	文化・スポーツ施設配置等適正化検討会議にて、検討を進めた。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業にて、検討を進めた。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、計画に基づく取組を進めた。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、計画に基づく取組を進めた。	
	予定	文化・スポーツ施設配置等適正化計画での方向性を踏まえながら、検討を進める。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業での方向性を踏まえながら、検討を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、計画に基づく取組を進める。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、計画に基づく取組を進める。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、計画に基づく取組を進める。	

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	実績	文化・スポーツ施設配置等適正化検討会議にて、検討を進めた。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業にて、検討を進めた。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画（案）の作成を支援した。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。
	予定	文化・スポーツ施設配置等適正化計画での方向性を踏まえながら、検討を進める。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業での方向性を踏まえながら、検討を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-

● 4年間の取組の総括

評価	B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。	
取組の成果	項目	本館の大規模改修に関する取組
	実施	利用者数や収入の増加に向けた方策の検討・実施
		周辺施設との一体的な活用の検討
		将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組
		本館の大規模改修については、既存機能の維持保全を基本としながら、劣化部位の改修を計画的に実施するとともに、授乳室の新設、トイレ・会議室・特別展示室等の更新、案内サインの整備、照明のLED化、空調・電気設備の更新等の機能改善を行った。その結果、安全性と利便性が向上し、施設として長期的（約30年）な活用が可能な状態へと更新することができた。
		「曼珠沙華まつり」の新設をはじめ、園内の見どころの創出、天文事業（プラネタリウムプログラム等）の充実、展示会や講座の充実、協働事業の取組強化など、さまざまな方策を検討・実施した結果、プラン初年度の令和4年度実績と比較して8.2%の利用者数増や、収入の伸びにつなげることができた。
		文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、イベント時には関係課と連携しながら、相互に駐車場の便宜を図るなど、周辺施設との一体的な活用に向けた取組を進めることができた。
		文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、施設の管理運営や収蔵資料の適切な保管や展示活用の在り方についての課題を明らかにし、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づいた対策の検討を進めることができた。

7 ふるさと府中歴史館			
		担当課 ふるさと文化財課 財産活用課	
しゅん工年度	昭和41(1966)年度	延床面積	2,134㎡ (建物全体 2,376㎡)
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設に合わせて既存施設を処分するため、既存機能のうち移転先が決まっていな いものについては移転先を決定する必要がある。</li> <li>・機能移転後の跡地の活用について、当該跡地が国指定史跡であることを考慮して検討を 進める必要がある。</li> <li>・利用者数の増加について、方策を再考する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公文書史料や文化財等を電子化するなど、効率的に保存していく手法を検討する。</li> <li>・機能移転後も更なる利用者数の増加を目指し検討を行う。</li> </ul>		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新庁舎に設置予定の歴史コーナーの開設に向けて、既存機能の整理を進める。</li> <li>◆公文書史料室機能の移転について、史料総量の把握や選別・整理を行った上で、市全体の 公共施設の状態を踏まえた検討を行う。</li> <li>◆新庁舎等への機能移転までの間、適正な維持管理を行っていく。</li> <li>◆機能移転後の跡地の活用について検討する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○既存機能の移転に向 けた取組の実施	▽継続	▽継続	▽継続
	○公文書史料室機能の 移転に向けた資料の 選別及び収蔵スペ ースの精査	▽継続	○公文書史料室機能の 移転場所の検討	●公文書史料室機能 の移転場所の決定
期待する 主な効果	◆施設の移転による機能向上や効率的な施設管理			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期			
進捗評価	○：計画通りに進んで いる	○：計画通りに進んで いる	○：計画通りに進んで いる	○：計画通りに進んで いる	○：計画通りに進んで いる	○：計画通りに進んで いる	○：計画通りに進んで いる	○：計画通りに進んで いる			
取 組 項 目	既存機能の移転に 向けた取組	実績	館内の紙資料(個人管理 分含)の一斉調査を実施 し、総量を把握した。	敷地内の記念碑等及び、 埋蔵文化財遺物を除く館内 収蔵資料の調査を行った。	新庁舎歴史コーナーの開設 に向け、令和6年度から基本設 計及び実施設計を行うための 準備を進めた。	新庁舎歴史コーナーの基本 実施設計に向けた手続を進め るとともに、収蔵品の収納ス ペースの確保に向けて検討を 進めた。	新庁舎歴史コーナーの基本設 計を策定し、次年度以降の工事 に向けた費用を算出した。しか し収蔵品の移転先については 関係課との調整が進んでいな い。	新庁舎歴史展示室の基本 設計を踏まえ、実施設計を 行った。	移転に向け、関係課と管 理に係る調整を行った。	移転に向け関係課と管理 に係る調整を行った。また、 展示製作に係る委託契 約を締結した。	
		予定	紙資料を除くモノ資料の 収蔵量調査を実施する。	国府関連の館内資料や館内 機器の有用性を再検証し、新 庁舎歴史コーナーの開設に向 けた基礎資料の作成に着手す る。	新庁舎歴史コーナーの開 設に向け、関係課と調整を 行う。	基本設計を作成し、概算工 事費を算出する。併せて、収 蔵品の収納場所について関係 課との調整を行う。	策定した基本設計に基づ き、実施設計を行う。併せ て、収蔵品の収納場所につ いて関係課との調整を行う。	施設の開館に向け、展示 製作を行う。	引き続き関係課と調整を 行うとともに、展示製作の 委託を契約し推進する。	施設の開館に向け、受託 者との調整を行う。	
	公文書史料室機能 の移転に向けた取 組(資料の選別及 び収蔵スペースの 精査等)	実績	文書の管理形態変更に伴 いファイルの再編綴を実施 し、更なる文書量削減を開 始した。	公文書史料室の館内移動を 契機に、公文書館が有するの に妥当な機能及び資料群の集 約が完了し、外部移転後の運 営全般についての検証を開始 した。	文書量削減の取り組みは継 続中。公文書史料室の移転先 を図書館と仮決定したため重 複資料に関する協議は図書館 との間で行った。	新聞資料用保存収納箱を 購入するなど、資料の性 質・状態に適した保存環境 に配慮しながら、順次移転 準備を進めた。	公文書史料室の移転につ いて、図書館との業務上の調 整を進めた。また、既存資料 の一部受入れについては協 議中である。旧家文書につ いては下半期で展示を行 うよう整理を行った。	移転先を図書館に決定 し、機能移転に向けて実務 上の協議を重ねている。所 蔵資料の整理・削減につ いては継続している。	事務、受付、作業、展示 のそれぞれスペースを確定さ せた。所蔵資料の整理・削減 は継続して行い、例規上の 位置付けは調整を進めた。	図書館での職員の業務な どの調整を行った。また収 蔵資料の配置場所の暫定利 用を決めた。	
		予定	公文書史料室の館内移動 を契機に、移転に向けた検 証を行う。	資料の再選別及び再編綴に よる大幅な文書量の削減を図 る。また、新庁舎移転後の行 政資料公開室、図書館との重 複資料の取扱について協議を 進める。	所蔵資料の移転先は民間の 貸倉庫を計画しており、資料 の状態ごとに管理環境を振り 分ける必要がある。そこで、 全ての資料に対する診断作業 に着手する。	市内の旧家文書資料(明 治期以降)について、活用 を前提とした整理を開始す る。	公文書史料は民間倉庫に預 けられる予定だが、古い文書 などは保存環境に配慮が必要 となるため、文書状態に応 じた分類を進める。また、 資料のコンパクト化を推進 する。	図書館での運営にあ たり、例規上の位置づけ等 を図書館・法制文書課との 調整を行う。	図書館での職員の業務な ど細部の調整を図る。収蔵 資料の配置場所を最終決定 する。	引き続き所蔵資料の整 理・削減を継続して行 う。	
	機能移転後の跡地 の活用についての 検討に関する取組	実績	跡地活用について検討し た。	跡地活用について検討し た。	土地履歴を整理するととも に、跡地活用について検討し た。	土地履歴を整理するととも に、跡地活用について検討し た。	土地履歴を整理するととも に、跡地活用について検討し た。	土地履歴を整理するととも に、跡地活用について検討し た。	土地履歴を整理するととも に、跡地活用について検討し た。	土地履歴を整理するととも に、跡地活用について検討し た。	跡施設を複数団体に使用 することが決まった。
		予定	引き続き、跡地活用につ いて検討する。	引き続き、跡地活用につ いて検討する。	引き続き、跡地活用につ いて検討する。	引き続き、跡地活用につ いて検討する。	引き続き、跡地活用につ いて検討する。	引き続き、跡地活用につ いて検討する。	引き続き、跡地活用につ いて検討する。	引き続き、跡地活用につ いて検討する。	跡施設について、関係部 署への引継ぎを進める。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	既存機能の移転に向けた取組	移転に向けた関係各課との調整を行い。機能移転に係る適切な契約を締結した。
	公文書史料室機能の移転に向けた取組（資料の選別及び収蔵スペースの精査等）	公文書資料室については、所属はふるさと文化財課のまま、中央図書館にその場所を移すこととなった。資料の収蔵スペースについては、当面ふるさと府中歴史館資料庫を用いるが、今後の収蔵先については文化・スポーツ施設等配置適正化計画に基づき、引き続き検討が必要となる。
	機能移転後の跡地の活用についての検討に関する取組	機能移転後の跡施設については、複数団体で利用することが決まった。

8 美術館		担当課 美術館	
しゅん工年度	平成12(2000)年度	延床面積	7,795㎡
課題	美術品の適正管理には特殊な設備が必要なため、他の施設よりも施設・設備の劣化が早く、更新にも多額の費用が掛かる		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆利用者数の増加に向けた取組を実施する。 ◆歳入の増加に向けた取組を検討する。 ◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○利用者数の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○歳入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○改修に向けた取組	▽継続	▽継続	▽継続
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	◆利用者数や歳入の増加 ◆施設の維持管理費の効率化			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	利用者数の増加に向けた方策の検討・実施	実績	観覧者数の増加に向けてコンビニエンスストアでの観覧券の発売を実施した。	観覧者数の増加に向けてコンビニエンスストアでの観覧券の委託販売を継続した。	観覧者数の増加に向けてコンビニエンスストアでの観覧券の委託販売を継続し、利用者数が1割増加した。	観覧者数の増加に向けて、コンビニエンスストアでの観覧券の発売を継続し、市制70周年の企画展等により、利用者数は前年度と比較して、大幅に増加した。	コンビニエンスストアでの観覧券の伸び、観覧者数増につながった。	コンビニエンスストアでの発券も予定どおり進み、また、SNSでの発信により企画展観覧者増につながった。	
		予定	引き続き、コンビニエンスストアでの観覧券の委託販売を継続する。	引き続き、コンビニエンスストアでの観覧券の委託販売を継続する。	引き続き、コンビニエンスストアでの観覧券の委託販売を継続する。また、取組の効果について分析し、評価する。	引き続き、コンビニエンスストアでの観覧券の委託販売を継続し、利用者の増加を図る。	12月1日までに、コンビニエンスストアでの観覧券の委託販売を継続し、利用者の増加を図るとともに新たな取組を検討する。	メンバーシップ会員(年間チケット)の購入の斡旋を、市内の団体等に働きかけ、観覧者増を図る。	メンバーシップ会員や「東京・ミュージアムぐるっとパス」など、魅力ある企画展及びコレクション展開催により観覧者増が見込まれるため、取組を継続する。
	歳入の増加に向けた方策の検討・実施	実績	歳入の増加に向けた方策を検討した。	利用者増加に伴う歳入の増加に向けた方策として、広告等で展示会のPRを行った。	府中市職員互助会などが加入しているアウトソーシングの会社事業メニューへの美術館観覧券の導入に向けて検討・協議を開始した。	利用者の増加による歳入増に向けた方策として、美術館観覧券をアウトソーシング事業者と提携し、美術館観覧券の割引を実施した。	利用者の増加による歳入増に向けた方策として、都内主要駅に、企画展覧会のポスターを掲示し企画展のPRを実施し、アウトソーシング事業者と提携し、美術館観覧券の割引を実施した。また、ミュージアムショップで販売している図録、絵葉書による、頒布金収入増に努めた。	企画展前売り券の斡旋販売を市内団体等に働きかけ、昨年と比較して販売数を及び来場者数が大きく上回った。	引き続きメンバーシップ会員の購入のあっ旋と並行し、SNSを活用した情報発信を実施し企画展の来館者増を図った。
		予定	引き続き、歳入の増加に向けた方策を検討する。	引き続き、歳入の増加に向けた方策を検討する。	実施に向けて準備を行うとともに、これまでの取組について評価する。	引き続き、アウトソーシング事業者と提携し、利用者割引を実施する。	70周年記念企画展を実施し、利用者の増加による歳入増を図る。	メンバーシップ会員(年間チケット)の購入の斡旋を、市内の団体等に働きかけ、歳入増を図る。	企画展の周知について、自らSNSでの発信のほか、さまざまなメディアを活用し来館者増を図る。
	改修に向けた取組	実績	府中市美術館の改修内容検討調査委託による検討を進めた。	美術館の改修内容検討調査の報告書をまとめ、課題を洗い出した。	カフェのウッドデッキ修繕や厨房機器を更新した。	中央監視コントローラーユニットの交換を完了した。	講座室映像・音響機器の更新及び、西側ウッドデッキの改修工事について、下半期中の完了に向けて手続を進めた。	PPP・PFI手法導入について庁内で検討を実施した。冷水熱源用プレートガスケット及び2台あるエレベーターの内1台の油圧機構の修繕を行った。	エレベーターの修繕を進めつつ、老朽化に伴う防火戸の修繕など個別に対応を行った。
		予定	府中市美術館の改修内容検討調査の報告書をまとめる。	美術館の改修内容検討調査の報告書を基に、ウッドデッキの張替え等を行う。	その他不具合設備について、対応を検討する。	本館西側外構ウッドデッキの改修工事や講座室の映像音響設備の更新を実施する。	冷水熱源用プレートガスケット交換等修理を実施する。また、令和7年度以降の大規模改修に向けた検討を進める。	エレベーター2台の内1台は油圧機構及びワイヤーロープ、1台はワイヤーロープの修繕を行う。	雨漏りが館内に発生しているため、創作室の修繕を行う。

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
<b>進捗評価</b>	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化業務に関する定例会等の内容を踏まえ、今後の施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ今後の施設の在り方を検討した。あわせて、改修内容検討調査の報告書に基づき、令和9年度実施予定の大規模改修に向けて、課題を洗い出した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ今後の施設の在り方を検討した。併せて、改修内容検討調査の報告書に基づき、令和9年度実施予定の大規模改修に向けて、課題を洗い出した。	パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた、文化・スポーツ施設配置等適正化計画（案）の作成を支援した。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき取組を進めているが、大規模改修が未定となっているため、現状を維持するための調査実施に向け検討を進めた。	大規模改修が未定となっていることにより、現状維持を図るため機能回復調査を行う準備を進めた。 また、臨時駐車場の貸付について国（関東財務局）と協議し、引き続き貸付を行う手続を進めた。
	予定 文化・スポーツ施設配置等適正化業務に関する定例会等において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と施設の在り方を検討する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	今後、府中基地跡地留保地の計画に伴い面積等が変更となる臨時駐車場の管理について準備及び現状維持に係る調査実施の検討を進める。	展示室部分の照明、空調等の機能回復調査を実施し令和9年度の修繕に向け検討するとともに、事務所側のLED化に向け担当課と調整し取組を進める。
その他の取組等	実績 -	-	収蔵庫内燻蒸業務の契約事務を完了した。	収蔵庫内燻蒸を完了した。	-	-	-	-
	予定 -	-	収蔵庫内燻蒸を実施する。	-	-	-	-	-

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	項目 利用者数の増加に向けた方策の検討・実施	企画展の内容により観覧者数は増減するものの、多様なメディアや方策を活用することにより府中市美術館の魅力を発信し続けており、今後の利用者増につなげていく。
	項目 歳入の増加に向けた方策の検討・実施	メンバーシップ会員の増加、多方面へのチケットあつ旋により歳入増が図れている。また、市民ギャラリーの活用を促進することで収入増も図る。
	項目 改修に向けた取組	日常的な運営及びさまざまな定期点検、観覧者及び美術作品の安全を確保するために行う修繕について、計画的に取り組んでおり、今後も進めていく。
	項目 将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	大規模改修について、この4年間の途中で未定になったことにより、展示室等の現在の機能維持を図るための機能回復調査を行うとともに、事務所側のLED化を進める。

9 生涯学習センター			担当課 文化生涯学習課
しゅん工年度	平成 4 (1992) 年度	延床面積	20,383㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率の向上が見られない機能については、方策を再考する必要がある。</li> <li>新総合体育館が府中基地跡地留保地に移転することを踏まえると、周辺の公共施設と機能が重複することになるため、一体的に必要な機能を検討する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携して、利用者数や収入の増加に向けた方策を検討する。</li> <li>宿泊施設の機能転換に向けた検討を進める。</li> <li>市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○利用者数や収入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○宿泊施設の機能転換に向けた検討	▽継続	▽継続	▽継続
	○計画的な保全及び効率的な施設の維持管理について検討	○計画的な保全及び効率的な施設の維持管理	▽継続	▽継続
	○総合体育館の移転を踏まえた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	◆宿泊機能の機能転換による利用者数の増加や歳出の削減			

### ●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組	利用者数や収入の増加に向けた方策の検討・実施	実績 昨年度と比較し、講座数を増やすことで、施設の稼働率が向上した。	実績 前期に引き続き、多くの講座を実施し、利用者が増加したことにより施設の稼働率が上昇した。	実績 指定管理者が変更となったが、魅力的な講座を実施したことにより昨年度と比較して利用者数、収入共に増加した。	実績 魅力的な講座や、市民協働によるイベントを増やすことにより、前期よりも利用者数が増加した。	実績 SNSや広報を活用し、昨年度と比較して、体育施設を中心に、利用者数、収入共に増加した。	実績 オリンピックによる講座の開催、トレーニング室のスタンプカード導入などの努力で、体育施設を中心に利用者数、収入共に増加した。	実績 トレーニング室のスタンプカード利用が好調であることや、夏場のプール利用が伸びているため、体育施設を中心に利用者数と収入が共に増加した。	実績 10月に実施した生涯学習フェスティバルは、多彩なイベントを企画・実施したことにより、昨年と比べて参加者数が倍増した。
	宿泊施設の機能転換に関する取組	予定 引き続き、昨年度を上回る数の講座を実施する。	実績 引き続き、多くの受講生を集められるよう魅力的な講座を実施する。	実績 魅力的な講座を継続実施することで、更なる利用者数と収入の増加を図る。	実績 更に魅力的な講座を実施することで、昨年度を上回る利用者数と収入の増加を目指す。	実績 学習講座は、内容の見直しを図り、広報を強化して利用者数の増加を目指す。	実績 講座体験ができるイベントなどを行うことにより、利用者数の増加を目指す。	実績 学習施設の利用者数や収入も上げるため、魅力的な講座を実施する。	実績 生涯学習フェスティバルなどのイベントのほか、講座の内容を充実し、受講者を拡大することにより、利用者数の増加を図る。
項目	宿泊施設の機能転換に向けた検討に関する取組	実績 令和3年度に実施した機能転換に向けた調査の結果を踏まえ、新機能の検討を進めた。	実績 将来的な方向性を含めて機能転換について検討を進めた。	実績 将来的な方向性を考え、令和8年度からの宿泊施設廃止に向けて、検討した。	実績 将来的な方向性を含めて機能転換について継続して検討を進めた。	実績 機能転換後の在り方については、施設の将来的な方向性を含めて継続して検討を進めた。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画により、施設の将来的な廃止が決定した。	実績 施設廃止までの間、宿泊機能を維持・活用することを検討した。	実績 施設廃止までの間、宿泊機能を維持することとした。
	計画的な保全及び効率的な施設の維持管理について検討・実施	予定 機能転換の方針を固める。	実績 令和8年度以降は4階は利用に供しないフロアとすることも含めて検討を進める。	実績 令和8年度以降は4階は利用に供しないフロアとすることも含めて検討を進める。	実績 引き続き機能転換について協議を継続する。	実績 引き続き機能転換について協議を継続する。	実績 引き続き機能転換について協議を継続する。	実績 施設廃止の時期にあわせて宿泊機能も廃止していく。	実績 施設廃止の時期にあわせて宿泊機能は廃止する。
目	計画的な保全及び効率的な施設の維持管理について検討・実施	実績 今後の改修に向けた劣化診断調査を実施した。	実績 劣化診断調査の結果をもとに、緊急に修繕すべき箇所と大規模修繕で行うべき箇所の整理を行った。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）の検討状況を踏まえ、大規模修繕は実施しない方向性となった。	実績 市と指定管理者で緊急で対応すべき箇所の修繕を行った。	実績 市と指定管理者で緊急で対応すべき箇所の修繕を行った。	実績 市と指定管理者で緊急箇所の修繕を実施し、利用者の安全と快適な環境を確保した。	実績 市と指定管理者で緊急箇所の修繕を実施し、利用者の安全と快適な環境を確保した。	実績 市と指定管理者で緊急箇所の修繕を実施し、利用者の安全と快適な環境を確保した。
	将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	予定 引き続き、劣化診断調査を実施する。	実績 令和8年度の大規模修繕の基本及び実施設計に向けた検討を進める。	実績 急を要する修繕や令和8年度に実施を予定していた修繕を前倒しで実施できるか検討を進める。	実績 運営に支障がないよう対応すべき箇所について、必要な修繕を行っていく。	実績 引き続き、運営に支障がないよう対応すべき箇所について、必要な修繕を行っていく。	実績 引き続き、運営に支障がないよう対応すべき箇所について、必要な修繕を行っていく。	実績 引き続き、運営に支障がないよう対応すべき箇所について、必要な修繕を行っていく。	実績 引き続き、運営に支障がないよう対応すべき箇所について、必要な修繕を行っていく。
その他の取組等	実績	総合体育館の移転を踏まえた施設のあり方を検討した。	実績 新総合体育館との複合化等を検討した。	実績 体育機能については新総合体育館との複合化をする方向性で検討した。また、学習機能の中心市街地への移転を検討した。	実績 学習機能として必要な機能・設備について、生涯学習審議会にて検討がされた。	実績 パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画（案）の作成を支援した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、施設の廃止と機能移転・複合化に向けた検討を行った。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、施設の廃止と機能移転・複合化に向けた検討を行った。
	予定	引き続き、検討を進める。	引き続き、検討を進める。	学習施設としての機能が継続できるように検討を進めていく。	学習機能として残すべき諸室・機能、移転先に必要な施設についても検討を進めていく。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	施設の廃止と機能移転・複合化に向けた検討を進める。	施設の廃止と機能移転・複合化に向けた検討を進める。
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-
予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	利用者数や収入の増加に向けた方策の検討・実施	講座の拡充や魅力的なプログラム、市民協働イベントの実施に加え、SNS等による情報発信の強化、スタンプカード制度やオリンピック講座などの新たな取組を重ねた結果、体育施設を中心に利用者数と収入が継続的に増加したほか、生涯学習フェスティバルでも多彩な企画が好評を得て参加者が大幅に増加するなど、利用促進に向けた取組が総合的に成果を上げた。
	宿泊施設の機能移転に向けた検討に関する取組	宿泊施設の将来的な方向性を見据え、機能転換の在り方について継続して検討を重ねてきた結果、文化・スポーツ施設配置等適正化計画により生涯学習センターの廃止が決定するに至ったが、廃止までの期間における宿泊機能の維持・活用の可能性も含めて検討を進めるなど、機能移転に向けた取組を着実に推進した。
	計画的な保全及び効率的な施設の維持管理について検討・実施	劣化診断調査に基づき、当面の施設機能の維持に必要な冷温水発生器や冷却塔の修繕、体育棟照明器具交換等の緊急修繕箇所と大規模修繕に実施すべき項目を整理した上で、文化・スポーツ施設配置等適正化計画の検討状況を踏まえて大規模修繕を見送る方向性を定めた。市と指定管理者が連携して必要な修繕を継続的に実施し、利用者の安全と快適性を確保することに重点を置き、施設運営ができています。
	将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	文化・スポーツ施設配置等適正化計画策定に向けた検討を通じて、体育機能の新総合体育館との統合や学習機能の移転に関する整理を行い、生涯学習審議会においてこれからの生涯学習センターの役割についての審議が行われるなど、将来に向けた施設の在り方や必要機能についての検討を進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画の策定により、施設の廃止を見据えた機能移転・複合化に向けた検討を行った。

<b>10 中央図書館</b>		担当課 図書館	
しゅん工年度	平成19(2007)年度	延床面積	6,077㎡(共有部除く。) (建物全体 14,190㎡)
課題	利用者数の増加に向けた方策を再考する必要がある。		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆電子書籍の導入など、図書館利用者への利便性の向上やサービスの内容を検討する。 ◆PFI事業者と連携して修繕計画に基づく計画的な保全に努め、効率的な施設の維持管理を行う。 ◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。			
	R4	R5	R6	R7
	○利用者数の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○期初修繕・改修工事	○修繕計画に基づく計画的な保全及び効率的な施設の維持管理	▽継続	▽継続
○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施	
期待する主な効果	◆電子書籍の導入による図書貸出しサービスの利便性の向上 ◆計画的保全による施設の維持管理・運営の効率化			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組	実績 10月以降の新たな図書館運営業務について、電子書籍などのサービスを含め事業者と調整を行った。	令和5年3月の再開館に向けて、図書館業務の詳細や、リニューアルオープンイベントの実施について事業者と調整を行った。	講演会やおはなし会等各種事業を実施したほか、複合施設の特徴を活かした図書館、市民会館、レストランの共通イベントをPFI事業者が開催した。	複合施設の特徴を活かした図書館・市民会館・レストラン三者によるイベントのほか、図書館単独での講演会やおはなし会等を計画どおり実施した。	図書館の利用が少ない中高生(YA世代)をターゲットに「市制施行70周年記念謎解きイベント」を開催したほか、講演会やおはなし会等各種事業を実施した。	複合施設の特徴を活かした図書館・市民会館・レストラン三者によるイベントのほか、図書館単独での講演会やおはなし会等を計画どおり実施した。また、学校連携に関し、関係課と調整の結果、令和7年度から市立小・中学校の全児童・生徒が電子書籍を読むことができるよう、学校との連携を開始した。	複合施設の特徴を活かした図書館・市民会館・レストラン三者によるイベントや図書館単独のおはなし会等を開催したほか、学校で配布されているタブレットにおいて市立小・中学校の全児童・生徒が電子書籍を読むことができるよう、学校との連携を開始した。	講演会やおはなし会等各種事業を実施した。また、電子図書館の学校連携について、更なるコンテンツの充実のため、教員に対しアンケート調査を行った。
	予定 令和5年3月の再開館にあわせ電子書籍など新たな施策に加え、リニューアルオープンイベントを実施する。	令和5年3月より開始した電子図書館サービスなど、再開館後の新たなサービスを利用者積極的に周知する。	複合施設の特徴を活かした図書館、市民会館、レストランの共通イベントの実施や図書館単独での講演会やおはなし会等各種事業を行う。また、利用者数増加に向けた各取組について評価する。	図書館単独での講演会やおはなし会等を実施するほか、市民会館とのコラボイベントなど複合施設の特徴を活かした取組を行う。また、電子図書館の利用促進のため、積極的な周知を行う。	図書館、市民会館、レストランの共通イベントのほか、図書館単独での講演会やおはなし会等各種事業を行う。また、サービス向上を目指し、利用者アンケート調査を実施する。さらに、学校連携の検討を行い、電子図書館の利用促進に努める。	図書館の休館日を活用したイベント等を実施するほか、市民会館とのコラボイベントなど複合施設の特徴を活かした取組を行う。また、図書館の魅力を発信するための広報活動を積極的に行う。	図書館単独のおはなし会等を実施するほか、電子図書館の利用促進のため、コンテンツの充実と積極的な周知を行う。	市民会館とのコラボイベントなど複合施設の特徴を活かした取組を行う。また、電子図書館も含め、図書館の魅力を発信するための広報活動を積極的に行う。
項目	実績 計画的な保全や効率的な施設の維持管理に関する取組	令和4年10月からの期初修繕工事に向けて、事業者と調整を行った。	令和4年10月から始まった期初修繕工事は、工事が完了し、令和5年2月28日に引き渡しを受けた。	PFI事業者とは、定期的に打合せを行い、施設の維持管理業務の報告を受けた。	PFI事業者とは、定期的に打合せを行い、施設の維持管理業務の報告を受けた。	施設維持管理業務についてPFI事業者及び関係課と定期的に打合せを行い、連携して効率的な施設運営に努めた。	施設維持管理業務についてPFI事業者及び関係課と定期的に打合せを行い、連携して効率的な施設運営に努めた。	施設維持管理業務についてPFI事業者及び関係課と定期的に打合せを行い、連携して効率的な施設運営に努めた。
	予定 令和4年10月から令和5年2月末日まで期初修繕工事等を実施する。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。	引き続きPFI事業者と連携し、効率的な施設の維持管理に努める。
目	実績 将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	関係課と老朽化対策連絡会や配置適正化に関する定例会を実施した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、今後の施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、今後の施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、今後の施設の在り方を検討した。	パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画(案)の作成を支援した。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画の内容を踏まえ、公文書史料室機能を所管するふるさと文化財課と協議を行った。
	予定 関係課と老朽化対策連絡会や配置適正化に関する定例会を実施する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業において、引き続き、今後の施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	歴史的公文書機能との連携について、検討を行う。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	利用者数の増加に向けた方策の検討・実施	令和5年3月に導入したふちゅう電子図書館について、学校との連携を行うなど、予定どおり事業を行った。
	計画的な保全や効率的な施設の維持管理に関する取組	PFI事業2期目にあたり、スムーズな移行を行ったとともに、その後の関係機関等との協議も定期的に行った。
	将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、それに基づき関係課と協議を行った。

地区図書館			担当課 図書館
施設名称	所在地	延床面積 (共有部除く。)	しゅん工年度
1 白系台図書館	府中市白系台1丁目60番地 (白系台文化センター3階)	207㎡	昭和45(1970)年度
2 西府図書館	府中市西府町1丁目60番地 (西府文化センター3階)	246㎡	昭和46(1971)年度
3 武蔵台図書館	府中市武蔵台2丁目2番地 (武蔵台文化センター3階)	237㎡	昭和48(1973)年度
4 新町図書館	府中市新町1丁目66番地 (新町文化センター3階)	223㎡	昭和48(1973)年度
5 住吉図書館	府中市住吉町1丁目61番地 (住吉文化センター3階)	255㎡	昭和48(1973)年度
6 是政図書館	府中市是政2丁目20番地 (是政文化センター3階)	246㎡	昭和49(1974)年度
7 紅葉丘図書館	府中市紅葉丘2丁目1番地 (紅葉丘文化センター3階)	208㎡	昭和50(1975)年度
8 押立図書館	府中市押立町5丁目4番地 (押立文化センター2階)	156㎡	平成26(2014)年度
9 四谷図書館	府中市四谷2丁目75番地 (四谷文化センター2階)	180㎡	昭和52(1977)年度
10 片町図書館	府中市片町2丁目17番地 (片町文化センター4階)	228㎡	昭和62(1987)年度
11 宮町図書館	府中市宮町3丁目1番地 (ふるさと府中歴史館2階)	242㎡	昭和41(1966)年度
12 生涯学習センター 図書館	府中市浅間町1丁目7番地 (生涯学習センター2階)	642㎡	平成4(1992)年度
課題	地区図書館が所在する文化センター等は建て替え等の対応が必要な時期を迎えており、その動向に合わせて今後の地区図書館の在り方も整理する必要がある。		
今後の方向性	市民ニーズや施設の利用状況、周辺公共施設の状況を踏まえ、今後施設に必要な機能の整理や施設の在り方の見直しを行う。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容				
	R4	R5	R6	R7
◆利用者数の増加に向けた方策を検討する。 ◆市の財政状況や文化センター等公共施設全体の現状を踏まえ、サービスの在り方や必要な規模について検討及び決定する。 ◆新庁舎に移転予定の宮町図書館について、移転に向けて資料の整理等を進める。				
スケジュール	○利用者数の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○更なる向上に向けた取組の実施
	○文化センターの建替えに向けた検討に合わせ、地区図書館のサービスの在り方や必要な規模の検討	●検討に基づき、地区図書館の今後のサービス在り方及び適正規模の決定(R7まで継続)	○決定に基づく取組の実施(次年度以降へ)	▽継続
	○総合体育館の移転を踏まえた生涯学習センター図書館の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
	○宮町図書館の移転に向けた取組の実施	▽継続	▽継続	▽継続
期待する主な効果	◆利用者数の増加 ◆地区図書館のサービスや施設規模の見直しによる更新費用の縮減			

※次頁に続く

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	利用者数の増加に向けた方策の検討・実施	実績	季節にあわせたイベントの実施。また、利用者の満足度を高めるため利用者アンケートを実施した。	季節に合わせたイベント等を実施したことで、多くの方が各図書館に来館した。	文化センターとの連携事業や夏休み等季節に合わせたイベント等を実施したことで、多くの方が各図書館に来館した。	各文化センター圏域のコミュニティ協議会事業と連携することにより、日頃図書館を利用されない子どもにもおはなし会を実施したことで、利用者数が増加した。	文化センターとの連携事業や夏休みに合わせたイベント等を実施し利用者数の増加を図った。	日頃図書館を利用しない子どもにもおはなし会を知ってもらうため、各文化センター圏域のコミュニティ協議会事業と連携し、どんと焼きの集いや節分の集いなどおはなし会を実施した。また、生涯学習センターとの連携イベントについて、実施に向けて担当課と協議を行った。	文化センターとの連携事業や夏休みに合わせてイベント等を実施し利用者数の増加を図った。また、生涯学習センターとの連携イベントについて、実施に向けて担当課と協議を行った。	
		予定	クリスマスなど引き続き季節に合わせたイベントを実施する。	図書館独自の季節に合わせたイベントの他、所在する施設と連携してイベントを実施する。	引き続き、文化センターとの連携事業や季節に合わせたイベント等を実施するとともに、利用者数増加に向けた取組について評価する。	図書館独自の季節に合わせたイベントのほか、所在する施設と連携してイベントを実施するなど、利用者数の増加に向けた新たな取組を検討する。	引き続き、文化センターとの連携事業や季節に合わせたイベント等を実施するとともに、サービス向上を目指し、利用者アンケート調査を実施する。	図書館独自の季節に合わせたイベントのほか、特に、生涯学習センター図書館については、生涯学習センターとの連携イベントがないため、担当課と調整を行い、利用者数の増加に向けた新たな取組を検討する。	引き続き、文化センターとの連携事業や季節に合わせたイベント等を実施するとともに、サービス向上を目指し、利用者アンケート調査を実施する。また、下半期に生涯学習センターとの連携イベントを実施する。	図書館独自の季節に合わせたイベントのほか、所在する施設と連携してイベントを実施するなど、利用者数の増加に向けた新たな取組を検討する。
	文化センターの建て替えに向けた検討に合わせ、地区図書館のサービスの在り方や必要な規模の検討に関する取組	実績	関係課における検討会の内容等情報の共有に努めた。	文化センターのあり方に関する基本方針で、多世代が利用しやすい施設として整備すると示した。	四谷文化センターの大規模改修基本計画策定に向けて関係課と調整を図った。	文化センターのあり方に関する基本方針を受け、調整した結果、サービスの在り方及び適正規模については、図書館協議会に諮問する必要が生じたため、決定時期を令和7年度とする。	府中市図書館協議会に「府中市地区図書館の整備に関する基本方針」について諮問した。	府中市図書館協議会からの答申を踏まえ、府中市地区図書館の整備に関する基本方針を定めた。	地区図書館の整備に関する基本方針に基づき、四谷図書館の改修に関し実施設計での協議を行った。	四谷図書館の整備に関する基本方針に基づき、府中市立地区図書館の整備に関する基本方針に基づいた協議を行った。
		予定	文化センターのあり方に関する基本方針等を踏まえ、検討する。	各文化センターの改築、大規模修繕の工事時期について関係課と連携を図る。	引き続き、四谷文化センターの大規模改修に向けて関係課と調整を図る。	サービスの在り方や規模の検討について、協議会において検討を進める。また、先行している四谷文化センターの大規模改修については、基本設計に合わせて検討を進めていく。	府中市図書館協議会からの答申を踏まえ、府中市地区図書館の整備に関する基本方針を定める。	四谷図書館の整備に関する基本方針に基づき、実施設計を行う。	引き続き、四谷図書館の整備に関する協議を進めるとともに、仮設事務所の業務に関するシステムの移設や図書資料の引っ越しなどの調整を行う。	引き続き、四谷図書館の改修に関する協議を進めるとともに、仮設事務所の業務に関するシステムの移設や図書資料の引っ越しなどの調整を行う。
	総合体育館の移転を踏まえた生涯学習センター図書館の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	実績	関係課における検討の内容等情報の共有に努めた。	関係課における検討の内容等情報の共有に努めた。	関係課における検討の内容等情報の共有に努めた。	関係課における検討の内容等情報の共有に努めた。	パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画（案）の作成を支援した。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、生涯学習センター図書館の在り方について、図書館協議会での検討を開始した。	図書館協議会において、生涯学習センター図書館の今後の整備に関する協議を行い、意見書が提出された。
		予定	関係課における検討の動向等を注視する。	引き続き、関係課における検討の動向等を注視する。	引き続き、関係課における検討の動向等を注視する。	引き続き関係課における検討の動向等を注視するとともに、生涯学習センター図書館のあり方やサービスについて検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	図書館協議会において、生涯学習センター図書館の今後の整備に関する意見をまとめていく。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めるとともに、図書館協議会から提出された意見書も参考に、関係機関と協議を行っていく。
	宮町図書館の移転に向けた取組の実施	実績	関係課と連携し、移転に向けて図書・文書の適正化を図った。	関係課と連携し、移転に向けて図書・文書の適正化を図った。市政情報公開室がふるさと歴史館に移転した。	関係課と連携し、移転に向けた市政情報公開室の図書・文書の受け入れ準備のためICタグの貼付等資料の整備を進めた。	関係課と移転に向けた準備を進めるとともに、図書館システム事業者とシステム移転についての協議を行った。また、上半期に引き続きICタグの貼付等資料の整備を進めた。	関係課と移転に向けた準備を進めるとともに、図書館システム事業者とシステム移転についての協議を行った。また、ICタグの貼付等資料の整備は順調に進んでいる。	関係課と移転に向けた準備を進めるとともに、図書館システム事業者とシステム移転についての協議を行った。また、上半期に引き続きICタグの貼付等資料の整備を進めた。	関係課と移転に向けた準備を進めるとともに、図書館システム事業者とシステム移転についての協議を行った。また、前年に引き続きICタグの貼付等資料の整備を進めた。	関係課と移転に向けた準備を進めるとともに、図書館システム事業者とシステム移転についての協議を行った。また、前年に引き続きICタグの貼付等資料の整備を進めた。
		予定	関係課と連携し、移転に向けて図書・文書の適正化を図る。	関係課と連携し、移転に向けて図書・文書の適正化を図るとともに、市政情報公開室の資料の整備を進める。	引き続き関係課と連携し、移転に向けた市政情報公開室の図書・文書の受け入れ準備のためICタグの貼付等資料の整備を進める。	引き続き関係課と移転に向けた準備を進めるとともに、図書館システム事業者など関係機関と協議を行う。	引き続き市政情報公開室の図書・文書の受け入れ準備を進めるとともに、移転に向けた具体的なスケジュールを作成する。	移転に向け、必要となる予算の検討や条例等の整備など、関係機関と連携して協議を行う。	移転に向け、必要となる予算の計上や条例等の整備など、関係機関と連携して協議を行う。	令和8年度中の移転に向け、図書館システムの移設、図書資料の引っ越しなど、関係機関と連携して協議を行う。
	その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-
		予定	-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	利用者数の増加に向けた方策の検討・実施	文化センターとの連携だけでなく、生涯学習センターとの連携も始め、利用者増加に向けた取組を図った。
	文化センターの建て替えに向けた検討に合わせ、地区図書館のサービスの在り方や必要な規模の検討に関する取組	文化センターの建て替えの際の地区図書館のサービスの在り方や必要な規模の検討を行い、多少遅れは生じたものの、府中市立地区図書館の整備に関する基本方針を策定した。
	総合体育館の移転を踏まえた生涯学習センター図書館の在り方や必要機能の検討及び整理に関する取組	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定したほか、図書館協議会において、生涯学習センター図書館の改修に関する協議を行い、意見書が提出された。
	宮町図書館の移転に向けた取組の実施	継続的に関係機関と協議を行い、移転に向けた本格的な協議を行った。

1 2 文化センター				担当課 地域コミュニティ課
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度
1 中央文化センター	府中市府中町2丁目25番地	地上6階	3,420㎡	昭和43(1968)年度
2 白系台文化センター	府中市白系台1丁目60番地	地上4階、 地下1階	1,951㎡	昭和45(1970)年度
3 西府文化センター	府中市西府町1丁目60番地	地上3階	1,923㎡	昭和46(1971)年度
4 武蔵台文化センター	府中市武蔵台2丁目2番地	地上3階、 地下1階	1,902㎡	昭和48(1973)年度
5 新町文化センター	府中市新町1丁目66番地	地上3階、 地下1階	1,964㎡	昭和48(1973)年度
6 住吉文化センター	府中市住吉町1丁目61番地	地上3階	1,962㎡	昭和48(1973)年度
7 是政文化センター	府中市是政2丁目20番地	地上3階	1,937㎡	昭和49(1974)年度
8 紅葉丘文化センター	府中市紅葉丘2丁目1番地	地上3階	1,975㎡	昭和50(1975)年度
9 押立文化センター	府中市押立町5丁目4番地	地上2階	1,276㎡	平成26(2014)年度
10 四谷文化センター	府中市四谷2丁目75番地	地上3階	1,394㎡	昭和52(1977)年度
11 片町文化センター	府中市片町2丁目17番地	地上4階、 地下1階	2,317㎡	昭和62(1987)年度
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築を進めるに当たり、利用者の利便性の向上や地域拠点機能の拡充を図るため、周辺の公共施設との連携及び複合化等の可能性を検討する必要がある。改築スケジュールは、周辺公共施設の動向を踏まえて定めていく必要がある。</li> <li>・全ての施設の改築には長期間を要するため、改築時期を踏まえた計画的な保全に努め、効率的な維持管理を行う必要がある。</li> </ul>			
今後の方向性	施設の改築に向けて、市民ニーズや施設の稼働状況、周辺公共施設の状況を踏まえ、今後必要な機能の整理や施設の在り方の見直しを行い、地域拠点機能を向上させる。			

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化センターあり方検討協議会における検討結果を踏まえて、文化センターに今後必要な機能を決定する。</li> <li>◆文化センターの改築に向けた方向性を決定する。</li> <li>◆改築を見据えた計画的な保全に努め、効率的な施設の維持管理・運営を行う。</li> <li>◆効率的な施設の更新や資産の有効活用について、府中駅周辺の公共施設と一体的に検討する。</li> <li>◆機能（ソフト）面、施設（ハード）面の双方から、他の地域拠点施設との連携の可能性について検討する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○施設に今後必要な機能の整理	●必要機能の決定	○決定に基づく取組の実施	▽継続
	○施設の改築・改修に向けた方向性の検討	●文化センター改築に向けた方向性を決定	○決定に基づく取組の実施	▽継続
	○改築を見据えた効率的な施設の維持管理・運営の実施	▽継続	▽継続	▽継続
【中央文化センター】 （モデル事業5） ○対象施設に関する諸条件の整理	【中央文化センター】 （モデル事業5） ○対象施設ごとの最適な取組について検討	【中央文化センター】 （モデル事業5） ●対象施設の効率的な更新と活用に関する方針の決定	【中央文化センター】 （モデル事業5） ○方針に基づく取組の実施	
（モデル事業6） ○対象施設の検討及び調整	（モデル事業6） ▽継続	（モデル事業6） ○対象施設の決定及び機能連携や複合化について検討	（モデル事業6） ○対象施設の機能連携や複合化について検討	
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設の効率的な改修・改築</li> <li>◆施設の維持管理費の効率化</li> <li>◆地域の拠点としての機能強化</li> </ul>			

※次頁に続く

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	施設に今後必要な機能の整理に関する取組	実績	附属機関において施設に今後必要な機能の検討を進めた。	文化センターのあり方に関する基本方針を策定した。	四谷文化センター大規模改修基本計画策定に向けて、ワークショップやアンケートを実施した。	ワークショップやアンケートの意見を集約し、四谷文化センター大規模改修基本計画を策定した。	四谷文化センター大規模改修基本計画に基づき、基本設計の策定に着手した。	四谷文化センター大規模改修の基本設計を策定した。	四谷文化センター大規模改修に伴う実施設計の策定に着手した。	
		予定	附属機関からの答申として基本方針（案）を受領し、パブリック・コメント手続を経て、基本方針を策定する。	策定した基本方針を基に、四谷文化センター大規模改修基本計画の検討を進める。	ワークショップやアンケートの意見を集約し、基本計画の策定を進める。	四谷文化センター大規模改修基本計画に基づき、基本設計の策定を進める。	引き続き関係課と連携し、基本設計の策定を進める。	四谷文化センター大規模改修に伴う実施設計の策定を進める。	引き続き関係課と連携し、実施設計の策定を進める。	
	施設の改築・改修に向けた方向性の検討に関する取組	実績	附属機関において施設の改築・改修に向けた方向性の検討を進めた。	文化センターのあり方に関する基本方針を策定した。	四谷文化センター大規模改修基本計画策定に向けて、ワークショップやアンケートを実施した。	ワークショップやアンケートの意見を集約し、四谷文化センター大規模改修基本計画を策定した。	四谷文化センター大規模改修基本計画に基づき、基本設計の策定に着手した。	四谷文化センター大規模改修の基本設計を策定した。	四谷文化センター大規模改修に伴う実施設計の策定に着手した。	四谷文化センター大規模改修の実実施設計を策定した。
		予定	附属機関からの答申として基本方針（案）を受領し、パブリック・コメント手続を経て、基本方針を策定する。	策定した基本方針を基に、四谷文化センター大規模改修基本計画の検討を進める。	ワークショップやアンケートの意見を集約し、基本計画の策定を進める。	四谷文化センター大規模改修基本計画に基づき、基本設計の策定を進める。	引き続き関係課と連携し、基本設計の策定を進める。	四谷文化センター大規模改修に伴う実施設計の策定を進める。	引き続き関係課と連携し、実施設計の策定を進める。	引き続き関係課と連携し、大規模改修工事を進める。
	改築を見据えた効率的な施設の維持管理・運営に関する取組	実績	附属機関による検討状況を注視しながら、今後の維持管理等について検討を進めた。	文化センターのあり方に関する基本方針を策定した。	基本方針に基づき、四谷文化センター大規模改修の基本計画策定に着手した。	四谷文化センター大規模改修基本計画を策定した。	基本方針に基づき、改築等を見据えた維持管理に努めた。	基本方針に基づき、改築等を見据えた維持管理に努めた。	基本方針に基づき、改築等を見据えた維持管理に努めた。	基本方針に基づき、改築等を見据えた維持管理に努めた。
		予定	策定予定の基本方針を踏まえて、各施設の改築時期を踏まえた具体的な取組を検討する。	策定した基本方針を踏まえ、既存施設の計画的な保全に努める。	引き続き基本方針に基づき、施設の計画的な保全に努める。	基本方針や基本計画に基づき、引き続き施設の計画的な保全に努める。	引き続き基本方針に基づき、施設の計画的な保全に努める。	引き続き基本方針に基づき、施設の計画的な保全に努める。	引き続き基本方針に基づき、施設の計画的な保全に努める。	引き続き基本方針に基づき、施設の計画的な保全に努める。
	モデル事業5に関する当該施設の取組	実績	関係課との打合せを通して、中央文化センターの諸機能を洗い出した。	中央文化センターの諸機能の課題を洗い出した。	関係課と中央文化センターの最適な更新手法について検討した。	関係課と中央文化センターの最適な更新手法について検討した。	策定予定の基本方針に基づき、改築後の中央文化センター機能について検討を進めた。	「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」の策定及び公表を行った。	複合施設の整備等に係る庁内の検討委員会において、基本方針に基づき機能等の整理を進めた。	複合施設の整備等に係る庁内の検討委員会において、基本方針に基づき機能等の整理を進めた。
		予定	引き続き、関係課との打合せを通して、中央文化センターの諸機能を洗い出す。	中央文化センターの最適な更新手法について検討する。	引き続き、中央文化センターの最適な更新手法について関係課と検討する。	今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、今後策定予定の基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。
	モデル事業6に関する当該施設の取組	実績	-	-	関係課と対象施設の検討を行った。	関係課と対象施設の検討を行った。	検討協議会を開催し、基本方針策定に向けた検討を進めた。	年度内に全7回の検討協議会を開催したほか、検討協議会からの答申を受けた。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）において、取組基本方針として検討した。	市民意見を踏まえて第4次府中市公共施設マネジメント推進プランにおいて、取組基本方針として位置付けた。
		予定	-	-	引き続き、関係課と対象施設の検討及び調整を行う。	引き続き、関係課と対象施設の検討及び調整を行う。	引き続き、検討協議会を開催し、基本方針策定に向けて検討を進める。	検討協議会からの答申を踏まえた上で、検討を進める。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）の策定に向けた手続を進める。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プランにおいて位置付けた取組基本方針に基づき、取組を進める。
	その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-
		予定	-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	項目 施設に今後必要な機能の整理に関する取組	文化センターのあり方に関する基本方針を策定した。四谷文化センター大規模改修に向けて、ワークショップや基本計画、基本設計及び実施設計の策定を通じて整理を行った。
	施設の改築・改修に向けた方向性の検討に関する取組	文化センターのあり方に関する基本方針を策定し、四谷文化センター大規模改修に向けて、基本設計及び実施設計を策定した。
	改築を見据えた効率的な施設の維持管理・運営に関する取組	基本方針に基づき、改築等を見据えた維持管理に努めた。
	モデル事業5に関する当該施設の取組	中央文化センターの状況を整理するとともに、最適な更新手法について検討し、令和6年10月に「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」を策定した。また、基本方針に基づき、中央文化センター等複合施設整備基本計画の策定に向け、複合施設に必要な機能の整理等を進めた。
	モデル事業6に関する当該施設の取組	施設所管課や検討協議会において、地域対応施設の機能連携や複合化の検討を行い、第4次府中市公共施設マネジメント推進プランの取組基本方針として位置付けた。

13 総合体育館（郷土の森総合体育館）		担当課 スポーツタウン推進課	
しゅん工年度	昭和46（1971）年度	延床面積	13,899㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率の低い会議室については、府中基地跡地留保地への移転及び建て替え時に、機能の在り方を検討する必要がある。</li> <li>施設の老朽化が著しく、安全性を確保するため、移転及び建て替えに関する考え方を整理する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数や歳入の増加に向けた方策を検討する。</li> <li>◆府中基地跡地留保地への移転及び建て替えに向け、新たに整備する総合体育館の在り方について、関係課と連携して検討を進める。</li> <li>◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○新総合体育館整備方針等の策定準備	▽継続	▽継続	●新総合体育館整備方針等の策定
	○近隣に所在する生涯学習センターとの機能統合を見据えた、移転後の施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数や歳入の増加</li> <li>◆施設の適切な機能及び規模の検討</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	実績 利用者の安全と安心に配慮しながら、段階的に利用制限等を緩和し、利用者数の増加に努めた。	実績 利用者の安全と安心に配慮しながら、段階的に感染対策としての利用制限等を緩和し、利用者数等の増加に努めた。	実績 利用者の安全と安心に配慮しながら、段階的に感染対策としての利用制限等を緩和し、利用者数等の増加に努めた。	実績 本市と連携協定を締結した東京女子体育大学との協働によって、ニーズの高い親子向け教室を新規実施するなど、新たな利用層の開拓を含めて利用者数等の増加に努めた。	実績 本市と連携協定を締結した東京女子体育大学との協働によって、ニーズの高い親子向け教室を引き続き計画し、新たな利用層の開拓を含めて利用者数等の増加に努めた。	実績 東京女子体育大学との協働で実施した親子向け教室を始め各種教室の実施状況を踏まえ、新たな利用層の開拓を含めて利用者数等の増加に努めた。	実績 市公式LINEにて教室実施を周知するなど、利用者数等の増加に努めたほか、デフリンピック本大会に向けて館内ラッピングや啓発事業を行い、新たな利用層の開拓に努めた。	実績 市公式LINEにて教室実施を周知し、利用者数等の増加に努めたほか、デフリンピック本大会では4日間で約5,000人にご来場いただいた。また、一般公開チケット購入においてオンライン決済を導入するなど、利用者の利便性向上に努めた。
	予定	引き続き、感染状況等を注視した上で、更なる利用制限の緩和を含めて検討し、実施する。	更なる利用者数の増加に向けて、館内の諸施設や実施事業の効果的なPR等を検討・実施する。	更なる利用者数の増加に向けて、館内の諸施設や実施事業の効果的なPR等を検討・実施する。	引き続き新たな利用層の開拓に向けてニーズを捉え、効果的な事業実施やPR等を検討していく。	引き続き新たな利用層の開拓に向けてニーズを捉え、効果的な事業実施やPR等を検討していくとともに、稼働の低い部屋についても稼働率の向上に努める。	引き続き新たな利用層の開拓に向けてニーズを捉え、効果的な事業実施やPR等を検討していくとともに、稼働の低い部屋についても稼働率の向上に努める。	引き続き新たな利用層の開拓に向けてニーズを捉え、効果的な事業実施やPR等を検討し、稼働の低い部屋についても稼働率の向上に努める。	引き続き新たな利用層の開拓に向けてニーズを捉え、効果的な事業実施やPR等を検討し、稼働の低い部屋についても稼働率の向上に努める。
組	新総合体育館整備方針等の策定に関する取組	実績 移転建替えに関する整備方針等の策定に向けて、関係課とともに検討を進めた。	実績 移転建替えに関する整備方針等の策定に向けて、関係課とともに検討を進めた。	実績 移転建替えに関する整備方針等の策定に向けて、関係課とともに検討を進めた。	実績 府中基地跡地留保地の動向を注視しつつ、令和6年度から検討を開始する新総合体育館の基本構想の策定に向けた準備を進めた。	実績 新総合体育館の基本構想策定に向けて、公募型プロポーザル方式にて事業者を募集した。	実績 新総合体育館の移転及び整備に向けて、基本的なコンセプトを定める基本構想の策定に向け附属機関を設置し検討を開始した。	実績 府中市新総合体育館検討協議会を4回開催し、9月30日に府中市新総合体育館基本構想素案が答申として提出された。	実績 11月18日から12月17日までの期間にパブリック・コメント手続を実施し、当該期間中の12月3日及び4日にオープンハウスを開催した。その後、1月の教育委員会において、「府中市新総合体育館基本構想」を策定した。
	予定	府中基地跡地留保地の今後の動向を注視し、引き続き検討を進める。	府中基地跡地留保地の今後の動向を注視し、引き続き検討を進める。	府中基地跡地留保地の今後の動向を注視し、引き続き検討を進める。	新総合体育館の基本構想の策定に向けた準備を進める。	基本構想策定業務に係る事業者を選定し、業務に着手する。	基本構想の策定に向けて、引き続き検討を継続する。	パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施し、市民意見を聴取した上で、新総合体育館基本構想を策定する。	新総合体育館基本構想に基づき、基本計画の策定に着手する。
目	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施したほか、劣化状況調査等を実施した。	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、関係団体等との意見交換等を実施したほか、劣化状況調査等を実施した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画（案）の作成を支援した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。
	予定	引き続き、関係課と連携し、劣化状況調査を踏まえた改修内容等の検討を含め、将来に向けた施設のあり方を検討する。	引き続き、関係課と連携し、劣化状況調査を踏まえた改修内容等の検討を含め、将来に向けた施設のあり方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。
その他の取組等		実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -
		予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	本市と連携協定を締結した協働事業を活用し、新規教室を開催、また、市公式LINEにて教室実施を周知するなど、利用者数等の増加に努めた。デフリンピックでは、館内ラッピング等の啓発事業を行い、施設の魅力発信と来館促進に取り組み、実際に約 5,000 人の来場があった。また、一般公開チケット購入においてオンライン決済を導入し、利便性向上を図るなど、利用者増と歳入増に向けた多面的な取組を推進した。
	新総合体育館整備方針等の策定に関する取組	附属機関である府中市新総合体育館検討協議会を設置するとともに、パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施して市民意見を聴取した上で、新総合体育館の移転及び整備に係る基本的な考え方を取りまとめた、府中市新総合体育館基本構想を策定した。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	施設所管課及び公共施設マネジメント所管課が連携のうえ、文化・スポーツ施設の将来の在り方について、パブリック・コメント手続等による市民意見の聴取を通じて検討を行い、令和6年度に文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定するとともに、同計画に基づき取組を行った。

I 4 地域体育館					担当課 スポーツタウン推進課 財産活用課
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度	
1 朝日体育館	府中市朝日町2丁目10番地	地上1階	416㎡	昭和46(1971)年度	
2 白糸台体育館	府中市白糸台1丁目50番地	地上2階	1,399㎡	昭和60(1985)年度	
3 押立体育館	府中市押立町1丁目37番地	地上2階	1,396㎡	昭和61(1986)年度	
4 栄町体育館	府中市栄町1丁目1番地	地上2階	1,365㎡	昭和58(1983)年度	
5 本宿体育館	府中市本宿町4丁目23番地	地上2階	1,400㎡	昭和62(1987)年度	
6 四谷体育館	府中市四谷5丁目6番地	地上2階	1,398㎡	昭和60(1985)年度	
課題	・利用者数や歳入の増加について、方策を再考する必要がある。 ・朝日体育館の跡地の活用に向けた検討を行う必要がある。				
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。				

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆利用者数や歳入の増加に向けた方策を検討する。 ◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	【朝日体育館】 ●建物の解体及び跡地の活用方策の検討・実施	【朝日体育館】 ▽継続	【朝日体育館】 ▽継続	【朝日体育館】 ▽継続
期待する主な効果	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
	◆利用者数や歳入の増加 ◆跡地の効果的な活用 ◆施設の維持管理費の効率化			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	実績 新たな歳入確保策として、休館日等の財産の目的外使用許可等を検討した。	実績 熱中症対策のための空調設備を設置し、夏季期間等における次年度以降の利用者数等の増加を図った。	実績 熱中症対策のための空調設備を設置し、夏季期間等における利用者数等の増加を図った。	実績 空調設備を設置した体育館において、冬季の暖房運転を検討し、実施することとした。また、歳入確保策として、障害者の日常的な利用を促進するため、当事者による施設検証を行った。	実績 利用者数の増加及び熱中症対策のために、栄町体育館の空調設備設置に向けた調整を行った。	実績 熱中症対策のための空調設備を設置し、夏季期間等における次年度以降の利用者数等の増加を図った。	実績 利用者数増加を図るため、多くの要望が寄せられているトイレ及びシャワーの改修(洋式化等)に向けた実施設計に着手した。	実績 利用者数増加を図るため、多くの要望が寄せられているトイレ及びシャワーの改修(洋式化等)に向けた実施設計を行った。
	朝日体育館に関する取組	実績 解体工事に向けた準備を進めた。	実績 予定どおり解体工事を完了した。	実績 跡地の活用の検討を行った。	実績 跡地の活用の検討を行った。	実績 跡地の活用の検討を行った。	実績 跡地の活用の検討を行った。	実績 跡地の活用の検討を行った。	実績 跡地の活用の検討を行った。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画(案)の作成を支援した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、各地域体育館の運営協議会の会長と意見交換を行うなど、取組を進めた。
	その他の取組等	実績 熱中症対策として空調設備の設置工事に向けた準備を進めた。	実績 熱中症対策として、白糸台体育館及び本宿体育館の空調設備を設置した。	実績 熱中症対策として、押立体育館及び四谷体育館の空調設備の設置の準備を進めた。	実績 熱中症対策として、押立体育館及び四谷体育館の空調設備を設置した。	実績 -	実績 栄町体育館の会議室について照明設備のLED化を行った。	実績 全ての体育館において、照明設備のLED化に向け、関係課と調整を進めた。	実績 全ての体育館において、照明設備のLED化に向け、関係課と調整を進めた。
	予定	予定 引き続き、休館日等における行政財産の目的外使用許可等を検討し、歳入の増加を図る。	予定 引き続き、熱中症対策のための空調設備を計画どおり進めるとともに、休館日等における行政財産の目的外使用許可等を検討し、歳入の増加を図る。	予定 引き続き、熱中症対策のための空調設備を計画どおり進めるとともに、それらの取組結果について評価する。	予定 引き続き、熱中症対策のための空調設備を計画どおり進めるとともに、それらの取組結果について評価する。	予定 利用者から多くの要望が寄せられている全ての地域体育館の照明設備のLED化とトイレの洋式化を検討し、さらなる利用者数増加を図る。	予定 さらなる利用者数増加を図るため、利用者から多くの要望が寄せられている全ての地域体育館のトイレ及びシャワーの改修(洋式化等)に向け実施設計を行う。	予定 引き続き、トイレ及びシャワーの改修に向けた実施設計の中で、利用者の負担とならない改修スケジュールや仕様等の検討を行う。	予定 本宿体育館にてトイレ等改修工事を実施する。
	予定	予定 解体工事に着手し、関係課と共に、跡地の活用の検討を進める。	予定 引き続き跡地の活用の検討を進める。	予定 引き続き跡地活用の検討を進める。	予定 引き続き、跡地活用の検討を進める。	予定 引き続き跡地活用の検討を進める。	予定 引き続き跡地活用の検討を進める。	予定 引き続き跡地活用の検討を進める。	予定 引き続き跡地活用の検討を進める。
	予定	予定 引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	予定 引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	予定 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。
	予定	予定 白糸台及び本宿体育館において、空調設備設置工事を実施する。	予定 押立体育館及び四谷体育館において、空調設備設置工事を実施する。	予定 押立体育館及び四谷体育館において、引き続き空調設備設置工事を進める。	予定 栄町体育館において、空調設備の設置の工事を実施する。	予定 -	予定 全ての体育館において、全ての照明設備のLED化に向け、関係課と連携し検討を行う。	予定 引き続き照明設備のLED化に向け、関係課と調整する。	予定 引き続き照明設備のLED化に向け、関係課と調整する。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	近年の酷暑に伴う熱中症対策の一環として、全館に空調設備の設置を実施した。また、利用者の快適性向上の観点から多くの要望があったトイレ及びシャワーの改修に向けて実施設計を行うことで、利用者数や歳入の増加を推進した。
	朝日体育館に関する取組	予定通り解体工事を完了し、跡地活用の検討を行った。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	施設所管課及び公共施設マネジメント所管課が連携のうえ、文化・スポーツ施設の将来の在り方について、パブリック・コメント手続等による市民意見の聴取を通じて検討を行い、令和6年度に文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定するとともに、同計画に基づき取組を行った。
	その他の取組等	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて公共施設からの温室効果ガス排出を抑制することを目的に、全館LED化に向けて関係課と調整を行うことができた。

15 市民総合プール（郷土の森総合プール）		担当課 スポーツタウン推進課	
しゅん工年度	昭和46（1971）年度	敷地面積	9,050㎡
		延床面積	847㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数や歳入の増加について、方策を再考する必要がある。</li> <li>・施設の改修に当たっては、郷土の森博物館などの周辺の施設との連携も含めた一体的な活用について検討する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数及び歳入の増加に向けた方策を検討する。</li> <li>◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討</li> <li>○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組の実施及び評価</li> <li>▽継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価に基づく修正及び新たな取組の検討</li> <li>●文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検討に基づく取組の実施</li> <li>○計画に基づく取組の実施</li> </ul>
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数や歳入の増加</li> <li>◆施設の適切な機能及び規模の検討</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	実績 新たに事前予約システムを導入し、3年ぶりにプールを開催した。	実績 利用状況の分析とともに、次年度の開催に向けた準備検討を進めた。	実績 引き続き、熱中症対策として事前予約システムを導入し、プールを開催した。	実績 事前予約システムを導入したことで、熱中症対策に効果があり、効率的にプールを開催できた。	実績 引き続き、熱中症対策として事前予約システムを導入し、プールを開催した。また、スマートウォッチの持込みを条件付きで許可し、利用者拡大に努めた。	実績 今年度開催時における事前予約システムの効果について評価し、次年度に安全・安心にプールを利用できる環境を確保するための運用を検討した。	実績 利用者が安全・安心にプールを利用できるようシステムを用いた事前予約制を継続して実施したほか、日焼け止めの利用を許可し、利用者拡大に努めた。	実績 今年度開催時における事前予約システムの効果について評価し、次年度に安全・安心にプールを利用できる環境を確保するための運用を検討した。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	予定 上半期の開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、令和5年度上半期に向けた準備検討を進める。	実績 開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。	実績 開催実績を踏まえ、利用状況の分析・評価等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。	実績 開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。また、利用者拡大の取組として、スマートウォッチの持込の許可等について検討する。	実績 開催実績を踏まえ、利用状況の分析・評価等を行うほか、新たな取組など次年度に向けた準備検討を進める。	実績 引き続き、事前予約システムの運用方法や定員数の設定等について検討・評価するとともに、次年度の開催に反映し、安全・安心な環境を整備することで利用者数等の増加を目指す。	実績 開催実績を踏まえ、利用状況の分析・評価等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。	実績 引き続き、事前予約システムの運用方法や定員数の設定等について検討・評価するとともに、次年度の開催に反映し、安全・安心な環境を整備することで、まだ予約可能な平日の利用者数等の増加を目指す。
	その他の取組等	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施したほか、劣化状況調査等を実施した。	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施したほか、劣化状況調査等を実施した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画（案）の作成を支援した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。
	予定 引き続き、関係課と連携し、劣化状況調査を踏まえた改修内容等の検討を含め、将来に向けた施設のあり方を検討する。	実績 引き続き、関係課と連携し、劣化状況調査を踏まえた改修内容等の検討を含め、将来に向けた施設のあり方を検討する。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	
	実績 事前予約システムで体調管理チェックを徹底したことにより、運営中止による歳入確保機会の減少を防ぐことができた。	実績 事前予約システムで体調管理チェックを徹底したことにより、運営中止による歳入確保機会の減少を防ぐことができた。	実績 事前予約システムを運用し、熱中症のリスクなどによる、運営中止による歳入確保機会の減少を防ぐことができた。	実績 事前予約システムを運用し、熱中症のリスクなどによる、運営中止による歳入確保機会の減少を防ぐことができた。	-	-	-	-	
	予定 引き続き、事前予約システムの効果について評価検証を行うとともに、予約システムの継続導入について検討する。	実績 事前予約システムの運用方法の改善等に向けた検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図る。	実績 事前予約システムの運用方法の改善等に向けた検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図る。	実績 事前予約システムの運用方法の改善等に向けた検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図る。	-	-	-	-	

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	利用者が安全・安心にプールを利用できるようシステムを用いた事前予約制を継続して実施したほか、スマートウォッチの持込や日焼け止めの利用を許可する等、利用者のニーズを踏まえた運用ルールの見直しを行い、利用者数や歳入の増加に努めた。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	施設所管課及び公共施設マネジメント所管課が連携のうえ、文化・スポーツ施設の将来の在り方について、パブリック・コメント手続等による市民意見の聴取を通じて検討を行い、令和6年度に文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定するとともに、同計画に基づき取組を行った。
	その他の取組等	事前予約システムの運用方法の改善等に向けた検討を進め、安全・安心にプールを利用できる環境の確保を図った。

16 地域プール		担当課 スポーツタウン推進課 公園緑地課	
施設名称	所在地	敷地面積	しゅん工年度
		延床面積	
1 市民プール	府中市寿町2丁目13番地	3,301㎡ 281㎡	昭和53(1978)年度
2 小柳プール	府中市小柳町6丁目10番地	1,620㎡ 90㎡	昭和51(1976)年度
3 白系台プール	府中市白系台1丁目51番地	1,556㎡ 151㎡	昭和59(1984)年度
4 西府プール	府中市西府町1丁目60番地	1,441㎡ 161㎡	昭和59(1984)年度
5 武蔵台プール	府中市武蔵台2丁目2番地	1,940㎡ 157㎡	昭和59(1984)年度
6 新町プール	府中市新町2丁目57番地	1,514㎡ 166㎡	昭和60(1985)年度
7 美好水遊び広場	府中市美好町1丁目27番地	1,173㎡ 133㎡	平成2(1990)年度
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>小柳プール、白系台プール、武蔵台プール及び新町プール処分後の跡地の活用方策を検討する必要がある。</li> <li>利用者数や歳入の増加について、方策を再考する必要がある。</li> <li>一部のプールの廃止に伴う利用状況の変化を把握・分析し、その他の地域プールや学校のプール開放の在り方を検討する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	平成28年度に策定した基本方針に基づき、4つの地域プール廃止後の、他の屋外公共プールの利用状況が好転しない場合、令和8年度を目処に市民プール及び西府プールの廃止に向けた検討をする。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	R4	R5	R6	R7
	◆小柳プール、白系台プール、武蔵台プール及び新町プールの処分手続及び跡地活用の検討を行う。 ◆地域プールの廃止に伴う利用状況の変化を把握するとともに需要の分析を行い、今後の対応を検討する。 ◆利用者数や歳入の増加に向けた方策を検討する。			
スケジュール	○小柳プール、白系台プール、武蔵台プール及び新町プールの解体及び跡地の活用に向けた検討	▽継続	▽継続	▽継続
	○プールの一部廃止に伴う利用状況の変化の把握及び分析	▽継続	○分析を踏まえた今後の対応の検討	▽継続
期待する主な効果	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数や歳入の増加</li> <li>◆施設の維持管理及び更新に係る歳入の削減</li> <li>◆跡地の有効活用</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組	実績	検討した跡地活用の方向性を踏まえ、解体後の跡地の仕様を定めるなど、解体工事に向けた準備を進めた。	解体工事が全て完了し、白系台及び新町プールの跡地は関係課に引き継ぎを行った。小柳及び武蔵台プール跡地は運動広場とするための整備を完了した。	小柳及び武蔵台プール跡地は暫定運動広場として、令和5年4月に供用を開始した。	-	-	-	-
	予定	解体工事に着手し、跡地活用方針に基づき跡地の整備を行う。	小柳及び武蔵台プール跡地は暫定運動広場として、令和5年4月に供用を開始する。	-	-	-	-	-
項目	実績	新たに事前予約システムを導入し、3年ぶりにプールの開催を行った。	市民プール及び西府プールの利用状況の分析とともに、次年度の開催に向けた準備検討を進めた。	市民プール及び西府プールの利用状況の分析とともに、次年度の開催に向けた準備検討を進めた。	市民プール及び西府プールの利用状況の分析とともに、次年度の開催に向けた準備検討を進めた。	市民プール及び西府プールの利用状況の分析とともに、次年度の開催に向けた準備検討を進めた。	市民プール及び西府プールの利用状況の分析とともに、次年度の開催に向けた準備検討を進めた。	市民プール及び西府プールの利用状況の分析とともに、学校プールを含めた市全体のプールのあり方について関係課と協議した。
	予定	今年度の開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。	開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。	開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。	開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。	開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、分析結果を踏まえた今後の対応について検討するとともに、次年度に向けた準備検討を進める。	開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うほか、分析結果を踏まえた今後の対応について検討するとともに、次年度に向けた準備検討を進める。	開催実績を踏まえ、利用状況の分析等を行うとともに、学校プールを含めた市全体のプールのあり方について関係課との協議を継続する。
目	実績	事前予約システムを導入し、安全安心にプールを利用できる環境を整えることで、利用者数を確保できた。	事前予約システムの導入に向けた具体的な検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図った。	事前予約システムの導入に向けた具体的な検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図った。	事前予約システムの導入に向けた具体的な検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図った。	引き続き事前予約システムを用いてプールを開催し、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図った。また、スマートウォッチの持込を一定条件のもと許可し、利用者拡大に努めた。	今年度開催時における事前予約システムの効果について評価し、次年度に安全・安心にプールを利用できる環境を確保するための運用を検討した。	利用者が安全・安心にプールを利用できるシステムを用いた事前予約制を継続して実施したほか、日焼け止めの利用を許可し、開催を実施した。
	予定	引き続き、事前予約システムの導入を検討し、利用者数の確保を図る。	引き続き、事前予約システムの運用方法等について検討を行い、更なる利用者数等の確保を図る。	引き続き、事前予約システムの運用方法等について検討・評価を行い、更なる利用者数等の確保を図る。	引き続き、事前予約システムの運用方法等について検討・評価を行い、更なる利用者数等の確保を図る。	引き続き、事前予約システムの運用方法等について検討・評価を行い、新たな取組などにより更なる利用者数等の確保を図る。	引き続き、事前予約システムの運用方法や定員数の設定等について検討・評価するとともに、次年度の開催に反映し、安全・安心な環境を整備することで利用者数等の増加を目指す。	開催実績を踏まえ、利用状況の分析・評価等を行うほか、次年度に向けた準備検討を進める。

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
その他の取組等	実績 事前予約システムでの体調管理チェックを徹底したことにより、運営中止による歳入確保機会の減少を防ぐことができた。	事前予約システムで体調管理チェックを徹底したことにより、運営中止による歳入確保機会の減少を防ぐことができた。	事前予約システムを運用し、熱中症のリスクなどによる、運営中止による歳入確保機会の減少を防ぐことができた。	事前予約システムを運用し、熱中症のリスクなどによる、運営中止による歳入確保機会の減少を防ぐことができた。	-	-	-	-
	予定 引き続き、事前予約システムの効果について評価検証を行うとともに、予約システムの継続導入について検討する。	事前予約システムの運用方法の改善等に向けた検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図る。	事前予約システムの運用方法の改善等に向けた検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図る。	事前予約システムの運用方法の改善等に向けた検討を進め、安全安心にプールを利用できる環境の確保を図る。	-	-	-	-

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	小柳プール、白系台プール、武蔵台プール及び新町プールの解体及び跡地の活用に向けた検討	関係課と検討した内容を踏まえ、解体後の跡地の仕様を定め令和4年度に全ての解体工事を完了させた。 小柳プール跡地及び武蔵台プール跡地については、暫定運動広場として整備し供用を開始することで、引き続き市民の健康増進や社会体育の振興に活用した。
	プールの一部廃止に伴う利用状況の変化の把握及び分析、分析に基づく対応の検討	開催実績を踏まえ、利用状況や運営状況の分析等を行うとともに、学校プールを含めた市全体でのプールのあり方について関係課間で協議した。
	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	利用者が安全・安心にプールを利用できるようシステムを用いた事前予約制を継続して実施したほか、スマートウォッチの持込や日焼け止めの利用を許可する等、利用者のニーズを踏まえた運用ルールの見直しを行い、利用者数や歳入の増加に努めた。
	その他の取組等	事前予約システムの運用方法の改善等に向けた検討を進め、安全・安心にプールを利用できる環境の確保を図った。

17 市民陸上競技場		担当課 スポーツタウン推進課	
しゅん工年度	昭和59(1984)年度	敷地面積	14,430㎡
		延床面積	2,362㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数や歳入の増加について、方策を再考する必要がある。</li> <li>稼働率の低い会議室について、有効活用する方策を検討する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数の増加やネーミングライツなどの導入による歳入の確保に向けた方策を検討する。</li> <li>◆会議室の有効活用方策を検討する。</li> <li>◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○会議室の有効活用方策の検討	▽継続	▽継続	▽継続
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数や歳入の増加</li> <li>◆施設の適切な機能及び規模の検討</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	実績 施設の休場日等に行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図るとともに、施設のPRを図った。	実績 施設の休場日等に行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図るとともに、施設のPRを図った。	実績 施設の休場日等に撮影などの行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図るとともに、施設のPRを図った。	実績 施設の休場日等に撮影などの行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図るとともに、施設のPRを図った。	実績 利用者数及び歳入の増加に向け、トラック及びフィールド維持改修工事による施設の整備と備品の一部更新を進めた。	実績 改修工事及び備品の更新により公認競技場を継続した。また、円盤投用の囲いの更新等をホームページに公開し、利用者数の増加に向けた施設のPRを図った。	実績 利用者数増加を図るため、多くの要望が寄せられているトイレ及びシャワールの改修(様式化等)に向けた実施設計に着手した。	
		予定 引き続き、歳入の増加策について検討し、実施する。	予定 引き続き、歳入の増加策について検討し、次年度に実施する。	予定 引き続き、歳入の増加策について検討・評価し、次期に実施する。	予定 引き続き、歳入の増加策について検討・評価し、次期に実施する。	予定 これまでの歳入の増加策を続けるとともに、利用者数や歳入の新たな増加策について検討する。	予定 これまでの歳入増加策を継続するとともに、新たなPR方法等を検討する。	予定 引き続き、トイレ及びシャワールの改修に向けた実施設計の中で仕様等の検討を行う。	
	会議室の有効活用方策の検討に関する取組	実績 利用団体等に更なる利用を促した。	実績 新たな利用者の開拓に向け関係団体にヒアリング等を行った。	実績 新たな利用者の開拓に向け関係団体にヒアリング等を行った。	実績 新たな利用者の開拓に向け関係団体にヒアリング等を行った。	実績 貸切利用団体等の申込時に会議室の利用を案内した。	実績 会議室の周知を図るとともに、利用者への使用目的の聞き取りや近隣の類似施設の調査を通じた新たな活用方策の検討を行った。	実績 貸切利用団体等の申込時に会議室の利用を案内した。	実績 会議室の周知を図り、貸切利用団体等の申込時に会議室の利用を案内した。
		予定 引き続き、周知を図るとともに、新たな活用方策を検討する。	予定 引き続き、周知を図るとともに、新たな活用方策に向け、近隣の類似施設等の調査研究を行う。	予定 引き続き、周知を図るとともに、新たな活用方策に向け、近隣の類似施設等の調査研究を行う。	予定 引き続き、周知を図るとともに、新たな活用方策に向け、近隣の類似施設等の調査研究を行う。	予定 引き続き、周知を図るとともに、新たな活用方策に向け、近隣の類似施設等の調査研究を行う。	予定 利用者数の増加に向けた新たな周知方法について検討する。	予定 引き続き、周知を図るとともに、運動利用以外のニーズについて調査する。	予定 引き続き、会議室の周知を図るとともに、貸切利用団体等の申込時に会議室の利用を案内する。
将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画(案)の作成を支援した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。	
	予定 引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	予定 引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	予定 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	予定 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	
その他の取組等	実績 -	実績 利用機会の増加に向けた検討を進めた。	実績 利用機会の増加に向けた検討を進めた。	実績 利用機会の増加に向けた検討を進めた。	実績 -	実績 年間を通じ、利用者のニーズを捉えた一般公開日及び時間帯を設定し、利用者動向を分析した。	実績 利用者動向を分析し、ニーズを捉えた一般公開日及び時間帯の設定について検討した。	実績 利用者動向を分析し、ニーズを捉えた一般公開日及び時間帯の設定について検討した。	
	予定 -	予定 一般公開日の設定を工夫し、利用機会の増加を図る。	予定 一般公開日の設定を工夫し、利用機会の増加を図る。	予定 一般公開日の設定を工夫し、利用機会の増加を図る。	予定 一般公開日の設定変更に伴う利用者数動向を分析する。	予定 引き続き、一般公開日の設定について検討する。	予定 引き続き、一般公開日及び時間帯の設定について検討する。	予定 引き続き、一般公開日及び時間帯の設定について検討する。	

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	施設の休場日等に撮影などの行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図るとともに、施設のPRを図った。また、トラック・フィールド及び円盤投げ用囲いを更新し、利用者からの要望も多いトイレの改修に向けた実施設計を行い、利用者及び歳入の更なる増加に向けた方策を検討・実施した。
	会議室の有効活用方策の検討に関する取組	有効活用方策の検討の結果、新たな利用者の開拓に向け関係団体にヒアリング等を行いつつ、貸切利用の申込時に会議室の利用について案内した。会議室における新たな利用用途による予約があり、利用率及び歳入の増加を推進した。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	施設所管課及び公共施設マネジメント所管課が連携のうえ、文化・スポーツ施設の将来の在り方について、パブリック・コメント手続等による市民意見の聴取を通じて検討を行い、令和6年度に文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定するとともに、同計画に基づき取組を行った。
	その他の取組等	利用者のニーズを捉えた一般公開日及び時間帯を設定し、利用機会の増加を図った。

18 野球場					担当課 スポーツタウン推進課
施設名称	所在地	階数	敷地面積	しゅん工年度	
			延床面積		
1 市民球場	府中市寿町2丁目19番地	地上3階	18,804㎡ 7,510㎡	昭和57(1982)年度	
2 市民第一野球場 (郷土の森第一野球場)	府中市是政6丁目2,365番地	—	20,660㎡ —	昭和43(1968)年度	
3 市民第二野球場 (郷土の森第二野球場)	府中市是政6丁目27番地先	—	17,298㎡ —	昭和42(1967)年度	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民第一及び第二野球場については、改めて稼働率向上や歳入確保に向けた方策を検討する必要がある。</li> <li>施設の老朽化が進行しており、今後も継続的に利用していくためには、改修する必要がある。</li> </ul>				
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。				

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民第一及び第二野球場の稼働率の向上のほか、市民球場についてはネーミングライツなどの導入による歳入の確保に向けた方策を検討する。</li> <li>◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○稼働率の向上や歳入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆稼働率の向上や歳入の増加</li> <li>◆施設の適切な機能及び規模の検討</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	稼働率の向上や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	市民球場をはじめ、女性選手が活躍する野球場を有する街として野球場の認知度の向上を図るとともに、稼働率の向上につなげた。	市民球場のトイレ・更衣室等の改修に向けた設計に当たり、利用団体へのヒアリング等を行い、利用者の声を可能な限り反映し、設計を完了した。	市民球場のトイレ・更衣室等の改修工事に当たり、ふるさと納税制度の仕組みを活用したクラウドファンディングを実施し、目標の寄付金額を達成するなど、歳入の増加を図った。	市民球場のトイレ・更衣室等の改修工事が完了し、女性や障害者など、多様な主体の利用の促進のほか、新たな利用者層の拡大を図るための環境整備を行った。	市民球場の利用可能日の増加を図るため、天然芝グラウンドの人工芝化の実施に向けた設計を進めた。また、来場者の快適な利用に向け、2階トイレ改修の設計も進めた。	人工芝化等改修工事の実施に向け、設計を進めた。また、利用可能日の増加に向け、施設の運用方法に関して検討を進めた。	市民球場の人工芝化及び屋内練習場の整備を進め、利用可能時間の拡大及び新たなスポーツの場の創出による利用機会の拡大を図った。第一野球場のナイター照明のLED化に向けた実施設計に着手した。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	多様な主体の利用の促進を図り、新たな利用者層の拡大を図るため、女性の利用を考慮したトイレ・更衣室等への改修に向けた設計を進める。	市民球場の改修工事の実施に向けて、利用調整など各種準備を進める。	市民球場の改修工事の完成に向けて、利用者のほか、関係課(工事施工部門)などの調整を進める。また、稼働率向上や歳入増加に向けた取組について評価する。	市民球場の利用可能日の増加を図るため、天然芝グラウンドの人工芝化の実施に向けた設計を進める。	引き続き、天然芝グラウンドの人工芝化の実施に向けた設計を進め、利用可能日増加に向けた施設の運用方法等を検討する。	設計を基に人工芝化等改修工事を実施するとともに、冬季整備期間の短縮等具体的な施設の運用方法について詳細な検討を進める。	引き続き市民球場改修工事や人工芝整備後の供用開始に向けた運用方法を検討するとともに、第一野球場のナイター照明のLED化に向けた実施設計を進める。
	関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた。文化・スポーツ施設配置等適正化計画(案)の作成を支援した。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、指定管理者制度やネーミングライツ導入に向け、他事例の情報収集を行った。
	引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
その他の取組等	実績 施設の休場日等に行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図るとともに、施設のPRを行った。	施設の利用可能日の拡大に努めたほか、休場日等に行政財産目的外使用の許可を行うことで、利用者や歳入の増加を図った。また、野球オーストラリア代表キャンプなどの受け入れを通じて施設のPRを図った。	施設の利用可能日の拡大に努めたほか、休場日等に撮影などの行政財産目的外使用の許可を行うことで、利用者や歳入の増加を図った。また、稼働率向上に向けた施策に係る検討を実施した。	施設の利用可能日の拡大に努めたほか、休場日等に撮影などの行政財産目的外使用の許可を行うことで、利用者や歳入の増加を図った。また、稼働率向上に向けた施策に係る検討を実施した。	施設の利用可能日の拡大に努めたほか、休場日等に撮影などの行政財産目的外使用の許可に向けた調整を積極的に行うことで、利用者や歳入の増加を図った。また、稼働率向上に向けた施策に係る検討を実施した。	施設の利用可能日の拡大に努めたほか、年間を通してイースタンリーグやヴィーナスリーグの開催及びオーストラリア代表キャンプの実施等で施設のPRを図り、認知度の更なる向上に努めた。	降雨後の早期利用再開を図るとともに施設の魅力発信に資する取組として人工芝化等の整備を進めた。	施設の魅力発信に資する取組として人工芝化等の整備を進めた。
	予定 引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。

● 4年間の取組の総括

評価	B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。	
取組の成果	稼働率の向上や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	市民球場をはじめ、女性選手が活躍する野球場を有する街としての強みを生かし、各種大会等を通じた認知度向上により稼働率の向上を図った。あわせて、トイレ・更衣室改修に係る利用者意見を反映した設計や、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングによる財源確保を行うとともに、人工芝化、屋内練習場整備、ナイター照明のLED化等を進め、利用可能日・時間の拡大による利用機会の拡大を図った。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	施設所管課及び公共施設マネジメント所管課が連携のうえ、文化・スポーツ施設の将来の在り方について、パブリック・コメント手続等による市民意見の聴取を通じて検討を行い、令和6年度に文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定するとともに、同計画に基づき取組を行った。
	その他の取組等	施設の利用可能日の拡大や、休場日等における行政財産目的外使用の許可により利用者及び歳入の増加を図るとともに、代表キャンプや各種リーグ開催等を通じたPR、人工芝化等の整備により施設の魅力向上に取り組んだ。

19 サッカー場					担当課 スポーツタウン推進課
施設名称	所在地	階数	敷地面積	しゅん工年度	
			延床面積		
1 府中朝日フットボールパーク	府中市朝日町3丁目7番地	地上1階	29,999㎡ 2,198㎡	平成11(1999)年度	
2 市民サッカー場 (郷土の森サッカー場)	府中市是政6丁目27番地	—	16,798㎡ —	平成4(1992)年度	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに一般開放する朝日フットボールパークのクラブハウスについては、稼働状況を把握及び分析し、効果的な施設開放につなげる必要がある。</li> <li>市民サッカー場については、人工芝面の老朽化が進行しており、今後も継続的に利用していくためには、改修等を実施する必要がある。</li> </ul>				
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。				

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆稼働率の向上やネーミングライツなどの導入による歳入の確保に向けた方策を検討する。 ◆クラブハウスの稼働状況を把握及び分析し、効果的な施設開放につなげる。 ◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○稼働率の向上や歳入の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○クラブハウスの稼働状況の把握及び分析	○分析結果に基づく新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施及び評価	○稼働率の更なる向上に向けた取組の検討
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆稼働率や歳入の増加</li> <li>◆施設の適切な機能及び規模の検討</li> </ul>			
担当課	文化スポーツ部スポーツタウン推進課			

### ●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
稼働率の向上や歳入の増加に向けた方策の検討・実施	実績	施設の休場日等に行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図るとともに、施設のPRを行った。	市民サッカー場では施設の利用可能日の拡大に努めたほか、朝日フットボールパークでは休場日等に撮影などの行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図った。	市民サッカー場では施設の利用可能日の拡大に努めたほか、朝日フットボールパークでは休場日等に撮影などの行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図った。	市民サッカー場では施設の利用可能日の拡大に努めたほか、朝日フットボールパークでは休場日等に撮影やイベントと連動した物販などの行政財産目的外使用の許可を行うことで、歳入の増加を図った。	市民サッカー場では施設の利用可能日の拡大に努めたほか、朝日フットボールパークではトップチームと連動した物販などの行政財産目的外使用を行うことで歳入の増加を図った。	市民サッカー場では、平日などの利用率の低い日に大会利用を積極的に受け入れ、利用率の向上に努めたほか、朝日フットボールパークではトップチームと連動した物販などの行政財産目的外使用を行うことで歳入の増加を図った。	市民サッカー場では、平日などの利用率の低い日に大会利用を積極的に受け入れ、利用率の向上に努めたほか、朝日フットボールパークではトップチームと連動した物販などの行政財産目的外使用を行うことで歳入の増加を図った。	
	予定	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施・評価する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施・評価する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施・評価する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施・評価する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施・評価する。	引き続き、歳入の増加策を検討し、実施・評価する。
クラブハウスの効果的な施設開放に向けた取組	実績	旧朝日体育館利用者等に対して利用案内や周知等を行うことにより、施設利用につなげた。	旧朝日体育館で実施していた健康体操教室を当該施設で実施したほか、施設が隣接する近隣市を含め、利用案内や周知等を行うことにより、施設利用者等の増加を図ることができた。	旧朝日体育館で実施していた健康体操教室を当該施設で実施したほか、施設が隣接する近隣市を含め、利用案内や周知等を行うことにより、施設利用者等の増加を図ることができた。	旧朝日体育館で実施していた健康体操教室を当該施設で実施したほか、施設が隣接する近隣市を含め、利用案内や周知等を行うことにより、施設利用者等の増加を図ることができた。	旧朝日体育館で実施していた健康体操教室を当該施設で実施したほか、施設が隣接する近隣市を含め、利用案内や周知等を行うことにより、施設利用者等の増加を図ることができた。	旧朝日体育館で実施していた健康体操教室を当該施設で実施したほか、施設が隣接する近隣市を含め、利用案内や周知等を行うことにより、施設利用者等の増加を図ることができた。	旧朝日体育館で実施していた健康体操教室を当該施設で実施したほか、施設が隣接する近隣市を含め、利用案内や周知等を行うことにより、施設利用者等の増加を図ることができた。	
	予定	引き続き、市民等に広く利用されるよう、稼働状況の把握・分析等を行う。	引き続き、市民等に広く利用されるよう、稼働状況の把握・分析等を行う。	引き続き、市民等に広く利用されるよう、稼働状況の把握・分析等を行う。	引き続き、市民等に広く利用されるよう、稼働状況の把握・分析等を行う。	引き続き、市民等に広く利用されるよう、稼働状況の把握・分析等を行う。	引き続き、市民等に広く利用されるよう、稼働状況の把握・分析等を行う。	引き続き、市民等に広く利用されるよう、稼働状況の把握・分析等を行う。	引き続き、市民等に広く利用されるよう、稼働状況の把握・分析等を行う。
将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	実績	関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた、文化・スポーツ施設配置等適正化計画(案)の作成を支援した。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。	文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。
	予定	引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
その他の取組等	実績	ラグビー競技のJOC認定競技別強化センターとして7人制ラグビー日本代表の強化合宿等の受け入れを行ったほか、7人制ラグビー男子フィジー代表のキャンプを受け入れた。	ラグビー競技のJOC認定競技別強化センターとして男子15人制ラグビー日本代表の強化合宿やイタリアのサッカークラブチーム「インテル・ミラノ」のキャンプを受け入れたほか、FC東京によるサッカークリニックを開催した。	ラグビー競技のJOC認定競技別強化センターとして、東芝・サントリー両ラグビーチームのプレシーズンマッチの開催のほか、FC東京によるサッカークリニック等を開催した。	ラグビー男子フィジー代表のキャンプを受け入れたほか、ラグビートップチームのトレーニングマッチ等を、市民を招待したうえ開催した。	東京サントリーサンゴリアスのトレーニングマッチを市民招待のうえ開催したほか、FC東京と連携し子ども向けサッカークリニック等を開催した。	デフサッカー女子日本代表のキャンプを受け入れ、併せて市民の体験イベントを実施したほか、ラグビートップチームのトレーニングマッチに市民を招待した上で開催した。	ラグビー日本代表の合宿受入（公開練習を含む）、日本ラグビーフットボール協会と連携した普及イベント、市内トップチームと連携したトレーニングマッチや子ども向けサッカーイベント等を実施した。
	予定	関係団体等と連携し、7人制ラグビー日本代表を中心に、強化合宿等の受け入れを継続する。	関係団体等と連携し、7人制ラグビー日本代表を中心に、強化合宿等の受け入れを継続する。	関係団体等と連携し、7人制ラグビー日本代表を中心に、強化合宿等の受け入れを継続する。	関係団体等と連携し、パリ2024大会に向けて、7人制ラグビー日本代表を中心に、強化合宿等の受け入れを継続する。	関係団体等と連携し、7人制ラグビー日本代表を中心に、強化合宿等の受け入れを継続する。	関係団体等と連携し、7人制ラグビー日本代表を中心に、強化合宿等の受け入れを継続する。	関係団体等と連携し、ラグビー日本代表の強化合宿の受け入れを始め、市内トップチーム等の観戦・観覧機会の提供を継続する。

### ● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	稼働率の向上や収入の増加に向けた方策の検討・実施	利用可能日の拡大及び稼働率の低い平日への積極的な大会受入を行うとともに、主催者と連携し目的外使用許可により物品販売等を実施させるなど、歳入確保に努めた。
	クラブハウスの効果的な施設開放に向けた取組	旧朝日体育館で実施していた健康体操教室を当該施設で実施したほか、利用案内や周知等を行うことにより、施設利用者等の増加を図った。
	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	施設所管課及び公共施設マネジメント所管課が連携のうえ、文化・スポーツ施設の将来の在り方について、パブリック・コメント手続等による市民意見の聴取を通じて検討を行い、令和6年度に文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定するとともに、同計画に基づき取組を行った。
	その他の取組等	ラグビー日本代表やトップチーム等の利用を受け入れると同時に市民招待やイベントといった市民還元を行うことで、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、施設の魅力を高め、発信する取組を行った。

20 庭球場					担当課 スポーツタウン推進課
施設名称	所在地	面数	敷地面積	開設年度	
1 市民庭球場 (郷土の森庭球場)	府中市是政6丁目2, 365番地	4面	2,813㎡	昭和43(1968)年度 (平成30年度改修)	
2 寿町庭球場	府中市寿町2丁目7番地	2面	1,456㎡	昭和30(1955)年度 (令和元年度改修)	
3 押立庭球場	府中市押立町1丁目27番地	2面	1,389㎡	昭和54(1979)年度 (平成20年度改修)	
4 四谷庭球場	府中市四谷1丁目63番地	2面	1,786㎡	昭和54(1979)年度 (令和2年度改修)	
5 栄町庭球場	府中市栄町1丁目1番地	2面	1,081㎡	昭和56(1981)年度	
6 住吉庭球場	府中市住吉町2丁目30番地	2面	1,482㎡	昭和60(1985)年度 (令和3年度改修)	
7 若松庭球場	府中市若松町3丁目28番地	2面	2,625㎡	昭和60(1985)年度 (平成28年度改修)	
8 日新第二庭球場	府中市日新町2丁目14番地	2面	1,638㎡	昭和62(1987)年度 (令和元年度改修)	
9 紅葉丘庭球場	府中市紅葉丘3丁目14番地	2面	2,003㎡	昭和61(1986)年度 (平成19年度改修)	
10 紅葉丘第二庭球場	府中市紅葉丘2丁目24番地	1面	1,269㎡	昭和62(1987)年度 (平成30年度改修)	
11 平和の森庭球場	府中市浅間町1丁目8番地	2面	1,885㎡	平成元(1989)年度	
12 小柳庭球場	府中市小柳町6丁目10番地	5面	3,716㎡	昭和51(1976)年度 (平成27年度改修)	
13 西府庭球場	府中市西府町4丁目2番地	2面	1,999㎡	昭和61(1986)年度 (平成19年度改修)	
14 武蔵台庭球場	府中市武蔵台2丁目2番地	3面	2,046㎡	昭和44(1969)年度	
課題	施設の老朽化が進行しており、今後も継続的に利用していくためには、改修する必要がある。				
今後の方向性	今後の施設の在り方について、令和6年度に策定する文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)に基づき取組を進める。				

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆市の財政状況や施設状況、特に文化・スポーツ施設全体の状況を踏まえ、将来に向けた施設の在り方を検討する。			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○将来に向けた施設の在り方や必要機能の検討及び整理	▽継続	●文化・スポーツ施設配置等適正化計画(仮称)の策定	○計画に基づく取組の実施
期待する主な効果	◆施設の適切な規模の検討			

### ●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	実績 関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討するため、市民との意見交換会等を実施した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討した。	実績 パブリック・コメント手続やオープンハウスを実施するなど、市民意見を聴取しながら進めた、文化・スポーツ施設配置等適正化計画(案)の作成を支援した。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定し、公表した。	実績 文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進めた。
	その他の取組等	予定 引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	予定 引き続き、関係課と連携し、将来に向けた施設のあり方を検討する。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化事業の内容を踏まえ、関係課と協力し、施設の在り方を検討する。	実績 担当課において、文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定する。策定後は計画に基づき取組を進める。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。	実績 引き続き、文化・スポーツ施設配置等適正化計画に基づき、取組を進める。
		実績 障害者等の利用も想定し、今年度に改修を予定する西府庭球場の設計内容を検討した。	実績 障害者等の利用にも配慮した西府庭球場改修工事を完了した。	実績 早期開放の実施日を拡大した。 栄町庭球場改修工事及び隣接する栄町体育館空調設置工事に向けて、関係課との事前調整等を実施した。 小柳庭球場において、夜間照明設備改修工事を実施した。	実績 栄町庭球場改修工事及び隣接する栄町体育館空調設置工事における室外機の設置位置や来場者用駐輪場の整備等、関係課との事前調整等を実施した。	実績 上半期の検討内容や利用者ニーズ等を反映した栄町庭球場の改修工事を実施した。 その他の庭球場においても修繕等を行い、より安心・安全に利用できる環境を整備した。	実績 押立庭球場改修工事に向けて、プレー環境の向上による利用者数の増加を目指し、改修内容に係る関係課との事前調整を実施した。 市民庭球場のナイター照明のLED化に向けた実施設計に着手した。	実績 上半期の検討内容や利用者ニーズ等を反映した押立庭球場の改修工事を実施した。 その他の庭球場においても、施設の状況把握に努め、必要な修繕等を行い、安全・安心に利用できる環境を整備した。 市民庭球場のナイター照明のLED化に向けた実施設計を進めた。
	予定 上半期の検討内容を反映した西府庭球場の改修工事を実施する。	実績 令和5年度に早期開放の実施日の増加等、庭球場の利用者数や稼働率等の増加に向けた検討を引き続き行う。	実績 早期開放の実施日の増加等、庭球場の利用者数や稼働率等の増加に向けた検討を引き続き行う。	実績 早期開放の実施日の増加等、庭球場の利用者数や稼働率等の増加に向けた検討を引き続き行う。	実績 上半期の検討内容を反映した栄町庭球場の改修工事を実施する。 早期開放の実施日の増加等、庭球場の利用者数や稼働率等の増加に向けた検討を引き続き行う。	実績 早期開放の実施日の増加や改修工事等、使用機会の拡大やプレー環境の向上による利用者数等の増加に向けた検討を行う。	実績 上半期の検討内容を反映した押立庭球場の改修工事を実施する。 早期開放の実施日の増加等、庭球場の利用者数や稼働率等の増加に向けた検討を行う。 引き続き、ナイター照明のLED化に向けた実施設計の中で、利用者の負担とならない改修スケジュールや仕様等の検討を行う。	実績 早期開放の実施日の増加や改修工事等、使用機会の拡大やプレー環境の向上による利用者数等の増加に向けた検討を行う。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	将来に向けた施設の在り方の検討に関する取組	施設所管課及び公共施設マネジメント所管課が連携のうえ、文化・スポーツ施設の将来の在り方について、パブリック・コメント手続等による市民意見の聴取を通じて検討を行い、令和6年度に文化・スポーツ施設配置等適正化計画を策定するとともに、同計画に基づき取組を行った。
	その他の取組等	計画的に実施している庭球場改修工事において、それぞれの施設の特性を踏まえて関係課と調整を行い、より安全・安心な施設の整備を行った。

2   小学校				担当課 学校施設課
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度
1 府中第一小学校	府中市寿町2丁目6番地	地上4階	9,217㎡	昭和52(1977)年度
2 府中第二小学校	府中市緑町1丁目29番地	地上4階	8,182㎡	平成元(1989)年度
3 府中第三小学校	府中市片町3丁目5番地	地上4階	8,059㎡	昭和39(1964)年度
4 府中第四小学校	府中市白糸台1丁目58番地	地上4階	5,486㎡	昭和38(1963)年度
5 府中第五小学校	府中市本宿町1丁目51番地	地上3階	6,667㎡	昭和38(1963)年度
6 府中第六小学校	府中市天神町4丁目14番地	地上4階	6,469㎡	昭和38(1963)年度
7 府中第七小学校	府中市北山町2丁目23番地	地上3階	5,826㎡	昭和37(1962)年度
8 府中第八小学校	府中市是政1丁目34番地	地上4階	10,973㎡	令和4(2022)年度
9 府中第九小学校	府中市栄町3丁目7番地	地上4階	7,649㎡	昭和40(1965)年度
10 府中第十小学校	府中市若松町4丁目29番地	地上4階	8,293㎡	平成24(2012)年度
11 武蔵台小学校	府中市武蔵台2丁目3番地	地上4階	6,119㎡	昭和41(1966)年度
12 住吉小学校	府中市住吉町2丁目30番地	地上4階	7,535㎡	昭和42(1967)年度
13 新町小学校	府中市新町1丁目25番地	地上3階 地下1階	5,223㎡	昭和43(1968)年度
14 本宿小学校	府中市本宿町4丁目19番地	地上4階	6,558㎡	昭和44(1969)年度
15 白糸台小学校	府中市白糸台2丁目16番地	地上4階	5,319㎡	昭和44(1969)年度
16 矢崎小学校	府中市矢崎町4丁目9番地	地上4階	5,119㎡	昭和45(1970)年度
17 若松小学校	府中市若松町3丁目11番地	地上4階	5,778㎡	昭和47(1972)年度
18 小柳小学校	府中市小柳町3丁目21番地	地上4階	6,387㎡	昭和47(1972)年度
19 南白糸台小学校	府中市白糸台6丁目48番地	地上4階	6,074㎡	昭和48(1973)年度
20 四谷小学校	府中市四谷3丁目2,740番地	地上4階	6,602㎡	昭和48(1973)年度
21 南町小学校	府中市南町3丁目6番地	地上3階	6,548㎡	昭和49(1974)年度
22 日新小学校	府中市日新町5丁目22番地	地上4階	5,893㎡	昭和52(1977)年度
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童数の増加や少人数学級制により施設面積は増加が見込まれるが、今後、児童数が減少に転じ、空き教室等が発生する可能性もあることから、施設の更新を行う際には、柔軟に施設を活用できるように更新する必要がある。</li> <li>周辺の公共施設と機能の重複が見られるため、学校という施設の性質も鑑みながら、周辺公共施設との複合化を検討する必要がある。</li> </ul>			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、府中市学校施設改築・長寿命化改修計画に基づいた更新を行うに当たり、周辺公共施設との連携や複合化を検討し、地域拠点としての学校の実現を目指す。</li> <li>新たなニーズが生じた場合には、更なる施設開放の可能性について検討する。</li> <li>周辺公共施設との複合化に合わせ、効率的な施設管理手法を検討する。</li> </ul>			

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆府中市学校施設改築・長寿命化改修計画に基づく、学校改築事業を進める。</li> <li>◆周辺公共施設との連携や複合化を検討するとともに、効率的な施設管理手法を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	<b>【府中第八小学校】</b> ○新校舎建設工事の実施及び供用開始	<b>【府中第八小学校】</b> ○新校舎での運営開始	<b>【府中第八小学校】</b> ▽継続	<b>【府中第八小学校】</b> ▽継続
	<b>【府中第三・府中第六小学校】</b> ○新校舎建設に向けた実施設計	<b>【府中第三・府中第六小学校】</b> ○新校舎建設工事の実施	<b>【府中第三・府中第六小学校】</b> ○新校舎建設工事の実施及び供用開始	<b>【府中第三・府中第六小学校】</b> ○新校舎での運営開始
	○周辺公共施設との連携や複合化の可能性の検討	○検討結果の取りまとめ	●府中市学校施設改築・長寿命化改修計画への反映	○計画に基づく取組
	(モデル事業6) ○対象施設の検討及び調整	(モデル事業6) ▽継続	(モデル事業6) ○対象施設の決定及び機能連携や複合化について検討	(モデル事業6) ○対象施設の機能連携や複合化について検討
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校施設と周辺公共施設との複合化による施設の効率的な改修・改築を行い、市全体の施設総量の圧縮及び効率的な施設管理の実現</li> <li>◆地域に開かれた地域の拠点としての学校の実現</li> </ul>			

※次頁に続く

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	府中第八小学校に関する取組	実績 府中第八小学校の改築事業については、新校舎・新体育館・新プールの改築工事を進め、新プールを8月末から供用開始した。	府中第八小学校の改築事業については、10月末に新体育館、2月末に新校舎がそれぞれ竣工した。	府中第八小学校の改築事業については、8月末に外構工事のうち校庭整備及び屋外倉庫棟がそれぞれ完了した。	府中第八小学校の改築事業については、防球ネットの設置が完了した。	府中第八小学校の改築事業については、外周道路の整備工事に着手した。	府中第八小学校の改築事業については、外周道路の整備工事の終了をもって、すべての改築事業を完了した。	-	-
	府中第三・第六小学校に関する取組	実績 府中第三小学校及び府中第六小学校の改築事業については、基本設計の策定を、6月に市議会、7月に教育委員会へ報告するとともに、実施設計業務に着手した。	府中第三小学校の改築事業については、実施設計を完了し、工事契約に向けた発注準備を進めた。 府中第六小学校の改築事業については、仮設校舎が竣工し、3学期から仮設校舎での学校運営を開始するとともに、実施設計を完了した。	府中第三小学校の改築事業については、新校舎・新体育館・新プールの改築工事に着手した。 府中第六小学校の改築事業については、引き続き既存校舎の解体工事を進めた。	府中第三小学校の改築事業については、引き続き新校舎・新体育館・新プールの改築工事を進めた。 府中第六小学校の改築事業については、解体工事が完了し、新校舎・新体育館・新プールの改築工事に着手した。	府中第三小学校の改築事業については、引き続き新校舎・新体育館・新プールの改築工事を進めた。 府中第六小学校の改築事業については、引き続き新校舎・新体育館・新プールの改築工事を進めた。	府中第三小学校の改築事業については、新校舎・新体育館・新プールがそれぞれ竣工した。 府中第六小学校の改築事業については、新校舎・新体育館・新プールがそれぞれ竣工した。	府中第三小学校の改築事業については、既存校舎等の解体工事を進めた。 府中第六小学校の改築事業については、仮設校舎や既存体育館等の解体を進めた。	府中第三小学校の改築事業については、既存校舎等の解体工事が完了した。 府中第六小学校の改築事業については、既存体育館等の解体が完了し、外構工事に着手した。
	学校施設改築・長寿命化改修計画の見直しに関する取組	実績 令和6年度の計画改定に向け、検討課題の蓄積を行った。	令和6年度の計画改定に向け、情報収集や検討課題の蓄積を行なうとともに、計画改定支援業務の受託者を選定した。	計画の見直しに着手した。また、「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」を2回開催した。	引き続き計画の見直しを進めた。また、「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」を3回開催した。	「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」を4回開催し、7月26日に「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画改定素案」が答申として提出された。	10月に教育委員会、12月に市議会へ「第2次学校施設改築・長寿命化改修計画（案）」を報告した後、12月16日から1月14日にかけてパブリック・コメント手続を実施し、1月の教育委員会において「第2次学校施設改築・長寿命化改修計画」を策定した。	昨年度策定した「第2次学校施設改築・長寿命化改修計画」の概要を、説明会及びオープンハウスにて周知した。 府中第五小学校、府中第九小学校、府中第七小学校、武蔵台小学校については統合検討校として保護者を始めた地域への説明を行うとともに校地検討を行い、それに係る説明会を実施した。 「府中市立小・中学校のプール整備方針」及び「府中市学校施設大規模改修整備方針（令和7年度改定）」を策定した。	府中第五小学校、府中第九小学校については基本構想を策定し、設計者を選定した。 府中第七小学校、武蔵台小学校については統合検討校として保護者を始めた地域への説明を行うとともに校地検討を行い、それに係る説明会を実施した。 「府中市立小・中学校のプール整備方針」及び「府中市学校施設大規模改修整備方針（令和7年度改定）」を策定した。
	モデル事業6に関する当該施設の取組	実績 -	-	関係課と対象施設の検討を行った。	関係課と対象施設の検討を行った。	検討協議会を開催し、基本方針策定に向けた検討を進めた。	年度内に全7回の検討協議会を開催したほか、対検討協議会からの答申を受けた。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）において、取組基本方針として検討した。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）の策定に向けた手続を進める。
	その他の取組等	実績 -	-	-	-	-	-	-	-
		予定 -	-	引き続き、関係課と対象施設の検討及び調整を行う。	引き続き、関係課と対象施設の検討及び調整を行う。	引き続き、検討協議会を開催し、基本方針策定に向けて検討を進める。	検討協議会からの答申を踏まえた上で、検討を進める。	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	府中第八小学校に関する取組	令和4年度に新校舎・新体育館がしゅん工し、令和5年度には外構整備工事が完了した。令和6年度の外周道路整備工事の終了をもって一連の改築事業が全て完了した。
	府中第三・第六小学校に関する取組	両校とも令和4年度に設計が完了し、令和6年度には新校舎・新体育館がしゅん工した。また、令和7年度に校舎・体育館等の解体工事を行い、現在外構工事等を進めている。
	学校施設改築・長寿命化計画の見直しに関する取組	令和5年度、令和6年度に学校施設改築・長寿命化改修計画の改定に向けた附属機関として、府中市学校施設老朽化対策推進協議会を開催し答申を受けた。この答申を踏まえ、令和6年度に「第2次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」を策定し、次期改築実施校・統合検討校を選定した。また、令和7年度に「府中市立小・中学校の学校プール整備方針」及び「府中市学校施設大規模改修整備方針（令和7年度改定）」を策定した。
	モデル事業6に関する当該施設に関する取組	第4次府中市公共施設マネジメント推進プランにおいて、学校施設についてはセキュリティ面や児童・生徒の安全確保を最優先に考慮する必要があることから、慎重に検討することとした。

22 中学校					担当課 学校施設課
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度	
1 府中第一中学校	府中市幸町1丁目2番地	地上4階 地下2階	11,795㎡	令和4(2022)年度	
2 府中第二中学校	府中市紅葉丘1丁目2番地	地上4階	12,107㎡	昭和41(1966)年度	
3 府中第三中学校	府中市本町4丁目1番地	地上3階	13,344㎡	平成19(2007)年度	
4 府中第四中学校	府中市美好町2丁目1番地	地上4階	12,483㎡	昭和44(1969)年度	
5 府中第五中学校	府中市新町2丁目4番地	地上3階	13,339㎡	昭和51(1976)年度	
6 府中第六中学校	府中市押立町1丁目2番地	地上4階	11,612㎡	昭和40(1965)年度	
7 府中第七中学校	府中市武蔵台2丁目4番地	地上5階	9,974㎡	昭和42(1967)年度	
8 府中第八中学校	府中市四谷1丁目2,827番地	地上4階	9,621㎡	昭和48(1973)年度	
9 府中第九中学校	府中市小柳町2丁目4番地	地上4階	9,384㎡	昭和51(1976)年度	
10 府中第十中学校	府中市西府町4丁目2番地	地上4階	8,675㎡	昭和54(1979)年度	
11 浅間中学校	府中市浅間町1丁目1番地	地上4階	9,162㎡	昭和56(1981)年度	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒数の増加により施設面積は増加が見込まれるが、今後、生徒数が減少に転じ、空き教室等が発生する可能性もあることから、施設の更新を行う際には、柔軟に施設を活用できるように更新する必要がある。</li> <li>周辺の公共施設と機能の重複が見られるため、学校という施設の性質も鑑みながら、周辺公共施設との複合化を検討する必要がある。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、府中市学校施設改築・長寿命化改修計画に基づいた更新を行うに当たり、周辺公共施設との連携や複合化を検討し、地域拠点としての学校の実現を目指す。</li> <li>新たなニーズが生じた場合には、更なる施設開放の可能性について検討する。</li> <li>周辺公共施設との複合化に合わせ、効率的な施設管理手法を検討する。</li> </ul>				

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆府中市学校施設改築・長寿命化改修計画に基づく、学校改築事業を進める。</li> <li>◆周辺公共施設との連携や複合化を検討するとともに、効率的な施設管理手法を検討する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	【府中第一中学校】 ○新校舎建設工事の実施及び供用開始	【府中第一中学校】 ○新校舎での運営開始	【府中第一中学校】 ▽継続	【府中第一中学校】 ▽継続
	○周辺公共施設との連携や複合化の可能性の検討	○検討結果の取りまとめ	●府中市学校施設改築・長寿命化改修計画への反映	○計画に基づく取組
	(モデル事業6) ○対象施設の検討及び調整	(モデル事業6) ▽継続	(モデル事業6) ○対象施設の決定及び機能連携や複合化について検討	(モデル事業6) ○対象施設の機能連携や複合化について検討
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校施設と周辺公共施設との複合化による施設の効率的な改修・改築を行い、市全体の施設総量の圧縮及び効率的な施設管理の実現</li> <li>◆地域に開かれた地域の拠点としての学校の実現</li> </ul>			

※次頁に続く

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	府中第一中学校に関する取組	実績	府中第一中学校の改築事業については、新校舎・新体育館の改築工事を進めた。	府中第一中学校の改築事業については、旧体育館の解体工事が完了し、渡り廊下改築工事に着手するとともに、引き続き外構工事を進めた。	府中第一中学校の改築事業については、渡り廊下改築工事及び外構工事を完了した。	府中第一中学校の改築事業については、外周道路の整備工事に着手した。	府中第一中学校の改築事業については、外周道路の整備工事の終了をもって、すべての改築事業を完了した。	-	-	
		予定	府中第一中学校の改築事業については、引き続き新校舎・新体育館の改築工事を進める。	府中第一中学校の改築事業については、外構工事を進める。	府中第一中学校の改築事業については、引き続き渡り廊下改築工事及び外構工事を進める。	府中第一中学校の改築事業については、外周道路の整備工事を進める。	府中第一中学校の改築事業については、引き続き外周道路の整備工事を進める。	-	-	
	学校施設改築・長寿命化改修計画の見直しに関する取組	実績	令和6年度の計画改定に向け、検討課題の蓄積を行った。	令和6年度の計画改定に向け、情報収集や検討課題の蓄積を行なうとともに、計画改定支援業務の受託者を選定した。	計画の見直しに着手した。また、「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」を2回開催した。	引き続き計画の見直しを進めた。また、「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」を3回開催した。	「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」を4回開催し、7月26日に「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画改定素案」が答申として提出された。	10月に教育委員会、12月に市議会へ「第2次学校施設改築・長寿命化改修計画(案)」を報告した後、12月16日から1月14日にかけてパブリック・コメント手続を実施し、1月の教育委員会において「第2次学校施設改築・長寿命化改修計画」を策定した。	昨年度策定した「第2次学校施設改築・長寿命化改修計画」の概要を、説明会及びオープンハウスにて周知した。統合検討校に位置付けた府中第七中学校及び府中第十中学校については課題等の整理を行った。	「府中市立小・中学校のプール整備方針」及び「府中市学校施設大規模改修整備方針(令和7年度改定)」を策定した。統合検討校に位置付けた府中第七中学校及び府中第十中学校については課題等の整理を行い、両校のPTA役員への説明を行った。
		予定	引き続き、計画改定に向け新しい教育ニーズなどの情報収集や検討課題の蓄積を行う。	「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」を立ち上げ、計画の見直しに着手する。	「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」における意見を反映しながら、計画の見直しを進める。	「府中市学校施設老朽化対策推進協議会」における意見を反映しながら、計画の見直しを進める。	パブリック・コメントの実施による市民の意見や学校施設老朽化対策特別委員会などの意見を聞きながら、「学校施設改築・長寿命化改修計画」を改定する。	「第2次学校施設改築・長寿命化改修計画」で位置付けた次期改築実施校の改築事業に着手する。	「第2次学校施設改築・長寿命化改修計画」に基づき、大規模改修整備方針の改定や小中学校のプール整備方針を策定する。統合検討校については保護者等へ説明に向けた準備を進める。	学校プールについては、「府中市立小・中学校のプール整備方針」を踏まえた具体的な計画の策定に向けた検討を進める。統合検討校については保護者等へ説明に向けた準備を進める。
	モデル事業6に関する当該施設の取組	実績	-	-	関係課と対象施設の検討を行った。	関係課と対象施設の検討を行った。	検討協議会を開催し、基本方針策定に向けた検討を進めた。	年度内に全7回の検討協議会を開催したほか、検討協議会からの答申を受けた。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プラン(案)において、取組基本方針として検討した。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プランにおいて、学校施設についてはセキュリティ面や児童・生徒の安全確保を最優先に考慮する必要があることから、慎重に検討することとした。
		予定	-	-	引き続き、関係課と対象施設の検討及び調整を行う。	引き続き、関係課と対象施設の検討及び調整を行う。	引き続き、検討協議会を開催し、基本方針策定に向けて検討を進める。	検討協議会からの答申を踏まえた上で、検討を進める。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プラン(案)の策定に向けた手続を進める。	-
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	
	予定	-	-	-	-	-	-	-	-	

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	府中第一中学校に関する取組	令和4年度に新校舎・新体育館がしゅん工し、令和5年度に校庭整備工事・渡り廊下棟建設工事が完了した。また、令和6年度の外周道路整備工事の終了をもって改築事業が全て完了した。
	学校施設改築・長寿命化計画の見直しに関する取組	令和5年度、令和6年度に学校施設改築・長寿命化改修計画の改定に向けた附属機関として、府中市学校施設老朽化対策推進協議会を開催し答申を受けた。この答申を踏まえ、令和6年度に「第2次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」を策定し、次期改築実施校・統合検討校を選定した。また、令和7年度に「府中市立小・中学校の学校プール整備方針」及び「府中市学校施設大規模改修整備方針（令和7年度改定）」を策定した。
	モデル事業6に関する当該施設の取組	第4次府中市公共施設マネジメント推進プランにおいて、学校施設についてはセキュリティ面や児童・生徒の安全確保を最優先に考慮する必要があることから、慎重に検討することとした。

23 学校給食センター		担当課 学務保健課	
しゅん工年度	平成29(2017)年度	延床面積	14,305㎡
課題	業務の委託範囲の拡大等、民間活力の導入を検討する必要がある。		
今後の方向性	引き続き、効率的な施設運営に努めるとともに、施設機能を最大限に活用する方策を検討する。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	◆計画的な保全に努めるとともに、効率的な施設運営の方法を検討する。			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○施設の効率的な運営方法の検討 ○施設のエネルギー効率の調査・分析	▽継続 ○調査・分析結果に基づく取組の実施及び評価	▽継続 ○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	▽継続 ○検討に基づく取組の実施
期待する主な効果	◆歳出の削減 ◆効率的な施設運営			

### ●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	施設の効率的な運営方法の検討	施設運営業務にあたって、委託事業者と連携し、設備の経年による劣化の対策などを含めた維持管理や効率的な業務の運営を検討した。	施設運営にあたり、委託事業者と施設及び設備の経年劣化対策などを含めた維持管理や効率的な業務運営を検討した。	施設運営にあたり、委託事業者と施設及び設備の経年劣化対策などを含めた維持管理や効率的な業務運営を検討した。	施設運営にあたり、委託事業者と施設及び設備の経年劣化対策などを含めた維持管理や効率的な業務運営を検討した。	夏季休業期間を利用し、蒸気管の修繕を行った。また、施設運営にあたり、委託事業者と施設及び設備の経年劣化対策などを含めた維持管理や効率的な業務運営を検討した。	調理用油ろ過タンク洗浄水放流配管の修理を実施し、施設の設計上の問題点を改善し安定運営に取り組んだ。	施設運営業務にあたって、委託事業者と連携しながら、設備の経年劣化修繕を行うなど維持管理や効率的な業務運営に取り組んだ。
	施設のエネルギー効率の調査・分析に関する取組	引き続き、施設や設備の経年劣化対策を含めた効率的な維持管理のあり方を検討していく。	引き続き、施設や設備の経年劣化対策を含めた効率的な維持管理のあり方を検討していく。	学校給食の安定した提供のため、施設の改修に取り組む。	学校給食の安定した提供のため、給食を停止せずに、経年劣化対策を含め施設の改修に取り組む。	学校給食の安定した提供のため、給食の停止が起きないように、経年劣化対策を含め施設の改修に取り組む。	学校給食の安定した提供のため、給食の停止が起きないように、経年劣化対策を含め施設の改修に取り組む。	学校給食の安全かつ安定提供のため、給食の停止や事故が起きないように、経年劣化対策を含め施設の改修に取り組む。
その他の取組等	実績	コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう運用した。	コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう運用した。	コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう運用した。	コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう運用した。	引き続き、コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう運用した。	引き続き、コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう運用した。	引き続き、コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて省エネを徹底(特にボイラー)することで、光熱水費を効果的に削減できるよう運用した。
	予定	引き続き、省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう取り組む。	引き続き、省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう取り組む。	引き続き、省エネを徹底することで、光熱水費を効果的に削減できるよう取り組み、その効果について分析し評価する。	コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて省エネを徹底しながら、光熱水費削減の取組を維持していく。	コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて身近な省エネを徹底することで、光熱水費削減の取組を維持していく。	コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて身近な省エネを徹底することで、光熱水費削減の取組を維持していく。	コージェネレーションシステム等の設備を活用し、併せて身近な省エネを徹底することで、光熱水費削減の取組を維持していく。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	項目 施設の効率的な運営方法の検討	委託業者と連携し、施設および設備の経年劣化等に対応したことで、学校給食を安全かつ安定して提供することができた。
	施設のエネルギー効率の調査・分析に関する取組	コージェネレーションシステム等の設備を活用することにより、消費電力等を削減することができた。

24 教育センター		担当課 指導室 財産活用課	
しゅん工年度	昭和56(1981)年度	延床面積	3,719㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援センター(仮称)と類似する機能について、運用方法を検討する必要がある。</li> <li>機能移転後の跡施設の活用について、検討を行う必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能移転後の既存機能の運用手法に関する検討など、移転に向けた取組を進める。</li> <li>機能移転後の跡施設の活用について検討を行う。</li> </ul>		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設機能の移転に向けた取組を進める。</li> <li>◆令和6年度に開設予定の児童発達支援センター(仮称)へ移転する相談機能の運用方法を検討・調整する。</li> <li>◆令和6年度の施設機能の移転に向けて、既存機能及び不登校特例校の運用について検討・決定する。</li> <li>◆施設機能移転後の跡施設の活用を検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○教育センター移転先の改修設計	○移転に向けた改修工事	▽継続	○移転先での運用開始
	○児童発達支援センター(仮称)への相談機能一部移転に向けた調整	▽継続	○児童発達支援センター(仮称)での運用開始	▽継続
	●不登校特例校設置計画及び運営計画の策定	○不登校特例校指定申請手続及び改修工事	▽継続	○運用開始
	○跡施設の活用方策の検討	●検討に基づく跡施設活用方策の決定(R6まで継続)	○決定に基づく取組の実施(次年度以降へ)	▽継続
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設の効率的な改修・改築</li> <li>◆事業の効果的な実施</li> <li>◆適正な機能の整理による効果的な施設活用</li> <li>◆跡施設の有効活用</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる
施設機能の移転に向けた取組	実績	児童発達支援センター(仮称)の工事を進めた。また、新教育センターの設計作業を進めた。	児童発達支援センター(仮称)の工事を進めた。また、新教育センターの設計作業を完了させた。	工事を進めるとともに名称を子ども発達支援センターに決定した。また、新教育センターの工事に着手した。	子ども発達支援センターの工事が完了した。また、新教育センターは工事を進めている。	子ども発達支援センターへの一部移転が完了した。また、新教育センターの工事を進めている。	新教育センターの工事が計画どおり完了した。また、移転に向けて現教育センター内の整理を行った。	計画どおり移転作業を完了し、令和7年4月に新しい場所で教育センターの運用を開始した。
	予定	引き続き、児童発達支援センター(仮称)の工事及び新教育センターの設計作業を進める。	児童発達支援センター(仮称)の工事を進め、新教育センターの工事を開始する。	子ども発達支援センターの工事を完了させるとともに、新教育センターの工事を進める。	新教育センターの工事を進めるとともに、現教育センターの円滑な処分に向けて所内の整理を行う。	新教育センターの工事を進めるとともに、現教育センターの円滑な処分に向けて施設内の整理を行う。	移転先である新教育センターの円滑な運営に向けて、各種調整を行う。	-
児童発達支援センター(仮称)への相談機能一部移転に向けた取組	実績	児童発達支援センター(仮称)で行う相談機能のフローや業務体制などの検討を関係課と進めた。	児童発達支援センター(仮称)で行う相談業務の連携方法や業務体制などの検討を関係課と進めた。	子ども発達支援センターで行う相談業務の連携方法や運営体制などの検討を関係課と進めた。	関係課と協議しながら、子ども発達支援センターへの機能の一部移転の準備を進めた。	子ども発達支援センターへ機能の一部を移転し、令和6年4月に「はばたき」を開設した。	-	-
	予定	児童発達支援センター(仮称)への一部移転に向け、行うべき業務を整理し、準備を進める。	児童発達支援センター(仮称)への一部移転に向け、行うべき業務を整理し、準備を進める。	子ども発達支援センターの供用開始に向け、相談業務の整理を行うとともに、移転作業を行う。	令和6年4月の移転と移転後の円滑な運営に向け、引き続き取り組む。	-	-	-
不登校特例校設置計画及び運営計画の策定	実績	不登校特例校の設置に向けて、適応指導教室との住み分けなどの考え方を整理するとともに、新教育センターの設計作業を進めた。	不登校特例校の設置に向けた基本的な考え方と新教育センターの整備内容を決定した。	新教育センターの工事を開始するとともに、不登校特例校の運営計画や備品等について検討した。	学びの多様化学校の開設に向けて、今後の取組予定等をまとめるとともに、準備委員会を設置し、協議を進めた。	学びの多様化学校の開設に向けて、準備委員会で協議するとともに国の指定を受けるための申請手続を進めた。	学びの多様化学校の入室検討会や保護者説明会を行うなど、開設に向けた各種手続を進めた。	教育センターの移転に合わせて令和7年4月に学びの多様化学校を開設した。追加募集の手続も進めており、順調に運営を行えている。
	予定	新教育センターの設計作業を進めるとともに、運営計画の詳細を検討する。	新教育センターの工事を開始するとともに、運営計画の詳細を検討する。	不登校特例校の運営計画の詳細を検討する。	準備委員会を中心に運営に関する協議を進める。	令和7年4月の開設に向けて、各種手続を具体的に進める。	学びの多様化学校の円滑な運営を行うとともに、体験入室などの追加募集に係る手続についても検討を進める。	今年度の運営により明らかになった点を踏まえて、次年度の運営計画を検討する。

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	
跡施設の活用方策の検討及び方策の決定に関する取組	実績	事業手法及び活用方策の検討に向けてサウンディング型市場調査を実施した。	サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、事業手法の検討を行うとともに、改めて行政需要の確認を行った。	行政需要を踏まえ、事業手法について検討を行うとともに、改めてサウンディング型市場調査を行った。	行政需要を踏まえた事業手法や事業者を求める条件等を整理することに時間を要したことから、活用方針策定の時期を令和6年度に見直した。また、上記に関連して、再度サウンディング型市場調査を行った。	事業手法等について整理、跡地の活用の方向性を定め、近隣住民に説明を行った。	跡地の活用方針を策定するとともに、事業者募集に向けて公募型サウンディング型市場調査を実施した。	事業実施に係る公募を行ったところ、不調となった。	不調の要因や各機能の必要性を改めて確認し、当面の間、市立三本木保育所の仮移転先として使用することとして活用方針の見直しを行った。
	予定	サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、事業手法、活用方針の検討を行う。	行政需要を踏まえ、事業手法を整理するとともに、活用方針の策定に向けた検討を行う。	サウンディング型市場調査の結果を踏まえて事業手法を整理し、活用方針の検討を行う。	見直したスケジュールに基づき、事業手法の整理を行い、活用方針の検討を行う。	跡地の活用方針を策定し、事業者募集に向けて改めてサウンディング型市場調査を行う。	事業実施に係る公募手続を行う。	不調の要因や各機能の必要性を改めて確認したうえで、再公募または別の用途による活用など、今後の方向性を検討する。	跡施設の解体設計を行う。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-	-

● 4年間の取組の総括

評価	D. 当初の予定を変更し、方針決定や計画策定を次期プランに引き継いだ。		
取組の成果	項目	施設機能の移転に向けた取組	機能移転に向けた取組については設計・工事ともに計画どおり行うことができた。
	項目	児童発達支援センター（仮称）への相談機能一部移転に向けた取組	子ども発達支援センター「はばたき」へ就学相談・教育相談機能を移転し、計画どおり令和6年度より運用を開始した。「はばたき」では、福祉と教育の連携を推進して相談支援を進めている。
	項目	不登校特例校設置計画及び運営計画の策定	計画どおり令和7年4月に学びの多様化学校を開設した。運営についても概ね軌道にのっているが、体験入室の方法、入室検討に当たっての審査基準の明確化など、運営方法の改善に向けて、さらに検討を進める必要がある。
	項目	跡施設の活用方策の検討及び方策の決定に関する取組	サウンディング型市場調査などの結果も踏まえ、行政需要と歳入確保を両立する形で跡地活用方針を策定することができたが、事業者選定が不調となり民間事業者による活用を行うことはできなかった。しかしながら、不調の要因を確認するとともに導入を予定していた各機能の検討を行い、当面の間は市立三本木保育所の仮移転先として使用することで、将来的な跡地の有効活用の可能性を残しつつ、昨今の社会情勢や行政需要を踏まえた活用内容に見直すことができ、今後はこの内容に沿って取組を進める必要がある。

25 子ども家庭支援センター「たち」		担当課 子ども家庭支援課	
しゅん工年度	平成16(2004)年度	延床面積	2,484㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設から事務室機能が他の施設へ移転するため、既存施設の管理や運営手法などを検討する必要がある。</li> <li>交流ひろばは、同様の機能を持った「はぐ」が基幹保育所内に整備されたことで、利用者数が減少しているため、引き続き利用状況を把握し、本施設の役割を整理する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズや利用状況を踏まえて、施設の有無にとられないサービスの提供手法について検討する必要がある。</li> <li>子育て世代包括支援センターや新たに設置される児童発達支援センター（仮称）と連携を図ることで、より効果的な事業の実施を目指す。</li> </ul>		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆令和4年度から事務室機能が他の施設へ移転することに伴い、既存施設の管理及び運営のより良い手法を検討する。</li> <li>◆相談事業などについて、施設の有無にとられない新たなサービス提供手法等を検討する。</li> <li>◆より効果的な事業の実施を目的として、子育て世代包括支援センターや新たに設置される児童発達支援センター（仮称）との連携について検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○施設の効率的な運営の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○より良い事業の提供手法についての検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○類似事業との連携についての検討	○検討に基づく方向性の決定	○決定に基づく取組の実施	▽継続
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業の効果的な実施</li> <li>◆効率的な施設運営</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組	施設の効率的な運営の検討・実施	実績 施設運営の委託業者と施設管理の連携について検討した。	適切な施設管理・運営に向けて検討したほか、委託業者との協議により、一部事務室の活用方法を決定し、ボランティア控室として活用を開始した。	事務室の一部を引き続きボランティア控室として活用しながら、施設運営の委託業者と施設管理の連携について検討した。	施設運営について、市民サービスの向上を図るため、他部署に分散していた市民向けサービスを次年度から当施設に集約させる方針を決定した。	組織改正に伴い、子ども家庭サービス担当として子育て世代包括支援センターから子ども家庭支援センターに事務室機能が一部移転したことから、管理や運営手法について従前の運用に戻した。	令和7年度以降に「みらい」で実施する事業において、「たち」の貸出スペースも活用することについて、委託業者との協議等準備を進めた。	今年度から、「みらい」で実施する事業において、「たち」の貸出スペースの活用を開始し、有効利用を図った。	「みらい」で実施しているヤングケアラー支援事業において、「たち」の貸出スペース（ミーティングルーム）を活用し、ヤングケアラーの居場所作りのイベントを定期的に開催し、有効利用を図った。
	予定	引き続き、適切な施設管理に向けて検討するほか、事務室等の活用方法も検討する。	引き続き、事務室等の活用方法を検討するとともに、委託業者と連携して適切な施設管理・運営を実施する。	委託業者と連携して適切な施設管理・運営を実施するとともに、これまでの取組について評価する。	サービスの集約に伴って事務機能が戻ることから、事務機能移転後の委託業者との連携について検討する。	引き続き、委託業者との連携を図りながら、施設の有効的な活用方法について検討する。	引き続き、委託業者との連携を図りながら、施設の有効的な活用方法について検討する。	引き続き、委託業者との連携を図りながら、施設の有効的な活用方法について検討する。	引き続き、「みらい」で実施する事業において、「たち」の貸出スペースの活用を行い、施設の有効利用を図る。
組	相談事業等のより良い提供手法についての検討・実施	実績 SNSを活用した交流会・講座の受付等について検討した。	先進事例を参考に、子育てひろばの混雑状況をオンラインで確認できるサービスを導入した。	これまで紙媒体で行っていたリフレッシュ保育の受付について、オンライン化に向けた検討を行った。	リフレッシュ保育受付のオンライン化について、システムの試作と調整を行った。	リフレッシュ保育のオンライン化について、複数のシステムを検討したが、オンラインの場合、1か月分の一括予約に対応できなくなる等、以前の運用に比べ利用者の利便性が低下することから導入を見送った。	交流ひろばの利用にあたり必要となる初回登録の申込について、オンライン化の検討を行った。	交流ひろばの利用にあたり必要となる初回登録の申込について、オンライン化の準備を行った。	交流ひろばの利用にあたり必要となる初回登録の申込について、オンライン化の準備を行った。
	予定	先進事例等の調査・研究を行う。	引き続き、オンラインによるサービスを提供するとともに、より良い事業の提供手法を検討する。	リフレッシュ保育の受付について、令和6年度のオンライン化に向けたシステム作りを調整する。また、オンライン化の取組について評価する。	次年度のリフレッシュ保育受付のオンライン化について、引き続き調整を行い、導入を目指す。	新たなシステム導入の余地について検討を行いながら、より良い事業の提供方法を検討する。	市システムだけでなく、委託事業者側で利用しているシステムも含め、より良いオンライン化の手法について検討する。	市システムだけでなく、委託事業者側で利用しているシステムも含め、より良いオンライン化の手法について検討する。	引き続き、交流ひろばの利用にあたり必要となる初回登録の申込について、オンライン化を進める。
目	類似事業との連携についての検討・実施	実績 総合相談事業における子育て世代包括支援センターとの役割について検討し、分担した。	適宜、子育て世代包括支援センターとの役割分担を見直しながら、総合相談事業を実施した。	子育て世代包括支援センターとの役割分担を見直しながら、総合相談事業を実施した。	組織改正に伴い、総合相談事業からつなげる親支援事業等について役割分担し、一部を令和7年度から子ども家庭支援センターで担当できるように方針を決定した。	妊婦さん向け見学会など、子育て世代包括支援センターと連携して行う事業を開始したほか、親支援事業等については令和7年度から子ども家庭支援センターで担当できるように委託事業者と調整を行った。	地域子育て相談機関として地域子育て支援センター「はぐ」とともに子育て世代包括支援センターと連携する体制づくりを行った。	地域子育て相談機関として地域子育て支援センター「はぐ」とともに子育て世代包括支援センターと連携した。	地域子育て相談機関として地域子育て支援センター「はぐ」や子育て世代包括支援センターと連携するとともに、親支援事業については今年度から子ども家庭支援センターが担当し実施した。
	予定	引き続き、適切な役割分担となるよう検討する。	引き続き、適切な役割分担となるよう意識しながら、総合相談事業を実施する。	引き続き、適切な役割分担となるよう意識しながら、総合相談事業を実施する。	決定した方針に基づき、令和7年度から運用を開始できるよう準備を行う。	子育て世代包括支援センター等と連携を図りながら、引き続き連携事業を検討し、効果的な事業実施に努める。	子育て世代包括支援センター等と連携を図りながら、引き続き連携事業を検討し、効果的な事業実施に努める。	子育て世代包括支援センター等と連携を図りながら、引き続き連携事業を検討し、効果的な事業実施に努める。	子育て世代包括支援センター等と連携を図りながら、引き続き連携事業を検討し、効果的な事業実施に努める。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	施設の効率的な運営の検討・実施	適切な施設管理・運営に向けて委託事業者と協議を行い、一部事務室をボランティア控室として活用を開始した。また、市民サービスの向上を図るため、他部署に分散していた市民向けサービスを当施設に集約させた。さらに、「みらい」で実施する事業において、令和7年度から「たち」の貸出スペースの活用を開始させ、施設の有効利用を図ることができた。
	相談事業等のより良い提供手法についての検討・実施	先進事例を参考に、子育てひろばの混雑状況をオンラインで確認できるサービスを導入した。また、交流ひろばの利用にあたり必要となる初回登録の申込について、オンライン化の準備を行った。
	類似事業との連携についての検討・実施	子育て世代包括支援センターとの役割分担を見直しながら、総合相談事業を実施するとともに、令和6年度の組織改正の際は、総合相談事業からつなげる親支援事業等について役割分担し、一部を令和7年度から子ども家庭支援センターで担当する方針を決定し、実施した。また、妊婦さん向け見学会など、子育て世代包括支援センターと連携して行う事業を開始したほか、地域子育て相談機関として地域子育て支援センター「はぐ」とともに子育て世代包括支援センターと連携した。

26 保育所				
担当課 保育支援課 財産活用課				
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度
1 北保育所	府中市新町1丁目64番地の1	地上2階	797㎡	昭和58(1983)年度
2 東保育所	府中市若松町3丁目21番地の4	地上2階	753㎡	昭和49(1974)年度
3 西保育所	府中市美好町3丁目23番地の2	地上2階	728㎡	昭和61(1986)年度
4 中央保育所	府中市晴見町2丁目7番地の17	地上2階	729㎡	昭和62(1987)年度
5 北山保育所	府中市北山町3丁目27番地の9	地上2階	840㎡	平成5(1993)年度
6 住吉保育所	府中市住吉町2丁目30番地の47	地上3階	1,499㎡	令和元(2019)年度
7 小柳保育所	府中市小柳町2丁目34番地の2	地上2階	626㎡	昭和46(1971)年度
8 四谷保育所	府中市四谷5丁目3番地の1	地上2階	568㎡	昭和47(1972)年度
9 八幡保育所	府中市八幡町1丁目12番地の12	地上2階	658㎡	昭和48(1973)年度
10 本町保育所	府中市本町3丁目19番地の3	地上2階	563㎡	昭和48(1973)年度
11 三本木保育所	府中市府中町3丁目23番地の1	地上2階	1,185㎡	昭和49(1974)年度
12 西府保育所	府中市西府町3丁目32番地の12	地上2階	661㎡	昭和50(1975)年度
13 美好保育所	府中市美好町2丁目4番地 (都営府中美好町二丁目アパート1階)		659㎡	昭和50(1975)年度
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在再編に向けた取組内容を検討している施設については、取組内容を決める必要がある。</li> <li>・建築後40年から50年を迎えている施設が多いため、再編に向けた具体的な取組内容が決まっている施設は、統合などのタイミングなども考慮しながら、既存施設を効率的に維持管理する必要がある。</li> </ul>			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立保育所の再編に向けた具体的な取組内容が決まっている施設については計画どおりに取組を進め、具体的な取組内容を検討中の施設については取組内容やスケジュールを定め、再編を進める。</li> <li>・施設の統合まで効率的に維持管理していくための手法を検討する。</li> </ul>			

第3次推進プランの取組(令和4年度～令和7年度)					
取組内容	スケジュール				
	R4	R5	R6	R7	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆北保育所、西保育所、中央保育所及び美好保育所については、基幹保育所への統合計画を令和5年度までに策定する。</li> <li>◆本町保育所については、基幹保育所としての整備を進める。</li> <li>◆住吉保育所については、令和5年度に四谷保育所を統合し、四谷保育所は統合に合わせて廃止する。</li> <li>◆小柳保育所については、令和8年度に八幡保育所と統合した上で、基幹保育所として運営を開始し、八幡保育所は統合に合わせて廃止する。</li> </ul>	<b>【北、西、中央、美好保育所】</b> ○基幹保育所への統合計画の策定に向けた検討	<b>【北、西、中央、美好保育所】</b> ●統合計画の策定	<b>【北、西、中央、美好保育所】</b> ○計画に基づく取組	<b>【北、西、中央、美好保育所】</b> ▽継続	
	<b>【本町保育所】</b> ○基幹保育所整備に向けた取組の実施	<b>【本町保育所】</b> ▽継続	<b>【本町保育所】</b> ▽継続	<b>【本町保育所】</b> ○基幹保育所として運営開始	
	<b>【住吉保育所】</b> ○四谷保育所との統合に向けた取組の実施	<b>【住吉保育所】</b> ○四谷保育所を統合	—	—	
	<b>【小柳保育所】</b> ○新園舎の整備と基幹保育所としての運営に向けた取組の実施	<b>【小柳保育所】</b> ▽継続	<b>【小柳保育所】</b> ▽継続	<b>【小柳保育所】</b> ▽継続	
	○八幡保育所との統合に向けた取組の実施	▽継続	▽継続	▽継続	
	○跡地の活用の検討 (新園舎整備後の既存の小柳保育所)	▽継続	▽継続	▽継続	
	<b>【四谷保育所】</b> ○住吉保育所への統合に向けた取組の実施	<b>【四谷保育所】</b> ○住吉保育所へ統合(四谷保育所の廃止)	—	—	
	○解体に向けた設計及び跡地の活用の検討	▽施設の解体及び跡地の活用の検討	—	—	
	<b>【八幡保育所】</b> ○小柳保育所への統合に向けた取組の実施	<b>【八幡保育所】</b> ▽継続	<b>【八幡保育所】</b> ▽継続	<b>【八幡保育所】</b> ▽継続	
	○跡地の活用の検討	▽継続	▽継続	▽継続	
	<b>【西府保育所】</b> ○施設の解体及び跡地の活用の検討	—	—	—	
	<b>期待する主な効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業の効果的な実施</li> <li>◆施設の維持管理に係る市の歳出の削減</li> <li>◆跡施設の有効活用</li> </ul>			

※次頁に続く

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	基幹保育所への統合計画の策定	実績	市立保育所再編に向けた具体的な取組内容が決まっている北・西・中央・美好保育所について、取組内容・スケジュール等の検討を進めた。	市立保育所再編に向けた具体的な取組内容が決まっている北・西・中央・美好保育所について、取組内容・スケジュール等の検討を進めた。	市立保育所再編に向けた具体的な取組内容が決まっている北・西・中央・美好保育所について、取組内容・スケジュール等の検討を進めた。	市立保育所再編に向けた具体的な取組内容が決まっている北・西・中央・美好保育所について、取組内容・スケジュール等の検討し、今後の取組を策定した。	北・三本木保育所の統合及び西・本町保育所の統合に向けた定員枠調整の検討を進めた。	北・三本木保育所の統合及び西・本町保育所の統合に向けた定員枠調整の検討を進めた。	北・三本木保育所の統合及び西・本町保育所の統合に向けた定員枠調整を実施した。 北・三本木保育所は、旧教育センター跡地活用事業の見直しに伴い、統合スケジュールを変更した。	
		予定	市立保育所再編に向けた具体的な取組内容が決まっている北・西・中央・美好保育所について、取組内容・スケジュール等の検討を進める。	市立保育所再編に向けた具体的な取組内容が決まっている北・西・中央・美好保育所について、取組内容・スケジュール等の検討を進める。	市立保育所再編に向けた具体的な取組内容が決まっている北・西・中央・美好保育所について、取組内容・スケジュール等の検討を進め、計画を策定する。	北・三本木保育所の統合及び西・本町保育所の統合に向けた定員枠調整の検討を進める。	引き続き、北・三本木保育所の統合及び西・本町保育所の統合に向けた定員枠調整の検討を進める。	北・三本木保育所の統合及び西・本町保育所の統合に向けた定員枠調整を進める。	北・三本木保育所の統合及び西・本町保育所の統合に向けた定員枠調整を継続する。	西・本町保育所の統合に向けた定員枠調整を継続する。
	本町保育所の基幹化に関する取組	実績	本町保育所の整備に向けて、事業実施に係る公募・選定手続を進めた。	物価高騰の影響等により、事業者の選定が不調となったことから、基幹保育所として運営開始するスケジュールを令和7年度から8年度に延期し、引き続き、本町保育所の整備に向けて、事業実施に係る公募・選定手続を進めた。	本町保育所の整備に向けて、事業実施に係る公募・選定手続を進めた。	本町保育所の整備に向けて、事業実施に係る公募・選定手続を進め、事業者の選定等を実施した。	新園舎の整備に向けた設計等を進めた。	新園舎の整備に向けた設計・工事等を進めた。	新園舎の整備に向けた工事等を進めた。	新園舎の整備に向けた工事等を進めた。
		予定	本町保育所の整備に向けて、事業実施に係る公募・選定手続を進める。	本町保育所の整備に向けて、事業実施に係る公募・選定手続を進める。	引き続き、本町保育所の整備に向けて、事業実施に係る公募・選定手続を進める。	新園舎の整備に向けた設計等を進める。	引き続き、新園舎の整備に向けた設計等を進める。	引き続き、新園舎の整備に向けた工事等を進める。	引き続き、新園舎の整備に向けた工事等を進める。	引き続き、新園舎の整備に向けた工事等を進める。
	住吉保育所と四谷保育所の統合に関する取組	実績	住吉・四谷保育所の統合に向け定員枠調整を継続して実施した。	住吉・四谷保育所の統合に向け定員枠調整を継続して実施した。	住吉保育所と四谷保育所を統合し、廃止した四谷保育所の解体に向けた準備を進めた。	廃止した四谷保育所の解体を実施した。	四谷保育所跡地の活用について検討した。	四谷保育所跡地の活用について検討した。	四谷保育所跡地の活用について検討した。	四谷保育所跡地の活用について近隣住民のアンケート調査を実施した。
		予定	住吉・四谷保育所の統合に向け定員枠調整を継続する。	四谷保育所の廃止に伴い、当該施設の解体に向けた設計・工事を進める。	四谷保育所の廃止に伴い、当該施設の解体に向けた工事を進める。	住吉保育所において、基幹保育所としての運営を継続する。	引き続き、四谷保育所跡地の活用について検討する。	引き続き、四谷保育所跡地の活用について検討する。	引き続き、四谷保育所跡地の活用について検討する。	四谷保育所跡地の活用について民間事業者へのヒアリング等を行い、跡地活用の検討を行う。
	小柳保育所の基幹化に関する取組	実績	新園舎の整備に向けた実施設計を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続して実施した。	新園舎の整備に向けた実施設計を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続した。	新園舎の整備に向けた実施設計・敷地内整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続した。	新園舎の整備に向けた実施設計・敷地内整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続した。	新園舎の整備に向けた施設整備工事に係る手続等を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続した。	新園舎の整備に向けた施設整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続した。	新園舎の整備に向けた施設整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続した。	新園舎の整備に向けた施設整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続した。
		予定	新園舎の整備に向けた実施設計を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続する。	新園舎の整備に向けた実施設計・敷地内整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続する。	引き続き、新園舎の整備に向けた実施設計・敷地内整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続する。	新園舎の整備に向けた施設整備工事に係る手続等を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続する。	新園舎の整備に向けた施設整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続する。	引き続き、新園舎の整備に向けた施設整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続する。	引き続き、新園舎の整備に向けた施設整備工事を進めるとともに、小柳・八幡保育所の統合に向け定員枠調整を継続する。	令和8年4月に、基幹保育所となる日吉保育所として運営を開始する。
	その他の取組等	実績	包括管理業務委託の受託事業者による劣化状況調査を実施し、調査結果の報告を受けたほか、優先度に基づいた計画的な修繕の実施に努めた。	包括管理業務委託の受託事業者による劣化状況調査の結果を受け、優先度に基づいた修繕を実施した。	包括管理業務委託の受託事業者による劣化状況調査の結果の報告を受けたほか、優先度に基づいた計画的な修繕の実施に努めた。また、令和6年度から新たに包括管理業務を試行するため、関係課と調整した。	包括管理業務委託の受託事業者による劣化状況調査を実施し、調査結果の報告を受けたほか、優先度に基づいた計画的な修繕の実施に努めた。また、令和6年度から新たに包括管理業務を試行するため、事業者選定に係る手続を進めた。	第2期包括管理業務委託が開始され業務範囲が拡大し、包括管理業務受託事業者による劣化状況調査等が行われた。合わせて、例年同様に包括管理業務受託事業者による劣化状況調査を実施し、調査結果の報告を受けたほか、優先度に基づいた計画的な修繕の実施に努めた。	第2期包括管理業務委託が開始され業務範囲が拡大し、包括管理業務受託事業者による劣化状況調査等が行われた。合わせて、例年同様に包括管理業務受託事業者による劣化状況調査を実施し、調査結果の報告を受けたほか、優先度に基づいた計画的な修繕の実施に努めた。	令和6年度から第2期包括管理業務委託が開始され業務範囲が拡大し、包括管理業務受託事業者による劣化状況調査等が行われた。合わせて、例年同様に包括管理業務受託事業者による劣化状況調査を実施し、優先度に基づいた計画的な修繕の実施に努めた。	令和6年度から第2期包括管理業務委託が開始され業務範囲が拡大し、包括管理業務受託事業者による劣化状況調査等が行われた。合わせて、例年同様に包括管理業務受託事業者による劣化状況調査を実施し、優先度に基づいた計画的な修繕の実施に努めた。
		予定	包括管理業務委託の今後の方向性について、関係課で調整を行う。	包括管理業務委託の今後の方向性を踏まえ、計画的に修繕を行う。	包括管理業務委託の今後の方向性について、関係課で調整を行う。	新たな包括管理業務委託の試行実施のもと、施設管理を行う。	包括管理業務委託に基づき、施設管理を行う。	検討協議会からの答申を踏まえた上で、検討を進める。	包括管理業務委託に基づき、施設管理を行う。	包括管理業務委託に基づき、施設管理を行う。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	基幹保育所への統合計画の策定	今後の保育行政のあり方に関する基本方針（平成26年1月策定）に基づき進めてきた市立保育所の再編による重点集約化の取組において、具体的な取組内容が決まっていなかった北・西・中央・美好保育所について、市立保育所の再編に係る今後の具体的な取組予定を策定した。
	本町保育所の基幹化に関する取組	本町保育所の整備に向けた設計・工事等を進めた。
	住吉保育所と四谷保育所の統合に関する取組	四谷保育所を基幹保育所の住吉保育所に統合し、廃止した。四谷保育所跡地の活用については、近隣住民へのアンケート調査を実施するなど検討を進めることができた。
	小柳保育所の基幹化に関する取組	日吉保育所の整備に向けた設計・工事等を進め、令和8年4月に基幹保育所としての運営を開始する。
	その他の取組等	包括管理業務受託業者による劣化状況調査や、同業務で実施する各種点検等の結果を通じて、専門的な知見を有する業者の助言のもと、優先度に基づいた計画的な修繕を実施するなど、総合的な視点から施設の包括管理を行うことができた。

27 幼稚園		担当課 学務保健課 財産活用課	
施設名称	所在地	延床面積	しゅん工年度
1 みどり幼稚園	府中市緑町1丁目8番地	657㎡	昭和50(1975)年度
2 旧小柳幼稚園	府中市小柳町6丁目23番地	711㎡	昭和50(1975)年度
課題	施設解体後の跡地の活用方策を検討する必要がある。		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉園した施設について、解体工事を実施していく。</li> <li>・施設解体後の跡地について、新たな活用を検討する。</li> </ul>		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆旧小柳幼稚園は、令和3年度の解体設計を踏まえて、令和4年度に解体工事を実施する。 ◆みどり幼稚園は、令和4年度に閉園し、令和6年度に解体工事を実施する。 ◆施設解体後の跡地について、新たな活用方法を検討していく。			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	【みどり幼稚園】 ○機能廃止に向けた取組の実施	【みどり幼稚園】 ○解体に向けた調査及び設計 (令和8年度へ)	【みどり幼稚園】 ○施設の解体 (令和9年度へ)	-
	【旧小柳幼稚園】 ○施設の解体	-	-	-
	○跡地の新たな活用方策の検討	-	-	-
期待する主な効果	◆跡地の有効活用			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組	みどり幼稚園に係る取組	実績 途中入園者に対し、廃園についての周知を行った。	用途変更の手続きを行い、建物ごと跡地活用の担当課に引き継いだ。	新庁舎(おもや)移転に伴い選挙管理委員会事務室等として建物の使用を開始した。	令和8年度まで選挙管理委員会が使用				
	旧小柳幼稚園に係る取組	実績 解体工事に向け、契約等の各種手続を進め、解体工事に着手した。	選挙管理委員会が新庁舎(はなれ)移転の令和8年度末まで建物を使用する。	選挙管理委員会が新庁舎(はなれ)移転の令和8年度末まで建物を使用する。					
項目	跡地の新たな活用方策の検討	実績 みどり幼稚園について、新庁舎建設事業に伴い庁舎として、はなれ竣工まで一時利用することとして整理した。	旧小柳幼稚園については、跡地活用の検討を行った。	旧小柳幼稚園については、跡地活用の検討を行った。	旧小柳幼稚園については、跡地活用の検討を行った。	旧小柳幼稚園については、近隣住民のアンケート調査を行うとともに、民間事業者へヒアリングを行い、売却する方向で進めることとした。	旧小柳幼稚園については、売却に当たっての諸条件について検討を行った。	旧小柳幼稚園については、売却に当たっての諸条件について検討を行った。	旧小柳幼稚園については、売却に当たっての諸条件について検討を行った。
	その他の取組等	実績 -	旧小柳幼稚園については、引き続き、跡地活用の検討を行う。	旧小柳幼稚園については、引き続き、跡地活用の検討を行う。	旧小柳幼稚園については、引き続き、跡地活用の検討を行う。	売却に当たっての諸条件について検討を行う。	旧小柳幼稚園については、引き続き、売却に当たっての諸条件について検討を行う。	旧小柳幼稚園については、引き続き、売却に当たっての諸条件について検討を行う。	旧小柳幼稚園については、引き続き、売却に当たっての諸条件について検討を行う。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	みどり幼稚園に係る取組	選挙管理委員会事務局事務室等として建物の有効活用を図るとともに、新庁舎建設工事中における庁舎の狭あい化の軽減につなげることができた。
	旧小柳幼稚園に係る取組	遅延なく解体工事を完了することができた。
	跡地の新たな活用方策の検討	旧小柳幼稚園については近隣住民の意向を踏まえた活用の方向性を定めることができた。旧みどり幼稚園については、解体時期を見据え具体的な跡地活用の検討に着手することができた。

28 学童クラブ				担当課 児童青少年課 財産活用
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度
1 第一学童クラブ	府中市寿町2丁目6番地	地上2階	236㎡	平成元(1989)年度
2 第一学童クラブ分館	府中市寿町2丁目6番地の8	地上2階	273㎡	令和元(2019)年度
3 第二学童クラブ	府中市緑町1丁目29番地	地上2階	481㎡	平成4(1992)年度
4 第二学童クラブ分館	府中市緑町1丁目35番地の1	地上2階	478㎡	平成30(2018)年度
5 第三学童クラブ	府中市片町3丁目5番地	地上2階	297㎡	平成元(1989)年度
6 第四学童クラブ	府中市白糸台1丁目59番地	地上1階	243㎡	平成2(1990)年度
7 第五学童クラブ	府中市本宿町1丁目51番地	地上1階	231㎡	平成2(1990)年度
8 第六学童クラブ	府中市天神町4丁目27番地	地上1階	183㎡	平成2(1990)年度
9 第七学童クラブ	府中市北山町2丁目20番地	地上2階	335㎡	平成9(1997)年度
10 第八学童クラブ	府中市是政1丁目34番地	地上2階	484㎡	令和4(2022)年度
11 第九学童クラブ	府中市栄町3丁目7番地	地上2階	245㎡	平成7(1995)年度
12 第十学童クラブ	府中市若松町4丁目32番地	地上2階	308㎡	平成4(1992)年度
13 武蔵台学童クラブ	府中市武蔵台2丁目3番地	地上2階	256㎡	平成4(1992)年度
14 住吉学童クラブ	府中市住吉町2丁目30番地	地上2階	299㎡	平成9(1997)年度
15 新町学童クラブ	府中市新町1丁目29番地	地上1階	211㎡	平成4(1992)年度
16 本宿学童クラブ	府中市本宿町4丁目19番地	地上2階	286㎡	平成元(1989)年度
17 白糸台学童クラブ	府中市白糸台2丁目18番地	地上1階	192㎡	平成2(1990)年度
18 矢崎学童クラブ	府中市矢崎町4丁目9番地	地上1階	172㎡	平成2(1990)年度
19 若松学童クラブ	府中市若松町3丁目3番地	地上2階	271㎡	平成3(1991)年度
20 小柳学童クラブ	府中市小柳町4丁目45番地	地上2階	292㎡	平成元(1989)年度
21 南白糸台学童クラブ	府中市押立町2丁目25番地	地上2階	292㎡	平成2(1990)年度
22 四谷学童クラブ	府中市四谷3丁目2, 740番地	地上1階	254㎡	平成元(1989)年度
23 南町学童クラブ	府中市南町3丁目6番地	地上2階	283㎡	平成3(1991)年度
24 日新学童クラブ	府中市日新町5丁目22番地	地上1階	165㎡	平成2(1990)年度
<b>課題</b>	育成室の狭あい化が進行している一部の学童クラブについて、育成面積を確保する必要がある。			
<b>今後の方向性</b>	育成室の狭あい化が進行している学童クラブは将来需要を分析した上で、学校の改築に合わせて学校施設と複合化することで、育成面積の確保を図る。			

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	スケジュール			
	R4	R5	R6	R7
◆育成室の狭あい化が進行している学童クラブについて、将来需要を分析した上で、育成面積の確保に向け学校改築のスケジュールを踏まえた計画的な整備を進める。 ◆効率的な施設の維持管理の手法を検討・実施する。	○将来需要の分析	▽継続	▽継続	▽継続
	○将来需要の分析を踏まえた、育成面積確保のための計画的な整備の実施	▽継続	▽継続	▽継続
【第八学童】 ○府中第八小学校改築に伴う学童クラブの複合化及び供用開始	【第八学童】 ○複合施設での運営	【第八学童】 ▽継続	【第八学童】 ▽継続	【第八学童】 ▽継続
	【第三・六学童】 ○府中第三・六小学校の改築に伴う学童クラブの複合化に向けた取組	【第三・六学童】 ▽継続	【第三・六学童】 ○複合施設での運営開始	【第三・六学童】 ▽継続
○効率的な施設の維持管理の実施	▽継続	▽継続	▽継続	▽継続
<b>期待する主な効果</b>	◆事業の効果的な実施 ◆安心安全な育成環境の整備 ◆施設の維持管理に係る市の歳出の削減			

※次頁に続く

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	将来需要の分析に係る取組	実績	小学校校區別児童数予測に基づき学童クラブの将来需要を試算、対策部会の基礎資料としたほか、第一学童クラブ増床検討の根拠資料とした。	関係課から児童数の推移予測を入手したほか、市内の開発計画情報も集めながら、年々変化する学童クラブ需要の分析予測に努め、整備計画に役立った。	関係課から令和6年度の児童の見込数を入手したほか、市内の開発計画情報も集めながら、整備計画に役立った。	令和6年度から令和10年度の小学校の児童見込数に基づき、学童クラブの仮設建築物のリース延長を行った。	第一学童クラブにおいて、児童数がひっ迫しているため、第一学童クラブ分館のリース延長を行った。	児童数がひっ迫しているため、リース契約を継続した。	児童数がひっ迫しているため、リース契約を継続した。	
		予定	引き続き関係課と連携し、児童数推移予測と学童入会率を照合し、将来需要の分析に努める。	引き続き関係課と連携し、児童数推移予測と学童入会率を照合し、将来需要の分析に努める。	児童の見込数や開発計画の情報を集めながら、将来需要の分析に努める。	最新の児童見込数や開発計画の情報を集めながら、将来需要の分析に努める。	最新の児童見込数や開発計画の情報を集めながら、将来需要の分析に努める。	最新の児童見込数や開発計画の情報を集めながら、将来需要の分析に努める。	最新の児童見込数や開発計画の情報を集めながら、将来需要の分析に努める。	
	将来需要の分析を踏まえた、育成面積確保のための計画的な整備の実施	実績	学区内児童数の増加により令和6年度に育成面積が不足見込みとなる第一学童クラブの増床策について関係課と協議した。	第一学童クラブの増床については、建替え以外の、学校施設の借用や他の市施設の転用の可能性も含めて再検討することとした。	第五学童クラブの仮設建築物の建築に着手した。	第五学童クラブの仮設建築物が完成し、児童を分散させて育成ができるようになった。	適正な育成面積確保に向けた手続を進めるために、第三・第六学童クラブの改築工事を進めている。	第三学童クラブにおいて、改築工事が完了し、育成面積が増加した。	次期改築予定の第五・第九学童クラブについて、関係部署と今後のスケジュールを確認した。	第三・第六学童クラブの改築を踏まえ、育成面積などを含めた要望や改善点を関係部署に伝えた。
		予定	協議の結果、現第一学童クラブを令和6年度以降に建替えて増床することとしたため、令和5年度に行う設計の準備を進める。	第一同様、育成面積が不足する第五学童クラブについて、近隣施設の敷地を一部活用し、仮設建築物を建築し、借上げる準備を進める。	第五学童クラブの仮設建築物は令和6年2月に完成予定。今後は、学校の改築に伴う複合化を進めつつ、育成面積を確保できるように調整を進める。	第三・六小学校の改築工事に伴い、学童クラブも改築を進めていく。	その他の学童クラブについては、引き続き適正な育成面積確保に向けた検討を進める。	その他の学童クラブについては、引き続き適正な育成面積確保に向けた検討を進める。	学校改築の基本構想の内容を確認する。	関係部署や事業者と連携し、次期改築の基本計画を構築する。
	第八学童クラブに関する取組	実績	本年11月の新施設移転向け関係課と協議を重ねるとともに、改築工事、附帯設備工事、初度備品等の契約を締結した。	改築した学校建物内への事業移転は、考え得る準備をした結果、育成に大きな混乱を招くことなく、移転することができた。	学童の運営時間外に学校にいる児童が誤って学童エリアに入り、警備が作動する事例があった。学校にも学童の警備解除キーを渡し、誤侵入の際に警備を解除できるように調整した。	令和6年度より、学校の点検業者から学童クラブとけやきッズに点検のお知らせを配布してもらうよう調整をした。	学校の点検業者から点検を伴う作業等のお知らせが配布されるようになったため、円滑に日程調整を行えるようになった。	-	-	-
		予定	業務への影響を抑えて新施設へ移行する事務の手順を検証する。令和5年度の保守委託を関係課と調整する。	地域開放に供する体育館内に設置されているため、特にセキュリティ対策及び保守管理の進め方を学校担当課と協力して確立する。	学校と連動した点検作業の日時が、学童とけやきッズに周知されていないことがあった。周知方法を学校施設課と調整する。	停電を伴う点検作業等があるため、学童クラブの運営が円滑に進められるように引き続き調整を行う。	-	-	-	-
	第三・六学童クラブに関する取組	実績	非常通報装置等、改築する新施設に必要な諸設備について、関係課や設計会社と協議・調整を図った。	関係課と連携し、令和5年度着工の準備を進めた。また、第六学童は一部学校空教室を借用しているため、仮設校舎へ移転した。	第三学童クラブの改築工事は、令和5年7月に事業着手をした。	第六学童クラブの改築工事について、令和5年10月に事業着手した。	移転に向けて、備品の移設・廃棄・購入の調整や非常通報装置設置の調整を行った。	第三・第六学童クラブの改築工事が完了し、備品の搬入等を行った。	供用開始しているが、旧第六学童クラブは学校敷地外に残っているため、8月下旬から解体工事に着工した。	旧第六学童クラブについて、2月上旬に解体工事を完了した。土地については、関係部署に引継ぎを行った。
		予定	令和5年度実施予定の一連の学校改築関係諸工事に関連する学童・けやきッズに係る部分の準備を進める。	令和5年度の着工に向けて、引続き、関係課と協力しながら進めていく。第六学童クラブの改築工事は、令和5年10月から事業着手を予定している。	第三学童クラブ移転に向けて非常通報装置や初度備品等の準備を進め、改築工事を関係課と調整しながら進めていく。第六学童クラブの改築工事は、令和5年10月から事業着手を予定している。	両学童クラブについて、令和6年度の2月に引渡し予定のため、工事進捗を把握し、付随する作業や委託の調整を行う。	令和7年3月の春休みを目途に運用開始予定のため、引き続き移転に向けた準備を進める。	3月21日より供用開始し、取組を進める。	2月上旬に解体工事の完了を予定している。	-
	効率的な施設の維持管理の実施（その他の取組等）	実績	学童クラブ全空調機の点検及び機器台帳作成を行い、管理を効率化した。	包括管理業務委託の受託事業者による劣化状況調査の結果を受け、優先度に基づいた修繕を実施した。	空調機は、機器台帳をもとに設置の年代が古いものから更新を行った。また、劣化状況調査や学童からの要望を踏まえ、修繕を実施した。	巡回報告書の内容を踏まえ、課内の作業員が積極的に修繕を行うことで、コストを削減しながら効率的に進めることができた。	学童クラブから直接包括管理業者に連絡できるようになり、効率的に修繕依頼を出せるようになった。	包括管理事業について、執行管理の打合せを行い、バランスよく修繕を行えた。	空調機について、更新修繕計画通り、更新を行った。	包括管理事業者と調整を行い、優先順位が高いものから修繕を行った。
		予定	包括管理委託状況調査・現地視察で指摘の要修繕箇所について令和5年度に修繕できるよう準備する。	包括管理業務委託の今後の方向性を踏まえ、計画的に修繕を行う。	空調機の更新は、引き続き機器台帳をもとに計画して行っていく。施設修繕については、月に一度の包括管理業者による巡回報告等を踏まえ、優先順位を付けながら行う。	令和6年度より、施設修繕は包括管理事業者が主にを行うため、進捗状況等を把握するようにする。	8月末時点で予算執行率が半分を超えているため、執行管理の調整を今後行う。	検討協議会からの答申を踏まえた上で、検討を進める。	包括管理事業者と連携しながら、修繕箇所について整理する。	優先順位が低い細かい修繕要望箇所が溜まってきているので、処置について検討を行う。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	将来需要の分析に係る取組	学童クラブの児童数はひっ迫している状況が続いているため、リース契約を継続する。今後においても、小学校の児童見込数の動向を注視し、将来需要の分析に努める。
	将来需要の分析を踏まえた、育成面積確保のための計画的な整備の実施	第五学童クラブ分館の建設や第三学童クラブの改築において、育成面積増加の整備を行った。
	第八学童クラブに関する取組	学校と一体的に改築工事を行い、令和4年11月に供用を開始した。供用開始後は、警備や点検の関係で円滑に行かないこともあったが、調整を行い改善した。
	第三・第六学童クラブに関する取組	学校と一体的に改築工事を行い、令和7年3月に供用を開始し、令和7年度に解体工事が完了した。
	効率的な施設の維持管理の実施（その他の取組等）	空調機に関しては、機器台帳を作成し、年代が古い機器から順次更新を行った。 包括管理事業では、令和6年度より修繕受付のコールセンターが整備され、軽微な修繕であれば事業者判断で修繕を行えるようになったため、職員の事務手続や現場確認に費やす時間が省け、効率的に維持管理を行うことができた。

29 特別養護老人ホーム 高齢者在宅サービスセンター				
			担当課 介護保険課	指導室
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度
1 特別養護老人ホーム よつや苑	府中市四谷3丁目6番地	地上2階、 地下1階	4,542㎡	平成 3 (1991) 年度
2 特別養護老人ホーム あさひ苑	府中市朝日町3丁目17番地	地上3階、 地下1階	6,636㎡	平成 5 (1993) 年度
3 旧しみずがおか高齢者 在宅サービスセンター	府中市清水が丘1丁目3番地	地上6階、 地下1階 (建物全体)	2,898㎡ (4,468㎡)	平成 6 (1994) 年度
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>よつや苑及びあさひ苑については、施設の老朽化が進行しており、大規模改修を実施するに当たり、入所者に配慮した改修を検討していく必要があるほか、改修まで計画的に修繕を行う必要がある。</li> <li>よつや苑は施設譲渡に向けた調整を進める必要がある。</li> </ul>			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>よつや苑については、施設譲渡に向けた取組を進める。</li> <li>あさひ苑については、大規模改修までは修繕計画に基づいた効率的な維持管理に努め、入所者に配慮した大規模改修手法について検討する。</li> <li>旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンターについては、廃止後の跡施設を教育センターの移転先として活用する。</li> </ul>			

第3次推進プランの取組 (令和4年度～令和7年度)				
取組内容	R4	R5	R6	R7
	◆よつや苑の施設譲渡に向けて必要な諸条件を整理するほか、入所者に考慮しながらの改修方法を検討及び実施する。 ◆あさひ苑については、設備等の耐用年数を踏まえた施設修繕計画を作成し、指定管理者と連携しながら効率的な施設の維持管理をしていく。	【よつや苑】 ○譲渡に向けた方策の検討・実施	【よつや苑】 ▽継続	【よつや苑】 ▽継続
スケジュール	○施設改修に向けた調査	○継続	○施設改修に向けた設計内容の検討	○継続
	【あさひ苑】 ○修繕計画の作成	【あさひ苑】 ○計画に基づく効率的な施設の維持管理	【あさひ苑】 ▽継続	【あさひ苑】 ▽継続
期待する 主な効果	【旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンター】 ○教育センターの移転に向けた検討	【旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンター】 ○教育センターの移転先として整備	【旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンター】 ▽継続	【旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンター】 ○教育センターの移転先として活用
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公と民の役割分担の明確化</li> <li>◆計画的な維持管理による施設の改修費用の軽減及び事業の継続性の確保</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組	実績	大規模改修及び譲渡に向けた課題整理のため、指定管理者と協議した。	民間化の実績がある世田谷区への視察を行った。	施設改修に向けた調査について着手した。民間化の手法について内部で検討を行った。	施設改修に向けた調査結果を踏まえた検討の結果、施設を稼働させながらの改修は困難という結論に至った。	施設譲渡等の可能性や課題などを整理するためのサウンディング型市場調査に着手した。	サウンディング型市場調査を実施し、施設譲渡に対する法人の意向や希望等の聴取などを行い、これらを整理した。	昨年度に実施したサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、施設譲渡の可否や条件等を整理するため、法人に対する追加調査に着手した。	調査により得られた譲渡条件等を整理し、これらをもとに、譲渡のメリット・デメリット等について検討・整理を行った。
	予定	来年度の調査に向けて、課題の整理をし、調査内容を精査する。他自治体の民間化事例の情報収集を進める。	施設改修に必要な調査を実施するとともに、視察で得られた民間化への課題を整理する。	施設改修に向けた調査の結果を受けて、改修手法の検討を進めていく。民間化に向けた検討を進めていく。	サウンディング型市場調査を実施し、譲渡等の可能性や課題等を整理する。	引き続きサウンディング型市場調査を行い、施設の状態を把握、整理するとともに、調査において示された譲渡に係る希望や諸条件等を整理する。	サウンディング型市場調査により得られた様々な情報(譲渡に対する各法人の関心、概算の建物価値や課題等)や、今後実施する各種調査の結果を踏まえて検討を行う。	引き続き法人への調査を行い、譲渡を受けるとした場合に法人が考える条件等を調査・整理し、これらを踏まえ、譲渡の可否を見極めるとともに譲渡条件等を整理する。	これまでに整理した譲渡のメリット・デメリット等を踏まえ譲渡の可否について判断を行う。
項目	実績	建物総合管理業務の委託事業者が今後20年間の修繕計画書を作成した。	修繕が必要な箇所を整理し、次年度の取組に向けた準備を行った。	修繕計画に基づき、予定していた西門及び北門の更新について着手した。	厨房内食品庫の空調機を更新し、予定していた修繕を完了した。	大規模改修に向け調布市、三鷹市と情報を共有するとともに、修繕が必要な箇所、緊急性等を整理し、次年度の取組に向けた準備を行った。	大規模改修に向け、次年度に取り組みべき内容として、修繕手法に係る基礎調査を行うこととし、実施に当たった費用負担について、調布市、三鷹市と調整した。	大規模改修に向けた修繕手法等に係る基礎調査に着手した。	大規模改修に向けた改修手法等に係る基礎調査を実施した。
	予定	修繕計画書に基づき、次年度修繕が必要な箇所の整理を行う。	予定している修繕の実施に向けて手続を進める。	引き続き、厨房食品庫の空調機更新を進め、効率的な施設の維持管理に努める。	調布市立ちょうふの里の改修時期と重ならないよう調布市、三鷹市と情報を共有し、大規模改修の実施時期を検討する。	引き続き、大規模改修に向け、次年度に取り組みべき内容等について整理し、調布市、三鷹市と共有する。	修繕手法等に係る基礎調査を行い、これにより得られた情報を調布市、三鷹市と共有する。	引き続き修繕手法等に係る基礎調査を行い、これにより得られた情報を随時、調布市、三鷹市と共有し、今後の大規模改修に向けた三市による協議を開始する。	改修手法等の調査結果を調布市、三鷹市と共有し、大規模改修に向けた三市による協議を行う。
目	実績	「24 教育センター」へ記載							→
	予定								
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	項目 よつや苑に係る取組 (施設改修+譲渡)	施設譲渡の検討については、サウンディング型市場調査を実施し、これにより得られた調査結果などをもとに譲渡のメリット・デメリット等について整理することができた。また、施設改修については、改修手法の調査を実施し、この結果をもとに、特別養護老人ホームの特性を踏まえた改修手法等を把握することができた。
	項目 あさひ苑に係る取組 (修繕計画の作成)	大規模改修に向けた基礎調査を実施し、大規模改修時に改修をすべき箇所の見極めや、特別養護老人ホームの特性を踏まえた改修手法等の把握ができた。
	旧しみずがおか高齢者 在宅サービスセンター に係る取組	「24 教育センター」へ記載

<b>30 ふれあい会館</b>		担当課 地域福祉推進課	
しゅん工年度	昭和50(1975)年度	延床面積	1,978㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議室の稼働率向上及び歳入の増加に向けて、方策を再考する必要がある。</li> <li>建築後47年が経過し、今後、施設の更新を検討していくに当たり、周辺公共施設を踏まえた施設機能の見直しが必要。</li> </ul>		
今後の方向性	施設の更新時期を見据え、必要な機能の整理を行うほか、周辺施設との複合化等の可能性を検討していく。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆会議室の稼働率の向上及び歳入の増加を目指した改善策を検討・実施する。</li> <li>◆府中駅周辺の老朽化が課題となる公共施設について、効率的な施設の更新や資産の有効活用について一体的に検討する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議室の稼働率向上及び歳入の増加を目指した方策の検討</li> <li>(モデル事業5)</li> <li>○対象施設に関する諸条件の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組の実施及び評価</li> <li>(モデル事業5)</li> <li>○対象施設ごとの最適な取組について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価に基づく修正及び新たな取組の検討</li> <li>(モデル事業5)</li> <li>●対象施設の効率的な更新と活用に関する方針の決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検討に基づく取組の実施</li> <li>(モデル事業5)</li> <li>○方針に基づく取組の実施</li> </ul>
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆会議室の稼働率の向上及び歳入の増加</li> <li>◆モデル事業5による効率的な更新に向けた取組</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組	実績 会議室の稼働率の向上及び歳入の増加を目指した方策の検討・実施	令和5年2月末に空調設備の改修工事が完了し、3月中旬から会議室の貸出を再開した。指定管理期間満了に伴い、次期指定管理者の選定を行った。	令和4年度までの指定管理者と令和10年度まで契約を結び、会議室の稼働率向上のため、貸出備品類を充実させた。	令和5年8月から令和6年1月まで外壁改修工事を実施した。会議室の稼働率はほぼ横ばいだったが、使用料の高い会議室利用が多かったため、使用料収入は上半期比で12%増加した。	会議室の稼働率向上に向けて、指定管理者と協議を行った。また、利用者アンケートを実施し、利用者からの意見やニーズの把握に努めた。利用に際して概ね満足しているという意見が多かったが、一部駐車場や駐車場のスペースの少なさを指摘する意見もあり、会議室の稼働率向上に向け、多面的に検討する必要がある。	会議室の稼働率向上に向けて指定管理者と協議を行った。上半期と比較すると会議室全体の稼働率は、横ばいだった。(稼働率約54%)	会議室の稼働率向上に向けて指定管理者と協議を行った。また、モニタリング調査(7月実施)の際に利用者アンケートの結果を共有し、会議室の利用手続等においておおよそ満足な結果が得られていることを確認した。	会議室の稼働率向上に向けて指定管理者と協議を行った。上半期と比較すると会議室全体の稼働率は、横ばいだった。(稼働率約55%)
	予定	引き続き、稼働率の向上に向けた方策を検討・実施する。令和4年度末に指定管理期間が満了するため、次期指定管理者と稼働率の向上に向けた協議を行う。	次期指定管理者と稼働率の向上に向けた協議を行う。	会議室の稼働率向上に向けた現指定管理者と協議を行い、取組について評価する。なお、令和5年8月から令和6年1月まで会議室の貸出制限は行わず、外壁改修工事をを行う。	会議室の稼働率向上に向けて引き続き指定管理者と協議を行う。また、利用者アンケートの実施をするように指定管理者へ促し、ニーズの把握を行う。	会議室の稼働率向上に向けて、指定管理者と引き続き協議を行う。	会議室の稼働率向上に向けて、指定管理者と引き続き協議を行う。また、モニタリング調査(7月実施予定)を通じて、利用者のニーズ把握に努める。	アンケートの結果から、会議室の利用について利用者からおおむね高評価を得ていることがわかったため、現状維持を目指す。また、会議室のさらなる稼働率向上に向けて、指定管理者と引き続き協議を行う。
項目	実績 モデル事業5に関する当該施設の取組	関係課との打合せを通して、ふれあい会館の諸機能を洗い出した。	関係課との打合せを通して、ふれあい会館の諸機能を洗い出した。	関係課とふれあい会館の最適な更新手法について検討した。	関係課とふれあい会館の最適な更新手法についての方向性を検討した。	策定予定の基本方針に基づき、改築後の中央文化センター機能について検討を進めた。	「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」の策定及び公表を行った。	複合施設の整備等に係る庁内の検討委員会において、基本方針に基づき機能等の整理を進めた。
	予定	引き続き、関係課との打合せを通して、ふれあい会館の諸機能を洗い出す。	ふれあい会館の最適な更新手法について検討する。	引き続き、ふれあい会館の最適な更新手法について関係課と検討する。	今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、今後策定予定の基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	会議室の稼働率の向上及び歳入の増加を目指した方策の検討・実施	工事等で会議室利用に一時制限をかけた時期もあったが、稼働率向上に向けて指定管理者と協議し、また、モニタリング及びアンケート調査を通して、利用者のニーズを把握することができた。その結果、会議室全体とまではいかないが、一部会議室で稼働率が向上した。
	モデル事業5に関する当該施設の取組	ふれあい会館の状況を整理するとともに、最適な更新手法について方向性を検討し、令和6年10月に「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」を策定した。また、基本方針に基づき、ふれあい会館の複合化を予定している中央文化センター等複合施設整備基本計画の策定に向け、複合施設に必要な機能の整理等を進めた。

3   介護予防推進センター			担当課 高齢者支援課
しゅん工年度	平成17(2005)年度	延床面積	1,838㎡ (建物全体3,507㎡)
課題	いきいきハウス廃止後のスペースの活用に向けた取組を進める必要がある。		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者数の増加及び歳出の削減に向けた方策を検討していく。</li> <li>施設の更新時期を見据え、必要な機能を整理し、施設規模の見直しを行う。</li> </ul>		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	スケジュール			
	R4	R5	R6	R7
◆いきいきハウス廃止後のスペースを、介護予防事業の展開から高齢者の通いの場等へ活用するための取組を進める。 ◆既存の貸館機能の利用者数や収入の増加に向けた方策を検討・実施する。				
○拡充スペースの活用に向けた取組の実施	▽継続	▽継続	▽継続	▽継続
○利用者数の増加や歳出の削減に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施	
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者の通いの場等の拡充による市民サービスの向上</li> <li>◆利用者数の増加や歳出の削減</li> <li>◆介護予防事業の運営手法の検討による施設機能の最適化</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	拡充スペースの活用に向けた取組の検討・実施	実績 拡充したスペースで活動する高齢者の自主グループの立ち上げ支援を実施した。	実績 拡充したスペースで活動する高齢者の自主グループの立ち上げ支援を継続して実施した。	実績 拡充したスペースで活動する高齢者の自主グループの立ち上げ支援を継続して実施した。また、自主グループが活動しやすい環境調整の打合せを実施した。	実績 拡充したスペースで活動する高齢者の自主グループの立ち上げ支援を継続して実施した。また、自主グループの物品を保管するためのルールを作成して、活動しやすい環境調整を実施した。	実績 拡充したスペースで活動する高齢者の自主グループの立ち上げ支援を継続して実施した。活動の状況を把握するため各グループとの話し合いを実施した。	実績 拡充したスペースで活動する高齢者の自主グループの立ち上げ支援を継続して実施した。活動しやすい環境整備のためグループ間の調整を実施した。	実績 拡充したスペースで活動する高齢者の自主グループの立ち上げ支援を継続して実施した。活動しやすい環境整備に着手した。
	予定	引き続き、自主グループが主体的に活動できるように支援を継続する。	引き続き、自主グループが主体的に活動できるように支援を継続する。	引き続き、自主グループが主体的に活動できるように支援を継続する。また、自主グループが活動しやすい環境調整を行う。	引き続き、自主グループが主体的に活動できるように支援を継続する。また、環境調整を具体的に実施する。	引き続き、自主グループが主体的に活動できるように支援を継続する。新たに整備したルールでの活動に問題点がないか確認する。	引き続き、自主グループが主体的に活動できるように支援を継続する。	引き続き、自主グループが主体的に活動できるように支援を継続する。
取組項目	利用者数の増加や歳出の削減に向けた方策の検討・実施	実績 YouTube配信、Zoomによる講座開催を実施し、来館せずとも講座に参加できる仕組みを構築した。	実績 感染症対策を講じながら、対面での講座にも安心して参加できる環境整備に努めた。また、YouTube配信も継続している。	実績 利用者の希望把握に努めて、ニーズの高い事業に力を入れ利用者数の増を目指している。また、デジタル関係のニーズも高まっているため、YouTube配信も継続している。	実績 利用者のニーズに沿った事業展開を図るため新たな教室として初期の認知症の方を対象にした教室を実施した。	実績 利用者のニーズに沿った事業展開を図るため、年代別の教室を展開した。	実績 空調工事により休館のため、12~2月は各文化センターで事業を実施した。利用者に分かりやすく案内を実施できた。	実績 利用者のニーズに合った事業展開を図り、フレイル(身体的・心理的・社会的な衰え)を予防するために必要な要素をまとめて学べる教室などを実施した。
	予定	引き続き、対面とオンラインのハイブリットで参加できる仕組みを継続する。	引き続き、対面とオンラインのハイブリットで参加できる仕組みを継続する。	利用者のニーズに沿った事業展開を実施し、希望が少ないものは減らすなど工夫する。また、それらの取組について評価する。	新しい教室や講座の参加者数や状況について分析し今後の実施につなげる。	年度の後半に空調工事休館となるため、休館中の別会場での開催の案内等を実施する。	年代別の教室を展開し、好評であったため、その効果を踏まえ、今後の教室等の実施につなげる。	新しい教室及び講座の参加状況等を分析し、今後の事業展開につなげる。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	項目 拡充スペースの活用に向けた取組の検討・実施	拡充スペースの利用機会を拡大するため、自主グループの立ち上げ支援や継続的な活動支援を行い、その結果、多くの高齢者によって拡充スペースが有効的に活用された。
	項目 利用者数の増加や歳出の削減に向けた方策の検討・実施	コロナ禍後における生活上のニーズを捉え、スマホ教室や初期の認知症の方の支援などに関する様々な教室及び講座を展開することで利用者数が増加した。また、オンラインによる動画配信等により、効率的な事業実施につなげた。

32 心身障害者福祉センター「きずな」			担当課 障害者福祉課
しゅん工年度	昭和57(1982)年度	延床面積	3,605㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後40年が経過し、施設の老朽化が課題となっている。今後、施設の建て替え等を検討する中で、利用状況や一部機能が移転することを踏まえて必要な機能を整理し、適正な施設規模について検討する必要がある。</li> <li>・ 一部機能の移転に伴い生じる空きスペースについて、活用を検討する必要がある。</li> <li>・ 建て替えまで計画的に施設の維持管理を行う必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の建て替え時期に合わせて、必要な機能を整理し、施設の適正な規模について検討を行う。</li> <li>・ 建て替えを行うまで、施設の適正な維持管理を行う。</li> </ul>		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設の老朽化対策に建て替えが必要なほか、児童発達支援センター(仮称)が整備されることを踏まえ、施設の適正な規模について整理する。</li> <li>◆機能の一部移転に伴い生じる空きスペースの有効な活用について検討する。</li> <li>◆機能の整理や効果的な手法について検討するほか、計画的な維持管理を行う。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○一部機能の移転に伴い生じる空きスペースの有効活用及び適正な施設規模の検討	○検討に基づく方向性の決定	○決定に基づく取組の実施	▽継続
	○児童発達支援センター(仮称)の整備に伴う一部機能の整理	▽継続	-	-
	○施設の効率的な運営の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆効果的な事業の実施</li> <li>◆効率的な施設運営</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	一部機能の移転に伴い生じる空きスペースの有効活用及び適正な施設規模の検討・方向性の決定	実績 空きスペースの活用方針について、センター内の在り方検討会での提案を踏まえた検討を行った。	センター内在り方検討会より、地域交流等のために開放可能なスペースとするため、仕切り可能な大きな一部屋として整備することを検討した。	施設の老朽化に伴い、今後の施設のあり方を検討する必要があることから、既存設備を活かしたスペースの活用について検討した。	既存設備を活かしたスペースについて、施設利用者の活動の場として優先するとともに障害当事者と地域の人達の交流の場として当面の間、活用していくことを運営委員会で決定した。	改修を伴わない生活介護の場としての利用を開始したこと、他、地域福祉活動や施設利用者の活動の場等として限定的に使用するため、子ども用トイレやパーテーション等の修繕工事の可否について検討した。	現状として改修を伴わない利用を続けている。社会福祉協議会からは修繕して使用したいとの話が出たが、修繕するのであれば、他に優先するべきところもあるため、現状の利用を継続していく。	社会福祉協議会からの提案を受け、生活介護の場としての利用の他、関係団体や施設利用者の活動の場等として貸出を継続した。	社会福祉協議会からの提案を受け、生活介護の場としての利用の他、関係団体や施設利用者の活動の場等として貸出を継続した。
	予定	令和4年度末までに一定の方向性をまとめる。	令和6年度に実施設計を行うため、令和5年度中に具体的な方向性をまとめる。	必要な機能等をまとめ、関係課と調整する。	活用方法の決定に伴い、準備が整い次第、運用を開始する。	子ども用トイレやパーテーション等の修繕工事の実施に向けて、必要な修繕の内容を整理していく。	社会福祉協議会からの提案を受け、有効活用方法等を検討していく。	今後の有効な活用方法について検討していく。	今後の有効な活用方法を検討した結果、各事業の運営状況を踏まえ、当面は現状の活用方法を継続していく。
取組項目	児童発達支援センター(仮称)の整備に伴う一部機能の整理	実績 一部機能の移転に向けて準備を進めた。	一部機能の移転に向けて準備を進めた。	一部機能の移転に向けて準備を進めた。	一部機能の移転に向けて準備を進め、令和5年度をもって、移転が完了した。	-	-	-	-
	予定	引き続き、一部機能の移転に向けて準備を進める。	引き続き、一部機能の移転に向けて準備を進める。	引き続き、一部機能の移転に向けて準備を進める。	-	-	-	-	-
取組項目	施設の効率的な運営の検討・実施	実績 運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効果的な運営を検討した。	運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効果的な運営を検討した。	運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効果的な運営を検討した。	運営委員会において一部機能移転に伴い生じる空きスペースの有効活用を検討し、地域共生社会実現に向けて生活訓練や地域開放など多目的に使用していくことを決定した。	運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効果的な運営のために、利用者に来館してもらいサービスを提供するだけでなく、利用者宅等に訪問するサービスを拡大させていくことを検討した。	運営委員会において、一定の条件のある利用者を対象にドアtoドアによる送迎を行うことを検討した。	一部ドアtoドアによる送迎や災害時の避難訓練を実施し、施設の効果的な運営に努めた。	一部ドアtoドアによる送迎を継続的に実施したほか、受変電設備の交換工事に向けた調整及び計画的な修繕を実施した。
	予定	引き続き、計画的な施設維持管理について検討をする。	引き続き、計画的な施設維持管理について検討をする。	引き続き、計画的な施設維持管理について検討・評価をする。	計画的な施設維持管理について新たな取組を検討する。	引き続き、計画的な施設維持管理について検討・評価をする。	保護者の高齢化により、バス停まで行くことが困難である利用者の自宅まで送迎を行っていく。	計画的な施設維持管理に努めるとともに、課題を認識し改善策を検討する。	次期指定管理期間における中期計画を策定し、施設の移転も視野に入れた計画的かつ必要最小限の施設維持管理を実施していく。
取組項目	その他の取組等	実績 -	-	子ども発達支援センターへの一部機能移転により本施設に面積削減効果が生じるが、削減分については本施設の更新時に反映させることとした。	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	一部機能の移転に伴い生じる空きスペースの有効活用及び適正な施設規模の検討・方向性の決定	一部機能移転で生じる空きスペースについて、センター内在り方検討会・運営委員会で検討を進め、既存設備を活かしつつ、利用者活動を優先し、障害当事者と地域の人の交流の場として当面活用する方向で決定した。
	児童発達支援センター（仮称）の整備に伴う一部機能の整理	児童発達支援センター（仮称）整備を見据え、令和4～5年度を中心に一部機能の移転準備を進め、計画通り令和5年度をもって移転が完了した。
	施設の効率的な運営の検討・実施	運営委員会で「より効果的な運営」を継続的に検討し、来館型に加えて訪問型サービスの拡大、ドアtoドア送迎の一部実施、避難訓練の実施、設備更新（受変電設備交換）に向けた調整や計画修繕など、運営の効率化と計画的な施設維持管理を実施した。

33 保健センター		担当課 健康推進課	
しゅん工年度	昭和52(1977)年度	延床面積	3,679㎡
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進室の利用者数増加に向けた方策を検討する必要がある。</li> <li>建築後45年が経過し施設の老朽化が進行している中、建て替え等を検討するに当たって必要な機能を整理し、適正な施設規模について検討する必要がある。</li> <li>建て替え等を見据え、計画的に施設の維持管理を行う必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	施設の更新時期を見据え、必要な機能の整理を行うほか、周辺施設との複合化等の可能性を検討していく。		

第3次推進プランの取組(令和4年度～令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進室について、利用者数増加に向けた活用方策を検討する。</li> <li>効率的な施設の更新や資産の有効活用について、府中駅周辺の公共施設と一体的に検討する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○健康増進室の利用者数増加に向けた方策の検討・実施 (モデル事業5) ○対象施設に関する諸条件の整理	▽継続 (モデル事業5) ○対象施設ごとの最適な取組について検討	▽継続 (モデル事業5) <b>●対象施設の効率的な更新と活用に関する方針の決定</b>	▽継続 (モデル事業5) ○方針に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な施設機能や規模の維持</li> <li>利用者数の増加</li> <li>モデル事業5の取組により生じた資産の活用による、新たな取組や収益の確保</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	健康増進室の利用者数増加に向けた方策の検討・実施	実績	プログラム及び時間帯の見直しを行うことで、平均利用人数が、令和3年度の14,71人から今期は、15,42人に増加した。	2月末での平均利用人数は、前期に比べて14,82人と多少減少したが、冬季は毎年減少する傾向がある。	新しい器具を取り入れたプログラム内容に変更を行った。また、広報誌を活用し、利用の促進に繋がられた。	2月末時点において利用人数は、前年度を上回る見込みとなり、徐々にコロナ禍前に戻りつつあるが、依然として減少傾向にある。	4月に全戸配布する健康応援ガイドを活用し、新規会員も増え利用の促進に繋がられた。 利用者への聞き取りなどにより、人気のプログラム内容を増やすなど、器具を使った運動プログラムが3週間以上重ならないように、プログラム内容を変更しながら実施した。	プログラム内容の見直しを行うことで、2月末での平均利用人数が、前年度の14,15人から今年度は、15,23人に増加し、利用人数は、前年度を上回る見込みとなり、新規利用者も増加傾向にある。	4月に全戸配布する健康応援ガイドを活用し、周知を行った。 より利用者のニーズや属性に沿った内容になるよう、プログラムの変更を行った。	プログラム内容の見直しを行うことで、2月末での1日当たりの平均利用人数は、16,00人と前年度より増加し、利用人数も前年度を上回る見込みとなっている。
		予定	引き続き、プログラム及び時間帯の見直しを行う。	引き続き、プログラム及び時間帯の見直しを行う。	引き続き、プログラム及び時間帯の見直しを行う。	継続して利用しやすいようプログラム内容の見直しを定期的に行い、利用しやすい日時の開室に努めていく。	継続して利用しやすいようプログラム内容の見直しに努めていく。	引き続き、プログラム内容の見直しを行う。	継続して利用しやすいようプログラム内容の見直しに努めていく。	引き続き、プログラム内容の見直しを行う。
	モデル事業5に関する当該施設の取組	実績	関係課との打合せを通して、保健センターの諸機能を洗い出した。	防災危機管理課及び建築施設課と災害時の保健センターの役割について再検討した。	関係課と保健センターの諸機能について利用状況等の分析を行った。	関係課と保健センターの最適な更新手法についての方向性を検討した。	策定予定の基本方針に基づき、改築後の中央文化センター機能について検討を進めた。	「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」の策定及び公表を行った。	複合施設の整備等に係る庁内の検討委員会において、基本方針に基づき機能等の整理を進めた。	複合施設の整備等に係る庁内の検討委員会において、基本方針に基づき機能等の整理を進めた。
		予定	関係課との打合せを通して、保健センターの諸機能を洗い出す。	保健センターの最適な更新手法について検討する。	引き続き、保健センターの最適な更新手法について関係課と検討する。	今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、今後策定予定の基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。
	その他の取組等	実績	健康増進室の利用者の少ない時間帯について検討した。	健康増進室の利用者の少ない時間帯について検討した。また、災害時のための発電機設備の設置を行った。	利用者の少ない時間帯を週3日の開室に変更した。災害時のための自家発電機設備の設置を行った。	年度途中でプログラム内容の見直しを行い、利用の促進を行った。施設修繕については、建替を見据え、必要な部分に限定し行った。	建て替えを見据え、保健センターで実施しているがん検診事業について、関係機関と調整を行った。	保健センターで実施しているがん検診事業について、一部見直しを行った。	建て替えを見据え、保健センターで実施している一部のがん検診事業について、バス集団検診から個別検診へ移行した。	建て替えを見据え、保健センターで実施している一部のがん検診事業について、バス集団検診から個別検診へ移行した。
		予定	健康増進室の利用者の少ない時間帯(16時～18時30分)を減らし、利用率の高い時間帯を増やす。	次年度より利用者の少ない時間帯(16時～18時30分)を週3日の開室とする。	利用者状況を見ながら、来年度の開室時間帯等を検討していく。	新たな器具を取り入れられたり、プログラム内容を工夫しながら、利用しやすい環境を整えていく。また、広報紙を活用し、利用の促進に努める。	次年度に向けて、保健センターで実施している各事業は、建て替えを見据えた見直しを行っていく。	その他保健センターで実施している各事業の見直しを検討していく。	引き続き、保健センターで実施している各事業について、建て替えを見据えた見直しを行っていく。	引き続き、保健センターで実施している各事業について、建て替えを見据えた見直しを行っていく。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	健康増進室の利用者増加に向けた方策の検討・実施	健康応援ガイドを活用した周知や、プログラム内容の見直しを定期的に行うことで、利用者数増加につなげることができた。
	モデル事業5に関する当該施設の取組	保健センターの状況を整理するとともに、最適な更新手法について方向性を検討し、令和6年10月に「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」を策定した。また、基本方針に基づき、保健センターの複合化を予定している中央文化センター等複合施設整備基本計画の策定に向け、複合施設に必要な機能の整理等を進めた。
	その他の取組等	建て替えを見据え、保健センターで実施しているがん検診事業の一部見直しを行うなど、必要な機能の整理について検討を進めることができた。

### 3 4 市営住宅

担当課 住宅課

施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度
1 第一武蔵台住宅	武蔵台1丁目5番地	地上5階	3,861㎡	平成 9 (1997) 年度
2 第二矢崎町住宅	矢崎町2丁目16番地	地上5階	4,449㎡	平成 2 (1990) 年度
3 第三本町住宅	本町4丁目7番地	地上5階	3,664㎡	平成 5 (1993) 年度
4 第四栄町住宅	栄町3丁目13番地	地上5階	4,080㎡	平成 6 (1994) 年度
5 第五是政住宅	是政5丁目15番地	地上3階	2,641㎡	平成 7 (1995) 年度
6 第六若松町住宅	若松町4丁目35番地	地上3階	1,638㎡	平成17 (2005) 年度
7 第七西府町住宅	西府町3丁目10番地	地上3階	1,984㎡	平成24 (2012) 年度
8 第八新町住宅	新町2丁目44番地	地上4階	2,353㎡	平成10 (1998) 年度
9 第九新町住宅	新町2丁目44番地	地上4階	1,489㎡	平成11 (1999) 年度
10 第十南町住宅	南町3丁目30番地	地上3階	2,355㎡	平成 8 (1996) 年度
11 第十一美好町住宅	美好町2丁目51番地	地上5階	2,871㎡	平成20 (2008) 年度
12 第十二北山町住宅	北山町3丁目17番地	地上3階	2,682㎡	平成22 (2010) 年度
13 第十三四谷住宅	四谷3丁目43番地	地上5階	3,157㎡	平成14 (2002) 年度
14 第十四分梅町住宅	分梅町5丁目23番地	地上4階	1,112㎡	昭和44 (1969) 年度
15 第十五四谷住宅	四谷3丁目43番地	地上5階	934㎡	昭和45 (1970) 年度
16 第十六小柳町住宅	小柳町4丁目17番地	地上4階	1,099㎡	昭和46 (1971) 年度
17 第十七小柳町住宅	小柳町4丁目17番地	地上4階	1,099㎡	昭和47 (1972) 年度
18 第十八小柳町住宅	小柳町4丁目17番地	地上4階	1,204㎡	昭和48 (1973) 年度
19 第十九分梅町住宅	分梅町5丁目27番地	地上3階	1,216㎡	昭和49 (1974) 年度
20 第二十是政住宅	是政3丁目15番地	地上3階	1,020㎡	平成 元 (1989) 年度

#### 課題

- ・更新時期を迎える市営住宅については、建て替え・廃止の方向性を検討する必要がある。
- ・令和元年度に改定した府中市営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・施設の効率的な維持管理手法の導入に向けて、必要な体制を構築していく必要がある。

#### 今後の方向性

- ・第4次府中市住宅マスタープランに基づき、更新時期を迎える市営住宅については、今後の在り方を検討していく。
- ・施設の効率的な維持管理手法の導入に向けて、必要な体制を構築していく。

### 第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）

取組内容	◆第4次府中市住宅マスタープランに基づき、更新時期を迎える市営住宅について、建て替え・廃止に向けた計画を策定する。 ◆府中市営住宅等長寿命化計画に基づき、施設更新費用の縮減を図る。 ◆管理代行制度の導入など、効率的な施設の維持管理に必要な体制を整備するとともに、効果の検証を行い、より効率的な維持管理体制を検討する。			
	R 4	R 5	R 6	R 7
スケジュール	○更新時期を迎える市営住宅の建て替え・廃止の方向性の検討	○更新時期を迎える市営住宅の建て替え・廃止の方向性の決定	●更新時期を迎える市営住宅の建て替え・廃止の計画の策定 (R9まで継続)	○計画に基づく取組の実施 (次年度以降へ)
	○府中市営住宅等長寿命化計画に基づく取組の実施	▽継続	▽継続	▽継続
	○効率的な施設の維持管理に必要な体制整備の検討	●効率的な施設の維持管理に必要な体制整備の方向性の決定	○方向性に基づく取組の実施	○取組の実施による効果の検証及び取組への反映
期待する主な効果	◆適正な規模での施設維持 ◆効率的かつ効果的な施設の維持管理の実現			

※次頁に続く

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	第4次府中市住宅マスタープランに基づき、更新時期を迎える市営住宅について、建て替え・廃止に向けた計画の策定	実績 他市の建替・除却などの状況を確認しつつ、本市の住宅確保に配慮を要する方のための市営住宅の必要戸数の検討を行った。	建替・除却に関する基本方針案の策定に向けて、他市の建替・除却などの状況などの必要な情報の収集を行った。	建替・除却に関する基本方針案の策定に向けて、前年度から引き続き必要な情報の収集を行った。	建替・除却に関する基本方針案の策定では、最新の状況が反映されるよう令和5年度実施の住宅・土地統計調査等の結果に基づいた検討が必要なことから結果公表後の策定スケジュールを見直した。	建替・除却に関する基本方針案の策定に向け、見直した策定スケジュールをもとに、引き続き検討に必要な情報の収集を行った。	建替・除却に関する基本方針案の策定に向け、情報の整理を行うとともに、引き続き情報収集を行った。	建替・除却の事業手法を決定するため、令和8年度から「府中市営住宅等長寿命化計画改定事業」を実施すべく、関係課と協議した。	建替・除却の事業手法を決定するため、令和8年度から「府中市営住宅等長寿命化計画改定事業」を実施すべく、準備を進めた。
	予定	引き続き他市の建替・除却などの状況を確認しつつ、本市の将来的な市営住宅の必要戸数に基づいた方針案の検討を行う。	引き続き、本市の将来的な市営住宅の必要戸数に基づき、民間の賃貸住宅の活用などの状況も踏まえ、方針案の検討を行う。	引き続き、本市の将来的な市営住宅の必要戸数に基づき、民間の賃貸住宅の活用などの状況も踏まえ、方針案の作成を行う。	今後、公表される住宅・土地統計調査等の結果により、本市の将来的な市営住宅の必要戸数に基づき、民間の賃貸住宅の活用などの状況も踏まえ、令和9年度までに基本方針をまとめる方向で調査検討を進める。	今後、公表される住宅・土地統計調査等の結果により、本市の将来的な市営住宅の必要戸数に基づき、民間の賃貸住宅の活用などの状況も踏まえ、検討を進める。	民間の賃貸住宅の活用などの状況も踏まえ、今後、公表される住宅・土地統計調査等の結果により、本市の将来的な市営住宅の必要戸数を算出し、検討を進める。	改定事業の実施に向けて、業者との調整や、内部資料の整理を進めていく。	令和8年度上半期に業者を選定することを予定しており、計画策定を順次進めていく。
取組項目	府中市営住宅等長寿命化計画に基づく取組の実施	実績 前年度から工事件数が増加しているが、予定の工事について計画的に実施した。	今年度実施予定の工事について計画的に実施した。	今年度実施予定の工事について計画的に実施した。	今年度実施予定の工事について計画的に実施した。	今年度実施予定の工事について計画的に実施した。	今年度実施予定の工事について計画的に実施した。	今年度実施予定の工事について計画的に実施した。	今年度実施予定の工事について計画的に実施した。
	予定	下半期実施予定の改修工事について、適切なスケジュール管理と調整により、引き続き計画的に実施する。	引き続き、適切なスケジュール管理と調整により、長寿命化のための修繕を計画的に実施する。	引き続き、適切なスケジュール管理と調整により、長寿命化のための修繕を計画的に実施する。	長寿命化計画において記載している令和11年までの計画に沿って長期的な視点で、適切なスケジュール管理と調整により、計画的に修繕を実施する。	引き続き、長寿命化計画において記載している長期的な修繕計画に沿って、計画的に修繕を実施する。	引き続き、長寿命化計画に基づき、適切なスケジュール管理と調整により、長寿命化のための修繕を計画的に実施する。	引き続き、長寿命化計画に基づき、工事を実施する。	引き続き、長寿命化計画に基づき、工事を実施する。
目	効率的な施設の維持管理に必要な体制整備の検討・方向性の決定	実績 効率的な施設の維持管理に必要な体制の整備に向けて、市営住宅修繕等包括業務委託の検討を行った。	効率的な施設の維持管理に必要な体制の整備に向けて、空き室の解消を目的とした修繕に係る予算の確保を行った。	効率的な施設の維持管理に必要な体制の整備に向けて検討を進めた。	市営住宅修繕等包括業務委託を検討してきたが、資材や人件費の高騰が続く中では、費用対効果の検証が難しい状況ではあるが、子育て施設で試行実施している包括管理業務委託の委託状況を確認するなど、検討を進めた。	他市の動向なども確認しながら市営住宅修繕等包括業務委託をはじめ、効果的な施設の維持管理に向けた検討を進めた。	資材や人件費の高騰が続く中でも、他市との情報交換での取組を参考としながら、効果的な施設の維持管理に向けた検討を進めた。	令和8年度から実施する「府中市営住宅等長寿命化計画改定事業」に向けて、準備を進めた。	効率的な施設の維持管理に必要な体制整備について、令和8年度から「府中市営住宅等長寿命化計画改定事業」を実施すべく、類似業務を有する事業者とヒアリングを実施した。
	予定	近年の資材や人件費の高騰を踏まえ、体制整備と費用対効果について、引き続き検討を行う。	資材や委託人件費の高騰が続いており、効率的な施設の維持管理に必要な体制の整備に向けて、引き続き検討を行う。	資材や人件費の高騰が続いている中、費用対効果などの観点から効率的な施設の維持管理に向けて、引き続き検討を進める。	子育て施設で試行実施している包括管理業務委託の情報整理を行い、令和9年からの本格導入に向けた調整を行う。	包括管理業務委託をはじめとする効果的な施設の維持管理に関する情報整理を行い、引き続き令和9年からの本格導入に向けた調整を行う。	包括管理業務委託をはじめとする効果的な施設の維持管理について、令和9年からの本格導入に向けた検討を進める。	改定事業の実施に向けて、業者との調整や、内部資料の整理を進めていく。	令和8年度上半期に業者を選定することを予定しており、効率的な管理体制についても検討していく。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		D. 当初の予定を変更し、方針決定や計画策定を次期プランに引き継いだ。
取組の成果	項目 第4次府中市住宅マスタープランに基づき、更新時期を迎える市営住宅について、建て替え・廃止に向けた計画の策定	当初の予定では、令和6年度に建て替え・廃止の計画を策定することとしていたが、コロナ禍の影響などを踏まえた令和5年度住宅・土地統計調査の結果を計画に反映すべきという考えから、令和8年度に実施する「府中市営住宅等長寿命化計画策定業務委託」の中で検討していくものとした。
	府中市営住宅等長寿命化計画に基づく取組の実施	長寿命化計画に基づく工事を基本としつつ、劣化状況調査や各種点検・検査の結果から適宜変更し、必要な工事を計画的に実施した。
	効率的な施設の維持管理に必要な体制整備の検討・方向性の決定	資材費や人件費の高騰が続いている中、費用対効果などの観点から市営住宅修繕等包括業務委託の実施が困難となったため、令和8年度開始の「府中市営住宅等長寿命化計画策定業務委託」の中で引き続き検討することとした。また、空き駐車場の増加を受け、時間貸し駐車場やカーシェア車両の導入を進め、居住者の利便性向上と歳入確保を図り、修繕費等の財源として活用することを検討した。

35 市民保養所「やちほ」		担当課 産業振興課	
しゅん工年度	昭和60(1985)年度	延床面積	3,077㎡
課題	施設を保有しないことに伴い、施設の在り方等、姉妹都市と協議する必要がある。		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に策定した基本方針に基づく取組を進めていく。</li> <li>施設の在り方等について、姉妹都市と協議を行う。</li> </ul>		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆令和2年度に策定した宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき、施設廃止後の施設の在り方等を検討し、検討結果に基づく取組を実施する。			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	●廃止後の施設の在り方等に係る佐久穂町との協議及び決定	○施設の廃止及び協議に基づく取組の実施	▽継続	-
期待する主な効果	◆施設廃止による更新費用の削減			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	◎：完了(目標を達成)			
取組項目	実績 施設廃止後の施設の在り方等の検討及び結果に基づく取組の実施	宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき、施設譲渡や処分等についてサウンディングを実施。関係課との調整や佐久穂町との検討を行った。	宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき検討を進めた結果、施設を譲渡することとし、関係課との調整や佐久穂町との検討を行った。	宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき施設を譲渡することとし、プロポーザルによる譲渡先事業者の選定及び譲渡先事業者を決定した。	宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき施設を譲渡することとし、譲渡先事業者と譲渡契約を締結した。	譲渡契約書に基づき、令和6年4月1日に譲渡先業者に引き渡した。	-	-
	予定	引き続き、宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき、施設譲渡や処分等について検討を進める。	引き続き、施設譲渡に向けた手続を進める。	引き続き、譲渡先事業者と施設譲渡に向けた手続を進める。	引き続き、譲渡先事業者と令和6年4月1日施設譲渡に向けた手続を進める。	-	-	-
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		A. 取組完了に伴い進行管理を終了した。
取組の成果	<p>項目 施設廃止後の施設の在り方等の検討及び結果に基づく取組の実施</p>	<p>当該施設の廃止決定に伴い、施設廃止後の建物の活用可能性等について検討を実施した。その結果、民間事業者への建物譲渡を進めることとし、公募により選定した民間事業者（株式会社フォレスト）と譲渡契約を締結した。このため、令和6年3月31日をもって施設の運営を終了した。</p>

36 八ヶ岳府中山荘		担当課 学校施設課	
しゅん工年度	昭和46(1971)年度	延床面積	4,501㎡
課題	施設の処分に向けては、本施設で実施していたセカンドスクール事業との調整が必要である。		
今後の方向性	令和2年度に策定した基本方針に基づく取組を進めていく。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆令和2年度に策定した宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき、セカンドスクール運営の転換に合わせて施設の処分を進める。			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○新たなセカンドスクールの運営状況を踏まえた上での処分の検討	▽継続	▽継続	▽継続
期待する主な効果	◆施設廃止による更新費用の削減			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	新たなセカンドスクールの運営状況を踏まえた上での処分の検討	<p>実績</p> <p>小学校4校で民間施設を活用した新たなセカンドスクールの試行実施を行った。</p> <p>小学校2校で民間施設を活用した新たなセカンドスクールの試行実施を行った。これまでの検討内容を踏まえ試行実施を行った結果、従前以上の効果が得られたことから、令和5年度より全校で民間施設を活用した新たなセカンドスクール事業を開始することとした。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>施設の処分を進めるにあたり、財産利活用の観点から、民間譲渡等の可能性の確認を行うために、サウンディング調査を実施した。併せて、山梨県へ処分を行う場合の条件等の確認を行った。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>譲渡に向けた取組を進めることとし、当該施設の不動産鑑定や、エンジニアリングレポートの作成を行った。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>公募型プロポーザル方式による譲渡先の募集を行ったところ、民間事業者等からの応募はなかったため、譲渡は断念し建物等を解体することとした。また、施設は9月下旬で廃止する手続を進めた。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>令和6年9月27日をもって施設を廃止し、同時に用途廃止した。その後、建物等の解体に係る実施設計、解体に伴うアスベスト及びPCB含有調査を実施した。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>令和8年度に解体工事及び備品等の処分を行うため、実施設計を行うとともに土地所有者である山梨県等の関係者と協議を進めた。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>令和8年度に解体工事及び備品等の処分を行うため、必要となる手続を進めた。</p>
	その他の取組等	<p>予定</p> <p>令和4年10月に小学校2校で民間施設を活用した新たなセカンドスクールの試行実施を行う。試行実施の結果等を踏まえ、全校実施に向けて検討を進める</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>全校で民間施設を活用した新たなセカンドスクール事業を開始することとなったため、宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき、施設譲渡や処分等について検討を進める。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>サウンディング調査の結果をもとに、公有財産審査会などを経て、処分のあり方を決定する。譲渡が適切と判断され、譲渡を希望する民間事業者がいる場合には、譲渡先をプロポーザル方式で決定する。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>施設の活用に民間事業者の参入可能性があるため、プロポーザル等の譲渡に向けた取組を進める。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>土地所有者である山梨県との協議及び建物等の解体に係る実施設計委託等、解体に向けて必要な手続を進める。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>引き続き建物等の解体に係る実施設計など、解体に向けて必要となる手続を進める。</p>	<p>○：計画通りに進んでいる</p> <p>引き続き、令和8年度に解体工事及び備品等の処分を行うために、実施設計を行うとともに関係者と必要な調整を行う。</p>
	実績	-	-	-	-	-	-	-
	予定	-	-	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	<p>項目</p> <p>新たなセカンドスクールの運営状況を踏まえた上での処分の検討</p>	<p>全校で民間施設を活用した新たなセカンドスクール事業を開始することとなったことに伴い、施設の処分について検討を行った。民間事業者への譲渡の可能性があったため、公募型プロポーザル方式による譲渡先の募集を行ったが、応募がなかったことから、譲渡は断念し解体処分を行うこととなった。令和6年9月に用途廃止を行い、解体にかかる実施設計や土地所有者である山梨県との協議を行ったうえ、解体に必要な手続を進めた。今後、令和8年度及び令和9年度において解体工事を実施し、原状回復後に土地を山梨県へ返還する予定。</p>

37 本庁舎		担当課 財産活用課 新庁舎建設推進室	
しゅん工年度	旧庁舎：昭和34（1959）年度 おもや：令和 5（2023）年度	延床面積	旧庁舎：20,971㎡ おもや：17,707㎡
課題	新庁舎建設までの間、施設を適正に維持管理していく必要がある。		
今後の方向性	新庁舎建設に向けた取組を進める。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	◆令和5年度の「おもや」の供用開始、令和8年度の「はなれ」の供用開始に向けて、新庁舎建設事業を進めていく。 ◆市役所機能を適切に維持しながら、新庁舎建設に向けた取組を進める。			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○「おもや」建設工事	○「おもや」供用開始	○「はなれ」建設工事	▽継続
	—	○既存庁舎解体工事	▽継続	—
期待する 主な効果	○「おもや」への移転 に向けた取組の実 施	○「おもや」への移転	○「はなれ」への移転 に向けた取組の実 施	▽継続
	◆施設の適切な維持管理及び利用者の安全性の確保 ◆機能の集約化による事務の効率化や利便性の確保 ◆災害時における拠点機能の確保			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	新庁舎建設に関する取組	実績	新庁舎「おもや」の引渡し遅れについて、施工者から申し入れがあり、移転時期についても遅らせる必要がある。なお、工程の精査中であるが、3か月程度の遅延が生じる見込みである。	「おもや」建設工事の工程を見直し、引き渡し時期を令和5年5月に変更している。なお、解体工事の工程等を調整したことにより、「はなれ」の竣工時期については変更は生じない予定である。	「おもや」について、変更後の計画通り令和5年5月に竣工し、庁舎管理担当課への引継ぎが完了した。	追加設計を開始し、拡張敷地部分の検討を進めるとともに、通り庭でのコミュニティガーデンやキッズスペースの設置についても検討を進めている。	追加設計の内容を決定し、積算を開始した。また、レストラン・売店のサウンディング調査を実施し、各事業者の意見を整理した。	「はなれ」建設工事着手するとともに、売店・カフェの事業者を選定した。また、追加設計が完了し、令和7年度の工事契約変更に向けて予算計上を行った。	売店・カフェの事業者と運営や内装工事等について協議し、本体工事との区分について整理した。また、障害者団体からの要望を受けて「おもや」に誘導ブロックを追加設置した。
		予定	引き続き、工程の精査を行い、おもや竣工時期を確定し、工事を進めていく。	「おもや」竣工後、庁舎管理担当課に対し、建物の管理方法等について適切に引継ぎを行う。	「はなれ」の建設に向けて、環境認証の取得や各諸室のレイアウトを検討し、拡張敷地を含む第二期工事に係る追加設計を実施する。	「はなれ」の建設に向けて、追加設計を進めるとともに、レストラン・売店のサウンディング調査を実施する。	「はなれ」建設工事着手するとともに、レストラン・売店の事業者を選定する。	引き続き「はなれ」建設工事を進めていく。また、売店・カフェの事業者と、運営や内装工事等の協議を実施する。	引き続き「はなれ」建設工事を進めていく。また、クラウドファンディングを通じて、新庁舎建設について広く市民に周知し機運醸成を図る。
	既存庁舎の解体に関する取組	実績	—	「おもや」の引き渡し時期の遅れに伴う全体工程への影響がないことの確認を行った。	旧庁舎の備品の処分が完了し、令和5年9月から解体工事に着手している。	埋蔵文化財発掘調査と並行し、旧庁舎の解体工事を遅滞なく進めている。	埋蔵文化財発掘調査と並行し、旧庁舎の解体工事を遅滞なく進めている。	令和6年11月に旧庁舎解体工事が完了した。	—
		予定	工程の精査を行い、新庁舎「はなれ」の竣工に影響が生じないかの確認を行う。	既存庁舎の解体工事に向けて、既存備品の処分等を遅滞なく進めていく。	埋蔵文化財発掘調査を行いながら、計画通り解体工事を実施する。	引き続き、埋蔵文化財発掘調査を行いながら、計画通り解体工事を進めていく。	令和6年11月に旧庁舎解体工事の完了を予定している。	—	—
	新庁舎への移転に向けた取組	実績	工事の遅れに伴い、移転についても3か月程度の遅延が生じる見込みであるため、移転業者との契約に向けて移転計画の見直しを行っている。	「おもや」建設工事の工程を見直したことにより、令和5年8月に供用開始を予定している。	計画通り備品の納入や移転業務を完了させ、8月14日から「おもや」での業務を開始した。	「おもや」への移転作業や執務環境について、令和5年11月に職員アンケートを実施し、改善を図っている。	「はなれ」移転に関連する部署について文書・物品量調査（第1回）を行うとともに、各課ヒアリングを実施し、レイアウトを修正した。	「はなれ」移転に関連する部署について文書・物品量調査（第2回）を行うとともに、各課ヒアリングを実施し、レイアウトを修正した。	「はなれ」移転に関連する部署について文書・物品量調査（第3回）を行うとともに、各課ヒアリングを実施し、レイアウトを修正した。このほか、移転事業者の選定のため、プロポーザル方式による募集を行った。
		予定	移転時期の検討を行うとともに、備品の納入や関連工事との調整を行っている。	令和5年8月の供用開始に向けて、備品の納入や関連工事等の調整を行いながら移転を完了させる。	「おもや」への移転が完了したことから移転作業や執務環境等に関するアンケートを実施する。	「はなれ」への移転に向けて文書・物品量について調査する。また、備品のレイアウトの修正に向けた各課ヒアリングを実施する。	「はなれ」への移転に向けて文書・物品量調査（第2回）を実施する。また、各課ヒアリングを再度実施し、レイアウトの確認等を行う。	「はなれ」への移転に向けて文書・物品量調査（第3回）を実施する。また、移転事業者の選定に向けて移転計画及び委託仕様書の作成を行う。	「はなれ」への移転に向けて文書・物品量調査（第4回）及び各課ヒアリングを実施し、備品やレイアウト等の確認を行う。また、プロポーザル方式による移転事業者の選定に向けて、各種準備を進めていく。

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
その他の取組等	実績 現庁舎について適切な施設管理を実施できた。	現庁舎について適切な施設管理を実施できた。	現庁舎について適切な施設管理を実施できた。	-	-	-	-	-
	予定 引き続き、現庁舎について適切な施設管理を実施する。	引き続き、現庁舎について施設管理を適切に実施する。	-	-	-	-	-	-

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	新庁舎建設に関する取組	新庁舎「おもや」については、引き渡し時期の遅れはあったものの令和5年5月に竣工し、庁舎管理担当に引き継ぐことができた。 新庁舎「はなれ」については追加設計を実施し、令和8年度の引き渡しに向けて予定通り工事を進めた。
	既存庁舎の解体に関する取組	新庁舎「おもや」の引き渡し時期の遅れによる解体工事の遅れはなく、計画通り令和6年11月に旧庁舎の解体工事を完了した。 また、埋蔵文化財発掘調査についても旧庁舎解体工事と並行して行った。
	新庁舎への移転に向けた取組	新庁舎「おもや」については、工期の変更に伴いスケジュールを見直し、備品の納入や移転を滞りなく進め、令和5年8月から「おもや」の供用を開始した。 新庁舎「はなれ」については、移転に向けて文書・物品量を調査し削減を図るとともに、各課ヒアリングを重ね、備品やレイアウトについて検討を行った。

38 府中駅北第2庁舎			担当課 財産活用課
しゅん工年度	平成 3 (1991) 年度	延床面積	6,711㎡ (建物全体9,362㎡)
課題	新庁舎整備後、事務室が移転した跡施設について、活用を検討する必要がある。		
今後の方向性	新庁舎整備後の府中駅北第2庁舎について、効果的な活用を検討していく。		

第3次推進プランの取組 (令和4年度～令和7年度)				
取組内容	◆新庁舎整備後の府中駅北第2庁舎の効果的な活用を検討する。 ◆府中駅周辺の老朽化が課題となる公共施設について、効果的な施設の更新や資産の有効活用について一体的に検討する。			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○新庁舎整備後の施設の効果的な活用の検討	▽継続	▽継続	●新庁舎整備後の施設の効果的な活用に関する方針の決定
	—	—	—	○施設の効果的な維持管理の手法についての検証
期待する主な効果	(モデル事業5) ○対象施設に関する諸条件の整理	(モデル事業5) ○対象施設ごとの最適な取組について検討	(モデル事業5) ●対象施設の効果的な更新と活用に関する方針の決定	(モデル事業5) ○方針に基づく取組の実施
	◆新庁舎整備後の跡施設の効果的な活用 ◆効果的な施設の維持管理 ◆モデル事業5の取組により生じた資産の活用による、新たな取組や収益の確保			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期				
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる				
取組項目	新庁舎整備後の施設の効果的な活用の検討・方針の決定	実績	事業手法及び活用方針の検討に向けてサウンディング型市場調査を実施した。	サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、事業手法の検討を行った。	再度サウンディング型市場調査を行い、事業手法の可能性を確認するとともに、モデル事業において基本的な情報を整理した。	関係課と府中駅北第2庁舎の最適な更新手法についての方向性を検討した。	今後策定予定の基本方針に基づき、関係課と府中駅北第2庁舎の最適な更新手法についての方向性を検討した。	今後策定予定の基本方針に基づき、関係課と府中駅北第2庁舎の最適な更新手法についての方向性を検討した。	策定した基本方針に基づき、モデル事業5の対象施設の仮移転先として活用することを決定した。	基本方針に基づき、庁内の検討委員会において、仮移転先の機能等の検討を進めた。	基本方針に基づき、庁内の検討委員会において、仮移転先の機能等の検討を進めた。	
		予定	サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、事業手法、活用方針の検討を行う。	再度サウンディング型市場調査を行い、モデル事業のなかでも検討を進めていく。	サウンディング型市場調査の結果を踏まえて事業手法を整理し、モデル事業における検討状況も踏まえ、方向性を整理していく。	今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	策定した対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、庁内の検討委員会において仮移転先の機能等の検討を進める。	引き続き、庁内の検討委員会において仮移転先の機能等の検討を進める。	
取組項目	施設の効果的な維持管理の手法についての検証	実績	現建物の情報整理を行うとともに、サウンディング型市場調査を行った。	サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、維持管理の手法の検討を行った。	再度サウンディング型市場調査を行い、事業手法の可能性について確認した。	再度行ったサウンディング型市場調査の結果を整理した。	再度行ったサウンディング型市場調査の結果を整理した。	再度行ったサウンディング型市場調査の結果を整理した。	今後策定予定の基本方針に基づき、関係課と府中駅北第2庁舎の最適な維持管理手法について検討した。	策定した基本方針に基づき、関係課と府中北第2庁舎の最適な維持管理手法について検討した。	基本方針に基づき、庁内の検討委員会において、最適な維持管理手法を検討した。	基本方針に基づき、庁内の検討委員会において、最適な維持管理手法を検討した。
		予定	サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、引き続き検討を行う。	再度サウンディング型市場調査を行い、モデル事業のなかでも検討を進めていく。	サウンディング型市場調査の結果やモデル事業において整理する活用方針を踏まえた維持管理方法を検討していく。	今後策定する方針の内容を踏まえた維持管理方法を検討していく。	引き続き、今後策定する方針の内容を踏まえた維持管理方法を検討していく。	引き続き、今後策定する方針の内容を踏まえた維持管理方法を検討していく。	策定した基本方針の内容を踏まえた維持管理方法を検討していく。	引き続き、基本方針の内容を踏まえた維持管理方法を検討していく。	引き続き、基本方針の内容を踏まえた維持管理方法を検討していく。	
取組項目	モデル事業5に関する当該施設の取組	実績	事業手法及び活用方針の検討に向けてサウンディング型市場調査を実施した。	サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、事業手法の検討を行った。	対象施設の状況を整理するとともに、検討協議会の意見を踏まえながら最適な取組について検討を行った。	関係課と府中駅北第2庁舎の最適な取組についての方向性を検討した。	関係課と府中駅北第2庁舎の最適な取組についての方向性を検討した。	関係課と府中駅北第2庁舎の最適な取組についての方向性を検討した。	策定予定の基本方針に基づき、改築後の中央文化センター機能について検討を進めた。	「府中駅周辺公共施設の効果的な更新と活用に係る基本方針」の策定及び公表を行った。	複合施設の整備等に係る庁内の検討委員会において、基本方針に基づき機能等の整理を進めた。	複合施設の整備等に係る庁内の検討委員会において、基本方針に基づき機能等の整理を進めた。
		予定	サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、事業手法、活用方針の検討を行う。	再度サウンディング型市場調査を行い、モデル事業のなかでも検討を進めていく。	検討協議会と対象施設の活用についてサウンディングを実施し、最適な取組について検討を行う。	今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、今後策定予定の対象施設に係る基本方針に基づき取組を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き、基本方針に基づき機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	
取組項目	その他の取組等	実績	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。	適切な施設管理を実施できた。
		予定	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。	引き続き、適切な施設管理を実施する。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	新庁舎整備後の施設の効果的な活用の検討・方針の決定	モデル事業の取組と併せて、サウンディング型市場調査を行い、効果的な活用方法について方向性を検討し、令和6年10月に「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」を策定した。また、基本方針に基づき、府中駅北第2庁舎を仮移転先とする中央文化センター等複合施設整備基本計画の策定に向け、仮移転先の機能の整理等を進めた。
	施設の効率的な維持管理の手法についての検証	モデル事業の取組と併せて、サウンディング型市場調査を行い、事業手法の可能性について確認した。また、令和6年10月に策定した「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」に基づき、最適な維持管理手法の検討を進めた。
	モデル事業5に関する当該施設の取組	サウンディング型市場調査を行い、最適な取組について方向性を検討し、令和6年10月に「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」を策定した。また、基本方針に基づき、府中駅北第2庁舎を仮移転先とする中央文化センター等複合施設整備基本計画の策定に向け、仮移転先の機能の整理等を進めた。
	その他の取組等	適切な施設管理を実施できた。

39 市政情報センター		担当課 広聴相談課	
しゅん工年度	平成29(2017)年度	延床面積	174㎡
課題	利用者数の増加について、方策を再考する必要がある。		
今後の方向性	市政情報の発信の場としての役割を踏まえ、利用者ニーズに対応したサービス提供を目指す。		

第3次推進プランの取組(令和4年度～令和7年度)				
取組内容	◆市民の生活に係る情報の発信のほか、法律相談や図書の受取などのサービスについて、効率的かつ効果的な運営がなされているか検証し、業務の改善を行う。			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○利用者のニーズを捉え、利用者数の増加に向けた方策の検討及び実施	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
期待する主な効果	◆利用者数の増加 ◆市政情報の提供による市民活動への寄与			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	実績	効率的・効果的な業務運営について、検証を進めた。	利用者数の増加を図るため、令和4年11月1日より、庁内向けに市政情報センター内スペースの貸し出しを始めた。	市政情報センター内スペースを自転車用ヘルメット購入費助成会場、マイナポイント支援会場利用のため貸し出し、多くの市民利用があった。	市政情報センター内スペースを全市の事業の会場として活用するとともにふちゅけ販売会場、墓地募集窓口など幅広く貸し出し、利用者数の増加に効果があった。	市政情報センター内スペースを行政出張相談会場など情報発信の場として貸し出し、利用者数の増加に効果があった。	市政情報センター内スペースで防衛パネル展や行政相談パネル展を実施して、情報発信の場として有効活用した。	市政情報センター内スペースを東京都議会議員選挙及び参議院議員選挙の期日前投票所として貸し出し、多くの市民の利用があった。	市政情報センター内スペースを衆議院議員選挙の期日前投票所や協働まつり景品交換コーナー、平和展のスペースとして貸し出し、利用者数の増加に効果があった。
	予定	引き続き、効率的・効果的な業務運営について、検証していく。	引き続き、効率的・効果的な業務運営について、検証していく。	引き続き、効率的・効果的な業務運営について、検証していく。また、取組について評価する。	市政情報センター内スペースの貸し出しが利用者数の増加に寄与したため、引き続き積極的に貸し出しを進め、効率的・効果的な業務運営について、検証していく。	市政情報センター内スペースの貸し出しが利用者数の増加に寄与した。今後も引き続き、同スペースを情報発信の場として活用していく。	引き続き、効率的・効果的な業務運営について、検証していく。	引き続き、効率的・効果的な業務運営について、検証していく。	引き続き、効率的・効果的な業務運営について、検証していく。
その他の取組等	実績	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休止していたデジタルサイネージの運用を令和5年5月より再開し、市政情報を発信した。	-	-	-	-	-
	予定	-	-	引き続き、デジタルサイネージの活用などを通じて、市政情報を積極的に発信していく。	-	-	-	-	-

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	<p>項目</p> <p>利用者のニーズを捉え、利用者数の増加に向けた方策の検討・実施</p>	<p>市の施設案内や刊行物の販売、粗大ごみシールの販売、図書の受取・返却、住民票の写しの交付、専門相談の実施など、利用者ニーズを踏まえた各種業務を行ってきた。あわせて、令和4年度からは、市政情報センター内のスペースをマイナポイント支援会場をはじめ、様々な用途に貸し出すことで、利用者の増加に効果があった。</p>

40 観光情報センター				担当課 観光プロモーション課
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度
1 観光情報センター	宮町3丁目1番地	地上2階	182㎡	平成17(2005)年度
2 郷土の森観光情報センター (郷土の森観光物産館)	是政6丁目32番地	地上1階	494㎡	平成23(2011)年度
課題	利用者数の増加について、方策を再考する必要がある。			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数の増加に向けた方策を検討する。</li> <li>市内の観光情報の発信拠点としての役割を踏まえた、施設のより効果的な活用方法について検討する。</li> </ul>			

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆府中の観光情報の発信拠点として、市内外にPRを行い、利用者数の増加を図る。</li> <li>◆他の施設との相乗効果が図られるような施設の活用方法を検討し、実施する。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
○利用者数の増加に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施	
○他の施設と相互に連携した観光情報の発信の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施	
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数の増加</li> <li>◆他の施設と相互に連携した施設の情報発信力の向上</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組	利用者数の増加に向けた方策の検討・実施	<p>ラグビーイベントへ出店し、PRを行った。ヤギを活用した緑地の除草イベントを実施した。イベント時は、スタンプラリーの実施場所や景品の受け渡し場所にするなど重要拠点に設定し、利用者数の増加を図った。</p> <p>観光物産館のバスデーイベントやキテキテ府中マルシェへの出展など、施設のPRに繋がる活動を通じて利用者数の増加を図った。</p>	<p>引き続き、物産館でのイベント実施や市内外で開催されるイベントへのPRブース出展を行うことで利用者数の増加を図る。</p>	<p>くらやみ祭開催期間中(5/3~5/5)にPRブースを出展した。ヤギを活用した緑地の除草イベントを実施した。イベント時は、スタンプラリーの実施場所や景品の受け渡し場所にするなど重要拠点に設定し、利用者数の増加を図った。</p>	<p>観光物産館のバスデーイベントを11月に実施した。秋季から冬季にかけては客数や売上が落ちてしまいがちだが、イベントを開催した二日間で2300人ほどが来場し、施設利用者の増加につながった。</p>	<p>くらやみ祭開催期間中(5/3~5/5)にフォーリス前でPRブースを出展した。観光物産館にて、ヤギを活用した緑地の除草イベントを実施した。イベント開催時は、参加賞景品の受け渡し場所にするなど、重要拠点に設定し、利用者数の増加を図った。</p>	<p>引き続き、物産館でのイベント実施や市内外で開催されるイベントへのPRブース出展を行うことで利用者の増加を図る。また、集客方法等、新たな取組について検討する。</p>	<p>くらやみ祭開催期間中(5/3~5/5)にフォーリス前でPRブースを出展した。観光物産館にて、イベント開催期間中(11/23~24)、約4500人が来場し、利用者が増加した。要因として、集客に活用した観光協会HPを、より見やすくリニューアルしていることが、挙げられる。</p>	<p>11月~12月頃は、客数や売上が落ちてしまいがちだが、観光物産館のバスデーイベント開催期間中(11/22~23)は、約4,600人が来場し、利用者が増加した。また、12月16日より駐車場内にEV充電器を設置し、利用者の増加を図った。</p>
	他の施設と相互に連携した観光情報の発信の検討・実施	<p>他施設のイベントなどのチラシの配架やポスターの掲示を行った。</p>	<p>他施設のイベントなどのチラシの配架やポスターの掲示を行った。</p>	<p>他施設のイベントなどのチラシの配架やポスターの掲示を行った。</p>	<p>他施設のイベントなどのチラシの配架やポスターの掲示を行った。下半期は新しく野川公園のパンフレットを配架し、周辺施設との連携を強化した。</p>	<p>他施設のイベントなどのチラシの配架やポスターの掲示を行った。</p>	<p>他施設のイベントなどのチラシの配架やポスターの掲示を行った。また、市内で映画等の撮影を行った著名人のサイン色紙掲出することを決定した。</p>	<p>他施設のイベントなどのチラシの配架やポスターの掲示を行った。</p>	<p>他施設のイベントなどのチラシの配架やポスターの掲示を行った。</p>
項目	引き続き、府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めて市内外にPRを行い、利用者数の増加を図る。	引き続き、府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めて市内外にPRを行い、利用者数の増加を図る。	引き続き、府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めて市内外にPRを行い、利用者数の増加を図る。また、取組について評価する。	府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めて市内外にPRを行い、利用者数の増加を図る。また、新たな取組について検討する。	引き続き、府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めて市内外にPRを行うとともに新たな取組を検討し、利用者数の増加を図る。	引き続き、府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めて市内外にPRを行うとともに、サイン色紙掲出等の方法を詳細に検討し、利用者数の増加を図る。	引き続き、府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めて市内外にPRを行うとともに新たな取組を検討し、利用者数の増加を図る。	引き続き、府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めて市内外にPRを行う。また、新たな取組として特集展を検討し、利用者数の増加を図る。	
	その他の取組等	-	-	-	-	-	-	-	

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	利用者数の増加に向けた方策の検討・実施	毎年後期に物産館でのバースデイイベントを開催することで、冬季の利用者が増加した。
	他の施設と相互に連携した観光情報の発信の検討・実施	府中の観光情報の発信拠点として、他の施設の情報等も含めてイベントのチラシやポスターの掲示を行うことで、利用者数の増加につながった。

4   消費生活センター		担当課 産業振興課	
しゅん工年度	平成29(2017)年度	延床面積	88㎡
課題	利用件数は増加傾向にあるため、引き続き、市民ニーズを捉えた質の高いサービスを提供していく必要がある。		
今後の方向性	消費生活における相談拠点として、施設の更なる認知度向上を目指していくほか、消費生活に係る啓発活動を推進していく。		

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	◆施設の認知度を上げるためのPR活動や啓発活動を推進する。 ◆施設の効率的な維持管理を行う。 ◆施設評価指標の把握及び評価を行い、より良いサービス提供を目指す。			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○施設機能のPR活動や啓発活動の推進	▽継続	▽継続	▽継続
	○施設の効率的な維持管理の実施	▽継続	▽継続	▽継続
	○施設評価指標の把握及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	▽継続	▽継続
期待する主な効果	◆施設機能の認知度の向上 ◆施設の維持管理の効率性の向上			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	施設機能のPR活動や啓発活動の推進	実績 啓発グッズによる消費生活センターの周知に加え、啓発資料等による情報提供や啓発活動を行った。	実績 消費生活展や消費生活講座、パネル展示を開催するとともに啓発資料等により、情報提供や啓発活動を実施した。	実績 啓発グッズによる消費生活センターの周知に加え、啓発資料等による情報提供やパネル展示を行った。	実績 消費生活展や消費生活講座、パネル展示を開催するとともに啓発資料等により、情報提供や啓発活動を実施した。	実績 啓発グッズによる消費生活センターの周知に加え、啓発資料等による情報提供やパネル展示を行った。	実績 消費生活展や消費生活講座、パネル展示を開催するとともに啓発資料等により、情報提供や啓発活動を行った。	実績 啓発グッズの作成による消費生活センターの周知に加え、啓発資料の作成やパネル展示などで情報提供を行った。
	施設機能のPR活動や啓発活動の推進	予定 消費生活展や消費生活講座、啓発資料等により、情報提供や啓発活動を実施する。	予定 パネル展示や啓発資料等により、情報提供や啓発活動を実施する。	予定 消費生活展や消費生活講座、啓発資料等により、情報提供や啓発活動を実施する。	予定 パネル展示や啓発資料等により、情報提供や啓発活動を実施する。	予定 消費生活展や消費生活講座、啓発資料等により、情報提供や啓発活動を実施する。	予定 パネル展示や啓発資料等により、情報提供や啓発活動を実施する。	予定 消費生活展や消費生活講座、啓発資料の発行など幅広い世代に向けた啓発活動を実施する。
取組項目	施設の効率的な維持管理の実施	実績 将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう検討した。	実績 将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう検討した。	実績 将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう検討した。	実績 将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう、施設管理者との協議実施を検討した。	実績 将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう、指定管理者との協議実施をする方向で検討した。	実績 将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう、指定管理者との協議実施をする方向で検討した。	実績 設備の不具合が生じた際に適切に対応できるよう、施設管理者との協議を検討した。
	施設の効率的な維持管理の実施	予定 引き続き、将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう検討する。	予定 引き続き、将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう検討する。	予定 引き続き、将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう検討する。	予定 引き続き、将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう検討する。	予定 引き続き、将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう、指定管理者と協議を実施する。	予定 引き続き、将来想定される設備等の不具合に備え、耐用年数に応じた更新ができるよう、指定管理者と協議を実施する。	予定 今後見込まれる設備等の不具合に備え、遅滞なく更新が行えるよう準備を検討する。
取組項目	施設評価指標の把握及び評価	実績 施設評価を視認可するため、指標について検討を行った。	実績 施設評価を視認可するため、指標を把握し、評価を行った。	実績 評価に基づき、今まで取組みを行ってなかった若年層世代への、啓発事業について、検討を行った。	実績 若年層世代への啓発事業について検討を行った結果、中学生を対象とした新規啓発事業を令和6年度に実施することを決定した。	実績 若年層世代への啓発事業について、中学生を対象としたリーフレットの配布を実施した。	実績 高校生大学生を対象とした若年層世代へのリーフレット配布等の啓発を行い、消費生活パネル展を随時開催することで施設機能の認知度の向上に努めた。	実績 高齢者等に加え、若年層への啓発資料やポスター展示など啓発活動を実施、また刊行物でも幅広い年代に向けた情報提供を行った。
	施設評価指標の把握及び評価	予定 引き続き、施設評価を視認可するため、指標について検討・評価を行う。	予定 施設評価に基づき、新たな取組について検討する。	予定 下半期に行う講座において、より詳細に視認可できるように検討を行う。	予定 令和6年度に実施予定の若年層の啓発強化について、内容の検討を行う。	予定 引き続き、若年層の啓発強化を行う。	予定 消費生活センターの認知度アンケートに基づき施設評価を行い、新たな取組について検討する。	予定 高齢者以外の年代においてもトラブルが生じている傾向にあるため、今後もあらゆる年代に向けた啓発を行う。
その他の取組等	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -	実績 -
その他の取組等	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -	予定 -

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	施設機能のPR活動や啓発活動の推進	市民や関連団体からも消費生活センターの認知度は上がってきているが、高齢者等のトラブルに加え、成人年齢引き下げに伴う若年層への消費トラブル防止に向けて、あらゆる世代への更なる啓発活動を実施した。
	施設の効果的な維持管理の実施	設備に不具合が生じ、修繕が必要となる場合において、即対応できるよう施設管理者との協議を行っていたため、実際に不具合が生じてもスムーズな対応を行うことができた。
	施設評価指標の把握及び評価	これまで比較的高齢者などに向けた啓発が多かったが、成人年齢引き下げに伴う若年層への啓発強化を実施することができた。

42 リサイクルプラザ		担当課 資源循環推進課	
しゅん工年度	平成 6 (1994) 年度	延床面積	11,719㎡
課題	施設及び設備の老朽化が進行しており、現在、選別棟及び資源棟の建て替えに向けた取組を進めているが、建て替えまでの期間について施設機能を維持できるよう適切な維持管理を行う必要がある。		
今後の方向性	市民ニーズや施設の稼働状況を踏まえ、今後施設に必要な機能の整理や施設の在り方の見直しを行う。		

第3次推進プランの取組 (令和4年度～令和7年度)				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆選別棟及び資源棟の建て替えに当たって、適切な施設機能及び事業手法について検討する。</li> <li>◆施設の建て替えに伴い、施設機能の配置を見直し、敷地及び建物空間の効果的な活用を検討する。</li> <li>◆再生家具やリサイクル自転車の販売方法の見直しを行い、歳入確保に向けた新たな方策を検討する。</li> <li>◆市民工房スペースの利用状況などを踏まえ、改めて活用について検討する。</li> </ul>			
	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○基本設計	○事業者の選定 (R7以降へ)	○実施設計 (次年度以降へ)	○工事 (次年度以降へ)
	○施設の効率的な維持管理手法についての検討	▽継続	▽継続	▽継続
	○歳入確保に向けた方策の検討及び実施	▽継続	▽継続	▽継続
	○市民工房スペースの新たな活用方策の検討	▽継続	▽継続	▽継続
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中間処理施設として適切な施設機能や規模の維持</li> <li>◆リサイクルセンター利用者数や歳入の増加</li> </ul>			

●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	△：計画通りに進んでいない
取組項目	選別棟及び資源棟の建て替えに当たって、適切な施設機能及び事業手法の検討	実績	建て替えに向けた基本設計の委託発注を行った。	基本設計を進めるとともに、事業者選定委員会を設置した。	事業手法にはDBO方式を採用することとし、事業発注に向けた要求水準書等をまとめた。	入札公告を行い、事業者の募集及び選定に係る手続を進めた。	入札が不調になったため、事業者へのヒアリング等を行い、要求水準書等の見直しを行った。	再度入札公告を行い、事業者の募集及び選定に係る手続を進めた。	入札が不調になったため、ごみ・資源物の中間処理を継続するための今後の方針を検討した。
		予定	基本設計の検討を進めるとともに、事業者選定委員会を設置する。	基本設計を進め、事業発注に向けた要求水準書等をまとめる。	入札公告を行い、事業者の募集及び選定を進める。	引き続き、事業者の選定に係る手続を進める。	再度入札公告を行い、事業者の募集及び選定を進める。	引き続き、事業者の選定に係る手続を進める。	引き続き、ごみ・資源物の中間処理を継続するための今後の方針を検討する。
	施設の効率的な維持管理手法の検討	実績	施設の効率的な維持管理手法の検討は、基本設計の検討の中で行った。	施設の効率的な維持管理手法の検討は、基本設計の中で行った。	効率的な維持管理手法の検討を行い、選別棟及び資源棟の建て替えと管理棟の改修を一括で発注することとした。	昨年度までの検討内容に基づき、事業者の募集及び選定に係る手続を進めた。	入札が不調になったため、事業者へのヒアリング等を行い、要求水準書等の見直しを行った。	これまでの検討内容に基づき、事業者の募集及び選定に係る手続を進めた。	入札が不調になったため、ごみ・資源物の中間処理を継続するための今後の方針を検討した。
		予定	引き続き、基本設計の検討と併せて、効率的な維持管理手法の検討も進める。	引き続き、基本設計と併せて、効率的な維持管理手法の検討も進める。	事業者の選定を進め、選定された事業者と具体的な維持管理内容の協議を進める。	引き続き、事業者の選定を進め、選定された事業者と具体的な維持管理内容の協議を進める。	引き続き、事業者の選定を進め、選定された事業者と具体的な維持管理内容の協議を進める。	引き続き、事業者の選定を進め、選定された事業者と具体的な維持管理内容の協議を進める。	引き続き、効率的な維持管理手法を含め、施設整備の今後の方針を検討する。
市民工房スペースの活用等、歳入確保に向けた方策の検討及び実施	実績	ジモティーを活用した再生家具の販売を行った。	スペースの活用方法等の検討は、基本設計の中で行った。	スペースの活用方法等の検討を行い、要求水準書に室配置案をまとめた。	昨年度までの検討内容に基づき、事業者の募集及び選定に係る手続を進めた。	入札が不調になったため、事業者へのヒアリング等を行い、要求水準書等の見直しを行った。	これまでの検討内容に基づき、事業者の募集及び選定に係る手続を進めた。	入札が不調になったため、ごみ・資源物の中間処理を継続するための今後の方針を検討した。	
	予定	基本設計の検討と併せてスペースの活用方法等を検討する。	引き続き、基本設計と併せてスペースの活用方法等を検討する。	事業者の選定を進め、選定された事業者と具体的なスペースの活用方法等の検討を進める。	引き続き、事業者の選定を進め、選定された事業者と具体的なスペースの活用方法等の検討を進める。	引き続き、事業者の選定を進め、選定された事業者と具体的なスペースの活用方法等の検討を進める。	引き続き、事業者の選定を進め、選定された事業者と具体的な維持管理内容の協議を進める。	引き続き、具体的なスペースの活用方法等を含め、施設整備の今後の方針を検討する。	
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	
	予定	-	-	-	-	-	-	-	

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		D. 当初の予定を変更し、方針決定や計画策定を次期プランに引き継いだ。
取組の成果	選別棟及び資源棟の建て替えに当たって、適切な施設機能及び事業手法の検討	施設の建て替えに当たって、基本構想、基本計画を策定し、適切な施設機能及び事業手法等を検討した上で、基本設計を進め、入札公告を実施したが、2度の入札不調により、当面の間、当該施設の建て替えについては見送ることとした。今後は、現施設の機能を維持しつつ、建て替えを含めた当該施設の在り方について、引き続き検討する。
	施設の効率的な維持管理手法の検討	施設の建て替えの検討に合わせて、施設の効率的な維持管理手法についても基本設計の中で検討し、要求水準書にまとめたが、2度の入札不調により、当面の間、当該施設の建て替えについては見送ることとしたため、引き続き、当該施設の在り方について検討する中で、施設の効率的な維持管理手法についても検討していく。
	市民工房スペースの活用等、歳入確保に向けた方策の検討及び実施	施設の建て替えの検討に合わせて、市民工房スペースの活用等についても基本設計の中で検討し、要求水準書にまとめたが、2度の入札不調により、当面の間、当該施設の建て替えについては見送ることとしたため、引き続き、当該施設の在り方について検討する中で、市民工房スペースの活用等についても検討していく。

4 3 男女共同参画センター「フチャール」		担当課 多様性社会推進課	
しゅん工年度	平成 6 (1994) 年度	延床面積	1, 656 m <sup>2</sup>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数の増加や稼働率の向上について、方策を再考する必要がある。</li> <li>・建築後28年が経過し、施設の老朽化が課題となっている。今後、施設の大規模改修等を検討していく中で、市民ニーズや利用状況を踏まえ、必要な機能を整理する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の大規模改修等の時期を見据え、市民ニーズや施設の稼働状況などを踏まえた必要な機能の整理や、施設の在り方の見直しを行う。</li> <li>・機能の整理や施設の在り方の見直しを踏まえて、計画的に施設の維持管理を行っていく。</li> <li>・利用者数や歳入の増加に向けて、施設全体の有効的な活用や、事業の効果的な実施について検討する。</li> </ul>		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。</li> <li>◆効果的な事業の実施に向け、施設管理及び運営手法を検討する。</li> <li>◆更なる稼働率の向上に向けた方策を検討・実施する。</li> </ul>			
	R 4	R 5	R 6	R 7
スケジュール	○周辺公共施設との複合化を見据えた大規模改修に向けて、施設の機能や規模に関する今後の在り方についての検討	▽継続	▽継続	●検討に基づく方向性の決定
	○効率的な施設管理及び運営手法について検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○稼働率の向上に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆効率的かつ効果的な施設の活用</li> <li>◆利用者数や歳入の増加</li> <li>◆市政情報の提供による市民活動への寄与</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組年度		令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価		○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	周辺公共施設との複合化を見据えた大規模改修に向け、施設の機能や規模に関する今後の在り方の検討	実績 設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討を行った。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討を行った。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討を行った。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討を行った。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、当施設管理組合で作成する施設全体に係る大規模修繕計画が具体的になれば、時期に合わせて検討をする。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、当施設管理組合で作成する施設全体に係る大規模修繕計画が具体的になれば、時期に合わせて検討をする。	周辺の公共施設とは機能的に異なるため、今後も男女共同参画推進協議会と協議し、フチャールは、周辺の公共施設とは機能的に異なるため、今後も男女共同参画推進協議会と協議した。	第三者評価機関である男女共同参画推進協議会と協議し、フチャールは、周辺の公共施設とは機能的に異なるため、今後も男女共同参画推進協議会と協議した。	
	予定	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	男女共同参画推進協議会での協議や課内での検討結果を踏まえ、施設の今後の方向性を決定する。	決定した今後の施設の方針に基づき、引き続き、取組を進める。
	実績	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目として男女共同参画センター「フチャール」の運営について検討を行った。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行い、協議会から答申書を受領した。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行った。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行った。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。また、設置したコワーキングスペースの検証を行い、新たな取組についても検討する。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。また、設置したコワーキングスペースについては、月に150～200名ほど利用があった。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。また、設置したコワーキングスペースについては、月に150～200名ほど利用があった。	男女共同参画の拠点として、母子だけではなく、父子が利用できる授乳スペースの確保に向け、レイアウトや必要な備品の検討を行った。	フチャールの運営について、男女共同参画の拠点として、母子だけではなく、父子が利用できる授乳スペースの確保に向け、備品を手配した。
予定	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目として男女共同参画センター「フチャール」の運営について検討を行う。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。	引き続き、フチャールの運営について、男女共同参画の拠点として、母子だけではなく、父子が利用できる授乳スペースの確保を検討する。	引き続き、フチャールの運営について、男女共同参画の拠点として、母子だけではなく、父子が利用できる授乳スペースの確保に向け、備品を手配する。	引き続き、効率的な施設運営に努める。	

※次頁に続く

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	稼働率の向上に向けた方策の検討・実施	実績	男女共同参画を推進する拠点施設として、オンラインを活用し、各種講座の実施や情報提供を通じ、より多くの市民へ意識啓発を行った。	男女共同参画を推進する拠点施設として、オンラインを活用し、各種講座の実施や情報提供を通じ、より多くの市民へ意識啓発を行った。認知度を高めることによる稼働率の向上を図った。	男女共同参画を推進する拠点施設として認知度を高めるために、オンラインで各種講座の実施や情報提供を行い、稼働率の向上を図った。また、第7次府中市男女共同参画計画策定に向けた市民意識調査を実施し、施設の認知度や施設に対するニーズ等の現状を把握した。	男女共同参画を推進する拠点施設として認知度を高めるために、各種講座の実施や情報提供を行った。コロナ対策の緩和に伴い、会場開催のニーズが多いため、オンラインではなく会場開催を中心に行った。また、第7次府中市男女共同参画計画策定に向けた市民意識調査を実施し、施設の認知度や施設に対するニーズ等の現状を調査した。	男女共同参画を推進する拠点施設として認知度を高めるために、各種講座の実施や情報提供を行った。講座開催形態については、ニーズの変化に伴い、会場とオンラインのハイブリット開催も行った。また、商工まつりや文化センターで啓発物品を配るなど認知度の向上に努めた。	男女共同参画を推進する拠点施設として認知度を高めるため、7月より公式インスタグラムの運用を開始したほか、商工まつりや文化センターで啓発物品を配るなど認知度の向上に努めた。	
		予定	引き続き、オンラインを活用し、各種講座の実施や情報提供を行い、より多くの市民へ意識啓発を行う。	引き続き、オンライン・SNSを活用し、各種講座の実施や情報提供を行い、より多くの市民へ意識啓発を行う。	引き続き、オンラインを活用し、各種講座の実施や情報提供を行い、より多くの市民へ意識啓発を行う。また、取組について評価する。	引き続き、オンラインを活用し、各種講座の実施や情報提供を行い、より多くの市民へ意識啓発を行う。また、新たな取組を検討する。	各種講座の実施や情報提供の見直しを図り、より多くの市民へ意識啓発を行う。また、新たな取組について検討する。	引き続き、フューチャーの認知度向上に向け、HPやSNS等を活用した広報活動を行うほか、中心市街地でのイベントを実施する。	
	その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	若年層への配慮を目的として、当センターで実施する女性問題相談のオンライン予約を7月より開始し、新規の若年層の利用者が増加した。
		予定	-	-	-	-	-	-	引き続き、利用者の拡大や利便性の向上に向けた取組を検討・実施していく。

● 4年間の取組の総括

評価	B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。	
取組の成果	項目	周辺公共施設との複合化を見据えた大規模改修に向け、施設の機能や規模に関する今後の在り方の検討
	項目	効率的な施設運営及び運営手法について検討
	項目	稼働率向上に向けた方策の検討・実施

4 4 自転車駐車場				担当課 地域安全対策課
施設名称	所在地	階数	延床面積	しゅん工年度
1 府中駅北自転車駐車場	府中市寿町1丁目5番地 (府中駅北第2庁舎 地上2階~地下2階)	-	2,651㎡ (建物全体9,362㎡)	平成3(1991)年度
2 東府中駅南自転車駐車場	府中市清水が丘1丁目3番地	-	1,570㎡ (建物全体4,468㎡)	平成6(1994)年度
3 西府中駅北自転車駐車場	府中市本宿町1丁目4番地	地上2階	635㎡	平成20(2008)年度
4 西府中駅南自転車駐車場	府中市西府町1丁目60番地	-	-	平成20(2008)年度
5 多磨霊園駅北自転車駐車場	府中市清水が丘3丁目19番地	地上2階	995㎡	平成2(1990)年度
6 府中駅南自転車駐車場	府中市宮町1丁目100番地 (ル・シーニュー地下1階)	-	1,012㎡	平成29(2017)年度
課題	施設に掛かるコストが増加傾向にあるため、経費節減に向けた取組を検討する必要がある。			
今後の方向性	効率的な施設運営に努めるとともに、施設の更新時期を見据え、市民ニーズや利用状況を踏まえた施設の規模や在り方を見直す。			

第3次推進プランの取組(令和4年度~令和7年度)				
取組内容	R4	R5	R6	R7
	◆現在の自転車駐車場における適切な収容台数を維持し、経費節減に向けた取組を検討・実施する。 ◆放置自転車対策等を行うことで利用者数の増加を図り、更なる収入確保につなげる。	○経費節減に向けた取組の検討	○取組の実績及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討
◆効率的な施設運営 ◆施設の維持管理及び更新に係る市の歳出の削減	○放置自転車対策等による収入確保に向けた取組の検討	○取組の実績及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
期待する 主な効果	◆効率的な施設運営 ◆施設の維持管理及び更新に係る市の歳出の削減			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期		
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる		
取組項目	施設の維持管理費の縮減に向けた取組の実施・検討	実績	自転車駐車場の管理業者からのヒアリングにより清掃を行うスパンを確認し、適切な清掃スケジュールを設定した。	令和5年度に施設の改修工事を行う東府中駅南自転車駐車場について、仕様の変更を行い、委託費の削減を行った。	府中駅北自転車駐車場自転車搬送ベルトコンベアの必要な修繕を定例的な点検日と同日に行うことで、作業費等の削減を図った。	東府中駅南自転車駐車場について、改修工事(教育センター移転工事)の中で、2階及び1階から2階スロープ部について、LED化を行った。その結果、長寿命化による、蛍光灯の購入費用の削減を行うことができた。	府中駅北自転車駐車場について、ベルトコンベアの保守点検時に指摘のあった部分の修繕を行い、故障を未然に塞ぎ、費用の削減につなげた。 東府中駅南自転車駐車場において、1階及び地下1階のスロープ部分のLED化を行った。	東府中駅南自転車駐車場において、地下1階、管理室及びトイレのLED化を行い、東府中駅南自転車駐車場のLED化が完了した。	適切な維持管理、設備の保守を行い、西府中駅北自転車駐車場の入口庇修繕等の不良箇所に対する適切な対応を行った。	多磨霊園駅北自転車駐車場において、屋外及び屋上照明のLED化を行った。
		予定	令和5年度に施設の改修工事を行う東府中駅南自転車駐車場について、必要に応じて仕様の見直しを検討する。	引き続き、適切な維持管理、設備の保守を行い、不良箇所に対して迅速に対応を行う。	引き続き、適切な維持管理、設備の保守を行い、不良箇所に対して適切な対応を行う。また、取組について評価する。	東府中駅南自転車駐車場について、1階及び地下1階についても改修工事の中で、LED化を行う。また、他の施設についても、引き続き適切な維持管理を行い、新たな取組を検討する。	引き続き、適切な維持管理、設備の保守を行い、不良箇所に対して適切な対応を行う。 東府中駅南自転車駐車場について、改修工事の中で地下1階LED化を行う。	引き続き、適切な維持管理、設備の保守を行い、不良箇所に対して適切な対応を行う。また、取組について評価する。	多磨霊園駅北自転車駐車場において、屋外及び屋上照明のLED化を行う。また、他の施設についても、引き続き、適切な維持管理、設備の保守を行い、不良箇所に対して適切な対応を行う。また、取組について評価する。	引き続き、適切な維持管理、設備の保守を行い、不良箇所に対して適切な対応を行う。また、取組について評価する。
	市民ニーズに対応した放置自転車対策等による収入確保に向けた取組	実績	自転車駐車場の一時利用について、幅広の自転車、タイヤの太い自転車等他の自転車と区別する必要がある自転車に対して適切な駐車スペースの案内を行った。	自転車駐車場の一時利用について、空いている場所の案内や高齢者の手助けといった利用者へのサービスを行った。	各公立自転車駐車場において、引き続き、一時利用者への駐車スペースの案内、高齢者等の介助といったサービスを利用者へ行った。府中駅南自転車駐車場において、思いやりゾーンへの案内表示を設置した。	各公立自転車駐車場において、引き続き、一時利用者への駐車スペースの案内、高齢者等の介助といったサービスを利用者へ行った。それにより、一定の利用者の確保につなげることができた。	府中駅北自転車駐車場において、時間使用料の支払い方法として、9月から交通系ICカード支払いを導入した。	各公立自転車駐車場において、引き続き、一時利用者への駐車スペースの案内、駐車補助等といったサービスを利用者へ行った。それにより、一定の利用者の確保につなげることができた。	自転車駐車場の一時利用について、駐車スペースの案内、高齢者等への介助、駐車補助等を行い、一定の利用者の確保につなげることができた。またさらなるサービス向上に向けて、現場係員と協議を行った。	府中駅北ローソン付近で放置自転車の夜間誘導を行い、適切な自転車駐車場の利用を案内した。また、上半期に引き続き、自転車駐車場の一時利用について、駐車スペースの案内、高齢者等への介助、駐車補助等を行い、一定の利用者の確保につなげることができた。
		予定	引き続き、市民のニーズに対応した運営を行う。	引き続き、市民のニーズに対応した運営を行う。	引き続き、市民のニーズに対応した運営を行い、取組について評価する。	引き続き、市民のニーズに対応した運営を行い、新たな取組を検討する。	引き続き、市民のニーズに対応した運営を行い、新たな取組を検討する。	引き続き、市民のニーズに対応した運営を行い、新たな取組を検討する。	引き続き、市民のニーズに対応した運営を行い、新たな取組を検討する。	引き続き、市民のニーズに対応した運営を行い、更なる収入確保に向けた取組を検討する。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	府中市役所自転車駐車場の供用開始に向けて、府中市立自転車駐車場条例及び施行規則の改正を行うとともに、関係団体と協議の上、必要な検討を実施した。	
	予定	-	-	-	-	-	-	-	府中市役所自転車駐車場を供用開始する。	

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	項目 施設の維持管理費の縮減に向けた取組の検討・実施	府中駅南自転車駐車場では、施設の維持管理費の縮減に向けた取組の検討・実施を段階的に進めてきた。 経費削減のための取組として、東府中駅南自転車駐車場及び多磨霊園駅北自転車駐車場のLED化、施設の改修に伴った仕様変更、修繕と点検を合わせて行うことによる作業費の削減等を行った。 その結果、電気料及び管理費、修繕費について必要経費の削減につながった。
	項目 市民ニーズに対応した放置自転車対策等による収入確保に向けた取組	府中駅南自転車駐車場では、市民ニーズに対応した放置自転車対策等による収入確保に向けた取組を段階的に進めてきた。 市民のニーズに対応した収入確保に向けた取組として、幅広の自転車・タイヤの太い自転車等に対する適切な駐輪スペースの案内、時間使用料の交通系ICカード支払いの導入、夜間誘導による適切な自転車駐車場の利用案内等を行った。 その結果、自転車駐車場の利用者及び収入の確保につながった。 また、令和8年度の府中市役所市立自転車駐車場の新規開設に向けて、条例改正及び必要な準備を実施することで、駅周辺の放置自転車対策を強化するとともに、新たな収入確保に向けて取り組んだ。

4 5 府中駅南口市営駐車場		担当課 地域安全対策課	
しゅん工年度	平成 7 (1995) 年度	延床面積	32,384 m <sup>2</sup>
課題	指定管理者と連携して利用率の分析を行い、より効率的な運営ができるサービスを検討する必要がある。		
今後の方向性	引き続き、市民ニーズを捉え適宜サービスを見直し、利用台数及び収入の増加を図り、利便性の向上を目指す。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民ニーズを的確に捉えたサービスを提供し、更なる収入確保を図る。</li> <li>◆効率的な施設の維持管理に努め、施設の維持管理経費の削減を目指す。</li> </ul>			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民ニーズを捉えたサービスの検討</li> <li>○適正な維持管理経費の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組の実施及び評価</li> <li>○取組の実施及び評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価に基づく修正及び新たな取組の検討</li> <li>○評価に基づく修正及び新たな取組の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検討に基づく取組の実施</li> <li>○検討に基づく取組の実施</li> </ul>
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用台数の増加</li> <li>◆市の歳出の削減</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組	実績	利用者の利便性向上に向けた取組として、二次元コード決済やクレジットカード決済機能によるキャッシュレス化の導入に向けた検討を行った。	引続き二次元コード決済やクレジットカード決済機能によるキャッシュレス化に向けた検討を行い、令和5年4月からの導入を決定した。	4月から導入したキャッシュレス化の効果もあり、利用者は前年度と比較して増加した。	「わかりやすい駐車場」をテーマに場内案内表示のリニューアル、デジタルサイネージの設置を行い、利便性の向上に努め、売上の増加に貢献した。	キャッシュレス化及び案内表示のリニューアルの効果もあり、過去最高の売上を記録した昨年度の売上実績を上回るペースとなっている。 また、場内に設置している利用者アンケート等を用いて、利用状況の把握に努めた。	場外及び場内へのサインの増設を行い、利用者の利便性向上に努めた結果、上半期に続き、売上げについては前年度を上回った。	場内の利用者が多く出入りする開き戸を自動扉に変更し、買い物に訪れる利用客に好評なリニューアルを行った。	場内の地下水が漏水している部分について修繕を行った。利用者の安全を守り、漏水により使用の一時停止を生じさせない効率的な運営につなげた。
	予定	引続きキャッシュレス化の導入に向けた取組を行う。 歳入の確保に向けて、必要に応じて定期利用枠の拡大や、新たなサービスの導入を検討する。	引続き歳入確保に向け、既存のサービスの拡大、新たなサービスの導入に向けた検討を行っていく。	引続き歳入確保に向け、既存のサービスの拡大、新たなサービスの導入に向けた検討を行っていく。また、取組について評価する。	引続き歳入確保に向け、既存のサービスの拡大、新たなサービスの導入に向けた検討を行っていく。また、新たな取組を検討する。	引続き歳入確保に向け、既存のサービスの拡大、新たなサービスの導入に向けた検討を行っていく。また、新たな取組を検討する。	更なる歳入確保に向け、ハード面での取組みに加え、ソフト面についても、サービスの向上に向けた取組を行っていく。	引き続き歳入確保に向け、既存のサービスの拡大、新たなサービスの導入に向けた検討を行っていく。	引き続き歳入確保に向け、既存のサービスの拡大、新たなサービスの導入に向けた検討を行っていく。また、更なる新たな取組を検討する。
項目	実績	ミッテン府中開業後の利用状況を踏まえ、効果的・効率的なサービスを提供するため、適切な人員配置の見直しを行った。	従来の利用状況を注視しつつ、それらを踏まえた適切な人員配置について、検討を行った。	利用者が増加する中で、効果的・効率的なサービスを提供することに努め、維持管理費を現状維持とした。	利用者が増加する中で、効果的・効率的なサービスを提供することに努め、維持管理費を現状維持とした。	利用者が増加する中で、既存の人員を適切に配置するなど、効果的かつ効率的な運営を行い、経費削減に努めた。 また、施設の適切な維持・改修に向け、検討した。	上半期に続き、既存の人員を適切に配置することで、効果的かつ効率的な運営を行い、経費削減に努めた。 また、施設の適切な維持・改修に向け、検討した。	既存の人員を適切に配置することに加え、夜間巡回を委託から直接雇用とすることで、経費削減に努めた。 また、施設の適切な維持・改修に向け、検討した。	上半期に続き、既存の人員を適切に配置することで、効果的かつ効率的な運営を行い、経費削減に努めた。また、施設の適切な維持・改修に向け、検討した。
	予定	引き続き、適切な人員配置や、その他経費削減のための取組を行う。	適切な人員配置について、利用状況に応じた見直しを行う。 その他経費削減の方法についても検討を行う。	引き続き、維持管理費の削減に努める。また、取組について評価する。	引き続き、維持管理費の削減に努める。また、新たな取組を検討する。	引き続き、維持管理費の削減に努めるとともに、今後、供用開始から30年を迎える中で、施設の適切な維持・改修に向け、検討を行っていく。	引き続き、維持管理費の削減に努めるとともに、今後、供用開始から30年を迎える中で、施設の適切な維持・改修に向け、検討を行っていく。	引き続き、維持管理費の削減に努める。また、新たな取組を検討する。	引き続き、維持管理費の削減に努める。また、新たな取組を検討する。
その他の取組等	実績	-	-	-	-	-	-	-	府中駅南口市営駐車場と一体して管理を行うこととなっている府中市役所市営駐車場の運営を見据え、府中市営駐車場条例及び施行規則の改正を行うとともに、令和8年度からの新たな指定管理者候補者の選定を実施した。
	予定	-	-	-	-	-	-	-	府中市役所市営駐車場の供用を開始する。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		C. 予定どおり取組を行った。
取組の成果	項目 市民ニーズを捉えたサービス提供及び更なる歳入確保	府中駅南口市営駐車場では、市民ニーズを踏まえた利便性向上と歳入確保の取組を段階的に進めてきた。利用者の利便性向上に向け、二次元コード決済やクレジットカード決済によるキャッシュレス化を検討し、令和5年4月から導入した結果、利用者数の増加など一定の効果が確認された。 また、「わかりやすい駐車場」をテーマに、場内案内表示のリニューアルやデジタルサイネージの設置、場内外サインの増設を行い、利用者満足度の向上と売上増加につなげるとともに、自動化や漏水箇所の修繕など安全性と運営効率の向上にも取り組み、公共施設としての価値向上と安定的な運営を図ることができた。 さらに、令和8年度の府中市役所市営駐車場の新規開設に向けて、条例改正及び指定管理者候補者の選定を実施し、新たな収入確保に向けて取り組んだ。
	施設の維持管理費の縮減に向けた取組	府中駅南口市営駐車場では、利用状況の変化を踏まえた人員配置の見直しを行い、効果的かつ効率的な運営に取り組んできた。 ミッテン府中開業後の来場動向を注視し、既存人員の適切な配置を工夫することで、利用者が増加する中においても維持管理費を抑制し、現状水準を維持した。 さらに、夜間巡回業務を委託から直接雇用へ切り替えるなど業務形態の見直しを行い、経費削減を図るとともに、施設の適切な維持・改修に向けた検討を継続した。

46 府中の森市民聖苑		担当課 環境政策課	
しゅん工年度	平成 8 (1996) 年度	延床面積	9, 873 ㎡
課題	施設設備の老朽化が進行しているため、大規模改修に向けて施設の適切な機能や規模について検討し、検討結果に基づいた大規模改修計画を策定する必要がある。		
今後の方向性	令和8年度を目途に大規模改修を行うこととし、市民ニーズや施設の稼働状況を踏まえ、今後必要な機能の整理や施設の在り方の見直しを行う。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	◆大規模修繕に向けて施設の利用状況などの市民ニーズを勘案しながら、施設の役割を踏まえた適切な機能や規模について検討する。			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○大規模修繕に向けて、施設の役割を踏まえた適切な機能や規模についての検討	●検討に基づく大規模修繕計画の策定（R6まで継続）	○基本設計の実施（次年度以降へ）	○実施設計の実施（次年度以降へ）
期待する主な効果	◆適切な施設機能や規模の維持 ◆事業の継続性の確保			

●進捗管理表

取組年度	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	△：計画通りに進んでいない	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
取組項目	実績	劣化診断調査と実態調査を委託し、大規模改修の基本計画策定に必要となる、劣化状況や市民ニーズ、工事期間中の火葬・葬儀の受入れ先等の情報収集を開始した。	劣化診断調査と実態調査を実施し、劣化状況や市民ニーズ、工事期間中の火葬・葬儀の受入れ先等の情報収集をした。その結果、葬儀の多様化に対応できる諸室等の見直しや、市民への影響が最小限となるよう安全で効率的な工事計画の策定を行う必要が生じたことから基本計画策定期を延長することとした。	劣化診断調査と実態調査を踏まえ、大規模改修の基本計画策定を開始し、諸情報の整理を行った。	市民への影響が最小限となるよう安全で効率的な工事計画の策定を行う過程で、複数の工事案を作成し比較検討する必要が生じたことから、基本計画は策定期を延長することとした。	市民への影響が最小限となるよう安全で効率的な工事計画として、仮設火葬炉設置案、火葬棟改築案等について実施可否の検討を進めた。	市民への影響が最小限となるよう安全で効率的な工事ができるよう、仮設火葬炉設置案、火葬棟改築案の実施要件等についてまとめた改修基本計画を策定した。	策定した改修基本計画に基づき、最も適切な採用手法について詳細な検討をするため、民間活力導入の可能性について調査を進めた。
	予定	劣化診断調査と実態調査により、大規模改修の基本計画策定に必要となる、諸情報収集を行う。	劣化診断調査と実態調査を踏まえ、大規模改修の基本計画策定を開始する。	大規模改修の基本計画の骨子をまとめた中間報告を作成する。	市民への影響が最小限となるよう安全で効率的な工事計画として、仮設火葬炉設置案、火葬棟改築案等について実施可否の検討を進める。	市民への影響が最小限となるよう安全で効率的な工事に向けて、改修基本計画を取りまとめる。	策定した改修基本計画に基づき、最も適切な採用手法について詳細な検討をするため、民間活力導入の可能性について調査する。	民間活力導入可能性調査の結果を検討し、最も適した改修手法を決定して改修に向けた手続を進める。
目	実績	施設の老朽化が進む中、施設の円滑な運営を図るため、施設及び設備の適正な維持管理に努めた。	施設の老朽化が進む中、施設の円滑な運営を図るため、施設及び設備の適正な維持管理に努めた。	施設の老朽化が進む中、施設の円滑な運営を図るため、施設及び設備の適正な維持管理に努めた。	施設の老朽化が進む中、施設の円滑な運営を図るため、施設及び設備の適正な維持管理に努めた。	施設の老朽化が進む中、施設の円滑な運営を図るため、施設及び設備の適正な維持管理に努めた。	施設の老朽化が進む中、施設の円滑な運営を図るため、必要最低限な施設及び設備の維持管理に努めた。	施設の老朽化が進む中、施設の円滑な運営を図るため、施設及び設備の必要最低限な維持管理に努めた。
	予定	設備機器の老朽化に対応するため、設備改修等を適宜実施し、施設の安定的な運営に努める。	設備機器の老朽化に対応するため、設備改修等を適宜実施し、施設の安定的な運営に努める。	設備機器の老朽化に対応するため、設備改修等を適宜実施し、施設の安定的な運営に努める。	設備機器の老朽化に対応するため、設備改修等を適宜実施し、施設の安定的な運営に努める。	設備機器の老朽化に対応するため、設備改修等を適宜実施し、施設の安定的な運営に努める。	設備機器の老朽化に対応するため、大規模改修を見据えた必要最低限の設備改修等を実施し、施設の安定的な運営に努める。	設備機器の老朽化に対応するため、大規模改修を見据えた必要最低限の設備改修等を実施し、施設の安定的な運営に努める。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	大規模改修に向けた取組	大規模改修については、市民への影響が最小限となるよう、また、安全で効率的な工事ができるよう、改修基本計画を策定し、民間活力導入の可能性についての調査を実施した。
	その他の取組等	施設の老朽化が進む中、大規模改修を見据えながら、施設の円滑な運営を図るため、必要最低限な施設及び設備の維持管理に努めた。

計画的保全の取組		担当課 建築施設課 各施設所管課
取組項目	期待する主な効果	
1 府中市公共施設保全計画の見直し	・計画的保全の取組の着実な推進	
2 施設情報の一元化	・保全業務の効率化	
3 建物の日常点検と劣化状況調査等の実施	・継続的な実施による不具合の早期発見と、施設管理者の保全に関する知識向上 ・利用者の安全性の確保	
4 改修工事及び修繕の優先順位付け	・限られた予算を効果的に活用した改修工事及び修繕の実施	
5 新たな事業手法の積極的な検討	・施設にかかるライフサイクルコストの低減 ・修繕業務の効率化と質の確保	
6 委託業務の見直し	・施設の保守管理業務に関する質の向上と均一化	

取組項目	第3次推進プランの取組スケジュール（令和4年度～令和7年度）			
	R4	R5	R6	R7
1 府中市公共施設保全計画の見直し	○府中市公共建築物長寿命化計画（仮称）の策定に向けた検討	○府中市公共建築物長寿命化計画（仮称）の策定に向けた調査・検討	▽継続	●府中市公共建築物長寿命化計画（仮称）の策定
2 施設情報の一元化	○修繕履歴管理システムの運用・活用	▽継続	▽継続	▽継続
3 建物の日常点検と劣化状況調査等の実施	○日常点検と劣化状況調査等の実施	▽継続	▽継続	▽継続

### ●進捗管理表

取組項目	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
<b>進捗評価</b>	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
1 府中市公共施設保全計画の見直し	実績 府中市公共建築物長寿命化計画（仮称）の策定に向け、委託内容のまとめ及び見積りを徴した。また、政策経営会議に向けた資料作成及び提出を行った。	他自治体の作成状況等の情報収集を実施し、府中市公共建築物長寿命化計画（仮称）の仕様書を作成のうえ、契約依頼を行った。	府中市公共建築物長寿命化計画（仮称）の策定に向け、各課が所管する71施設の老朽化調査を開始した。	各施設の部位別劣化度判定、建築設備の老朽化度調査・作動状況調査等の調査結果を確認し、情報整理を行った。	計画案の全体構成の検討を進めたほか、計画の目的や位置づけの整理、個別施設ごとの改修等試算条件の検討及び費用試算などを行った。	計画対象施設の将来費用の算出を進めたほか、施設所管課への意見照会や計画案の作成を進めた。	府中市公共施設長寿命化指針（案）及び府中市一般公共施設長寿命化計画（案）の策定に向け、施策や計画策定後の運用などの検討を進めた。	府中市公共施設長寿命化指針及び府中市一般公共施設長寿命化計画を策定した。
	予定 府中市公共建築物長寿命化計画（仮称）の仕様書の作成、他自治体の作成状況等の情報収集を行う。	府中市公共建築物長寿命化計画（仮称）の策定に向け、老朽化調査を実施する。調査に向け各課に協力を依頼する。	各施設の老朽化調査の結果を元に、施設ごとの改築及び改修等の中長期計画の策定に向けた情報整理を行う。	府中市公共施設長寿命化計画（仮称）の策定に向け、全体構成や個別施設の改築・改修等計画の検討を進める。	府中市公共施設長寿命化計画（仮称）の策定に向け、引き続き全体構成の検討を進めるほか、施設所管課への意見照会や計画策定後の運用等の検討を進める。	府中市公共施設長寿命化計画（仮称）の策定に向け、施策や計画策定後の運用などの検討を進める。	府中市公共施設長寿命化指針（案）及び府中市一般公共施設長寿命化計画（案）の策定に向け、施設内への意見照会や市民からの意見集約を進める。	府中市公共施設長寿命化指針及び府中市一般公共施設長寿命化計画に基づき、公共施設の計画的な保全に向けた取組を促進する。
2 施設情報の一元化	実績 修繕履歴管理システムの運用・活用について、保全研修を実施した。また、入力依頼、入力状況の確認を行った。	修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握した。	修繕履歴管理システムの運用・活用について、保全研修を実施した。また、入力依頼、入力状況の確認を行った。	修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握した。	修繕履歴管理システムの運用・活用について、保全研修を実施した。また、入力依頼、入力状況の確認を行った。	修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握した。	修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握した。	修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握した。
	予定 引き続き、修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握する。	修繕履歴管理システムの運用・活用について、保全研修を実施する。また、入力確認、入力状況の把握を行う。	引き続き、修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握する。	修繕履歴管理システムの運用・活用について、保全研修を実施する。また、入力確認、入力状況の把握を行う。	引き続き、修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握する。	引き続き、修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握する。	引き続き、修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握する。	引き続き、修繕履歴管理システムへの入力確認を定期的実施し、入力状況を把握する。
3 建物の日常点検と劣化状況調査等の実施	実績 施設の不具合原因等の保全研修を実施、劣化状況調査の報告を受けた。技術的支援業務は、施設所管課からの相談を受けるとともに、不具合情報の共有化及び履歴管理することを目的とした修繕等相談カードの運用を9月から開始した。	施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応した。また、修繕等相談カードを活用し情報の共有化を図った。	施設の不具合原因等の保全研修を実施し、劣化状況調査の報告を受けた。技術的支援業務は、施設所管課から修繕等相談カードを活用して相談を受け、不具合情報の共有化及び履歴管理することを進めた。	施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応した。また、修繕等相談カードを活用し情報の共有化を図った。	施設の不具合原因等の保全研修を実施し、劣化状況調査の報告を受けた。技術的支援業務は、施設所管課から修繕等相談カードを活用して相談を受け、不具合情報の共有化及び履歴管理することを進めた。	施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応した。また、修繕等相談カードを活用し情報の共有化を図った。	施設の不具合等の保全研修を実施し、劣化状況調査の報告を受けた。技術的支援業務は、施設所管課から修繕等相談カードを活用して相談を受け、不具合情報の共有化及び履歴管理することを進めた。	施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応した。また、修繕等相談カードを活用し情報の共有化を図った。
	予定 引き続き、施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応する。また、修繕等相談カードを活用し情報の共有化を図る。	保全研修を実施し、劣化状況調査の報告を受ける。施設所管課からの相談や協力の依頼に修繕等相談カードを活用し随時対応する。	引き続き、施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応する。また、修繕等相談カードを活用し施設修繕等情報の共有化を図る。	引き続き、施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応する。また、修繕等相談カードを活用し随時対応する。	引き続き、施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応する。また、修繕等相談カードを活用し随時対応する。	引き続き、施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応する。また、修繕等相談カードを活用し随時対応する。	引き続き、施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応する。また、修繕等相談カードを活用し随時対応する。	引き続き、施設所管課からの相談や協力の依頼に随時対応する。また、修繕等相談カードを活用し随時対応する。

※次頁に続く

取組項目	第3次推進プランの取組スケジュール（令和4年度～令和7年度）			
	R4	R5	R6	R7
4 改修工事及び修繕の優先順位付け	○改修工事及び修繕の優先順位付けの実施	▽継続	▽継続	▽継続
5 新たな事業手法の積極的な検討	○多様な事業手法の導入可能性の検討	▽継続	▽継続	▽継続
	●修繕に関する単価契約の試行実施及び今後の方針の決定	○方針に基づく取組の実施	▽継続	▽継続
6 委託業務の見直し	●包括管理業務委託の試行実施及び今後の方針の決定	○方針に基づく取組の実施	▽継続	▽継続

### ●進捗管理表

取組項目	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
4 改修工事及び修繕の優先順位付け	実績 次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を受け、ヒアリングを実施した。	二次経費の積算及び優先順位リストの作成を行った。また、工事及び委託について、施工依頼を受けた。	次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を受け、ヒアリングを実施した。	二次経費の積算及び優先順位リストの作成を行った。また、工事及び委託について、施工依頼を受けた。	次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を受け、ヒアリングを実施した。	二次経費の積算及び優先順位リストの作成を行った。また、工事及び委託について、施工依頼を受けた。	次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を受け、ヒアリングを実施した。	二次経費の積算及び優先順位リストの作成を行った。また、工事及び委託について、施工依頼を受けた。
	予定 二次経費の積算及び優先順位リストの作成を行う。また、工事及び委託について、施工依頼を受ける。	次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を依頼する。また、ヒアリングを実施する。	二次経費の積算及び優先順位リストの作成を行う。また、工事及び委託について、施工依頼を受ける。	次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を依頼する。また、ヒアリングを実施する。	二次経費の積算及び優先順位リストの作成を行う。また、工事及び委託について、施工依頼を受ける。	次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を依頼する。また、ヒアリングを実施する。	次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を依頼する。また、ヒアリングを実施する。	次年度の二次経費の優先順位付けを行うため、積算依頼の提出を依頼する。また、ヒアリングを実施する。
5 新たな事業手法の積極的な検討	実績 単価契約の試行実施を延長し、課題をまとめ、効果の検証及び評価を行い、今後の方針を検討した。	単価契約の試行実施を行い、課題や効果を把握し、内容の見直しを行った。庁内で協議、調整しながら今後の方針を定めた。	単価契約の試行実施を延長し、効果や課題の把握を行った。また、方針に基づき、単価契約で行っていた50万円未満の修繕を次期包括管理業務委託に加えるなど、令和6年度に向けた委託の仕様を整理した。	単価契約で実施していた修繕のうち、50万円未満の修繕を包括管理業務委託に加えるなど手法を見直した。	包括管理業務において50万円未満の修繕を実施し、業務効率化の効果を確認した。	保育所や学童クラブ等における包括管理業務において50万円未満の修繕を実施し、業務効率化の効果を確認した。	保育所や学童クラブ等における包括管理業務において50万円未満の修繕を実施し、業務効率化の効果を確認した。	保育所や学童クラブ等における包括管理業務において50万円未満の修繕を実施し、業務効率化の効果を確認した。
	予定 引き続き、単価契約の試行実施を行い、課題や効果を把握する。また、庁内及び民間事業者と協議、調整しながら今後の方針を定める。	引き続き、単価契約の試行実施を行い、課題や効果を把握する。また、庁内及び民間事業者と協議、調整しながら方針に基づく取組を実施する。	引き続き、単価契約の試行実施を行うとともに、試行実施終了に向けた準備を行う。また、次期包括管理業務について公募型プロポーザル方式による募集を実施し、受注候補事業者を選定する。	新たな手法による包括管理業務委託を試行的に実施し、効果や課題を確認する。	包括管理業務において修繕を実施することの効果を確認する。	引き続き、包括管理業務において修繕を実施することの効果を確認する。	引き続き、包括管理業務において修繕を実施することの効果を確認する。	引き続き、包括管理業務において修繕を実施することの効果を確認する。
6 委託業務の見直し	実績 包括管理業務委託の試行実施を延長し、課題をまとめ、効果の検証及び評価を行い、今後の方針を検討した。	包括管理業務委託の効果や課題を把握し、庁内及び民間事業者と協議、調整しながら今後の方針を定めた。	包括管理業務委託の試行実施を延長し、効果や課題の把握を行った。また、次期包括管理業務の公募型プロポーザル方式による募集に向けた調整を進めた。	包括管理業務委託の事業者を公募型プロポーザル方式で選定し、委託事業の開始に向けた調整を進めた。	包括管理業務委託に統括マネジメント業務や修繕業務などの新たな業務を追加し、包括管理業務の試行を実施した。	包括管理業務委託に業務を追加したことについて、施設所管課へ負担軽減効果の検証を行い、効果が発揮されていることを確認した。	運用方法の見直しとして、受託者による巡回点検方法の見直し、修繕対応の円滑化、施設所管課との情報共有の強化を図った。	現在の仕様で委託することによって、施設所管課における施設管理に係る業務負担の軽減や、同等のコストで多くの箇所の補修・修繕が進んでいることを確認した。
	予定 引き続き、包括管理業務委託の効果や課題を把握する。また、庁内及び民間事業者と協議、調整しながら今後の方針を定める。	引き続き、包括管理業務委託の効果や課題を把握する。また、次期包括管理業務に向けてプロポーザルを実施する。	引き続き、包括管理業務委託の効果や課題を把握する。また、次期包括管理業務について公募型プロポーザル方式による募集を実施し、受注候補事業者を選定する。	統括マネジメント業務や修繕業務などの新たな業務を追加し、引き続き、包括管理業務委託の効果や課題を把握する。	業務内容を追加したことにより施設管理品質の向上及び均一化、施設所管課の負担軽減効果などの検証を行い、課題等の把握を進める。	引き続き、業務を追加した包括管理業務委託の効果や課題の把握を進める。また、包括管理業務の試行終了に向けた検討を進める。	引き続き、包括管理業務における効果を確認するとともに、本市における公共施設の包括管理の方向性を検討する。	次期包括管理業務委託についての方針を定め、継続する場合は事業者公募に向けた準備を行う。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価		B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	項目	1 今後の計画的保全の取組について検討を行い、府中市公共施設保全計画の更新として「府中市公共施設長寿命化指針」を策定したほか、一般公共施設に関する実行計画である「府中市一般公共施設長寿命化計画」を策定した。
		2 公共施設の修繕履歴の蓄積について庁内に周知を図り、修繕履歴管理システムによる情報集約を進めた。
		3 施設の不具合に関する保全研修を実施し、劣化状況調査の報告を受けた。技術的支援として、施設所管課からの修繕相談を「修繕等相談カード」で受け付け、不具合情報の共有と履歴管理を進めた。また、施設所管課からの相談や協力依頼に随時対応し、相談カードを活用して不具合の対応方法について情報共有を図った。
		4 次年度の二次経費の優先順位付けに向けて、積算依頼を受けてヒアリングを行い、積算作業と優先順位リストの作成を実施した。また、当該リストを勘案した所管課からの施工依頼に対応することで、施設の劣化度、緊急度及び優先度などを勘案した施設修繕を進めることができた。
		5 公共施設包括管理業務を通じ、施設修繕に係る発注方法について、単価を定める契約手法を含む新たな事業手法の検討・試行を行った。その検証結果を踏まえ、従来単価契約により実施していた修繕のうち、50万円未満の修繕を包括管理業務委託に加えるなど、事業手法の見直しを行い、修繕業務を包括管理業務に組み込むことで、職員負担の軽減が図られることを確認した。
		6 包括管理業務委託の試行実施を延長し、令和4年度から6年度にかけて仕様内容の見直しと効果検証を行った。令和7年度には現行仕様での委託により、施設管理業務の負担軽減や、同等のコストで多くの補修・修繕が進んでいることを確認した。

モデル事業5 府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用				
担当課 建築施設課 各施設所管課				
概要	老朽化が課題となる施設を中心に、効率的な施設の更新や資産の有効活用について、近隣施設を一体的に検討する。			
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成28年1月に「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針」を策定したが、策定から一定期間が経過し、施設を取り巻く状況に変化が見られる。</li> <li>◆老朽化の進行により、建て替え等の検討を要する施設が近接している。</li> </ul>			
対象施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆モデル事業1で対象とした施設を中心に、状況の変化や老朽化に伴い検討が必要な施設を対象とする。</li> <li>◆対象エリア：府中駅から半径約500mの範囲内（徒歩圏内）</li> </ul>			
	施設名	主な機能	しゅん工年度	築年数
	中央文化センター	公民館、高齢者福祉館、児童館	昭和43（1968）年度	55年
	ふれあい会館	事務室、相談室、会議室	昭和50（1975）年度	48年
	保健センター	休日夜間診療、健康推進事業	昭和52（1977）年度	46年
府中駅北第2庁舎	事務室、駐輪場	平成3（1991）年度	32年	
検討体制	府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会を設置して第三者の視点から検討を行うほか、幅広く市民等の意見を聴き、方針を決定する。			

対象施設における今後の方向性	
文化センター	・施設の改築に向けて、市民ニーズや施設の稼働状況、周辺公共施設の状況を踏まえ、今後必要な機能の整理や施設の在り方の見直しを行い、地域拠点機能を向上させる。
ふれあい会館	・施設の更新時期を見据え、必要な機能の整理を行うほか、周辺施設との複合化等について可能性を検討していく。
保健センター	・施設の更新時期を見据え、必要な機能の整理を行うほか、周辺施設との複合化等についての可能性を検討していく。
府中駅北第2庁舎	・新庁舎整備後の府中駅北第2庁舎について、効果的な活用を検討していく。

スケジュール	R4	R5	R6	R7
	○対象施設に関する諸条件の整理	○対象施設ごとの最適な取組について検討	●対象施設の効率的な更新と活用に関する方針の決定	○方針に基づく取組の実施
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆効率的に建て替え等を行うことで更新費用を削減する。</li> <li>◆建て替え等に合わせて機能整理を行うことで、市民ニーズ等に沿った施設を目指す。</li> <li>◆取組により生じた資産を活用することで、新たな取組や収益の確保につなげる。</li> </ul>			

### ●進捗管理表

取組項目	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期	
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
モデル事業5に関する取組	実績	対象施設の状況を整理するとともに、関係課による打合せを行い、次年度の検討に向けた準備を行った。	対象施設の状況を整理し、他市の事例等の情報収集を行った。また、次年度に予定している検討協議会設置に向けた準備を行った。	対象施設の利用状況等を整理するとともに検討協議会を運営し、対象施設で想定できる様々な手法を分析しながら最適な取組について検討を進めた。併せて、対象施設の利活用について事業化の可能性を把握するため、民間事業者へのサウンディングに向けた準備を行った。	年度内に全5回の検討協議会を開催したほか、対象施設が抱える課題や検討協議会からの答申、サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、対象施設に係る基本方針（案）の作成を進めた。	基本方針策定に向けて、パブリック・コメント手続を実施し、市民意見を募集した。また、9月上旬にオープンハウスを開催し、市民との直接の対話を通して、意見を聴取した。	市民意見を踏まえて「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」の策定及び公表を行った。 また、中央文化センター等複合施設整備基本計画策定業務委託に係る公募型プロポーザルを実施し、事業者を選定した。	関係課との連携体制を構築するため、複合施設の整備等に係る庁内の検討委員会を設置した。 また、複合施設に必要な機能等の整理を進めた。	関係課と連携し、複合施設に必要な機能等の整理を進めた。 また、市民意見を聴く機会として、座談会やアンケート・ヒアリング等を実施した。
	予定	引き続き、対象施設の状況を整理するとともに、想定される手法に関する他市の先進事例等、情報収集に努める。また、関係課と連携し次年度の検討に向けた各種手続を行う。	引き続き対象施設の状況を整理するとともに、検討協議会の意見を踏まえながら最適な取組について検討を行う。	引き続き検討協議会を運営し年度内に答申を受けるとともに、対象施設の利活用について民間事業者へのサウンディングを実施し、次年度の方針策定に向けた検討を進める。	基本方針（案）に市民意見を反映するため、オープンハウスやパブリック・コメント手続の実施に向けた各種手続を行う。	市民意見を踏まえて基本方針（案）を修正し、策定に向けた手続を進める。	策定した基本方針に基づき、関係課と必要な機能等の整理を行い、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き複合施設に必要な機能等の整理を進めるとともに、市民意見を聴く機会を設けて、基本計画の策定に向けた検討を進める。	引き続き複合施設に必要な機能等の整理を進めるとともに、広く市民意見を聴く機会を設けて、基本計画の策定に向けた検討を進める。また、事業手法の検討に向け、民間活力導入可能性調査に着手する。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価	B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	対象施設の状況を整理するとともに、それぞれの最適な取組について検討を進め、令和6年10月に「府中駅周辺公共施設の効率的な更新と活用に係る基本方針」を策定した。また、基本方針に基づき、中央文化センター等複合施設整備基本計画の策定に向け、複合施設に必要な機能の整理や市民意見の聴取等を進めた。

モデル事業6 地域対応施設の機能連携と複合化		担当課 建築施設課 各施設所管課
概要	地域ごとに同様の機能を有し、地域住民の生活に密接に関わる施設（以下「地域対応施設」といいます。）について、機能（ソフト）面、施設（ハード）面の双方から連携の可能性について検討する。	
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化センターは、老朽化の進行に伴い、計画的な建て替えについて検討を進めている。</li> <li>◆学校施設は、平成29年1月に策定した「学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針」において、更なる活用方策として、施設の更新に合わせた複合化を掲げている。また、令和2年2月に策定した「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」でも、児童・生徒数を踏まえながら他の公共施設との複合化について継続的に検討するとしている。</li> <li>◆学童クラブは、学校施設の建て替えに合わせた複合化を基本としている。</li> <li>◆総量抑制・圧縮に向けた取組が求められる中、地域対応施設には互いに類似機能をもつ施設もあり、連携の可能性を有している。</li> </ul>	
対象施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化センター、学校施設、学童クラブなどの地域対応施設を対象とする。</li> <li>◆具体的な対象施設については、学校施設や文化センターの建て替えに向けた検討状況などを踏まえて、モデル事業の取組の中で決定する。</li> </ul>	
検討体制	府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会を設置して第三者の視点から検討を行うほか、幅広く市民等の意見を聴き、方針を決定する。	

対象施設における今後の方向性	
文化センター	・施設の改築に向けて、市民ニーズや施設の稼働状況、周辺公共施設の状況を踏まえ、今後必要な機能の整理や施設の在り方の見直しを行い、地域拠点機能を向上させる。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、府中市学校施設改築・長寿命化改修計画に基づいた更新を行うに当たり、周辺公共施設との連携や複合化を検討し、地域拠点としての学校の実現を目指す。</li> <li>・新たなニーズが生じた場合には、更なる施設開放の可能性について検討する。</li> <li>・周辺公共施設との複合化に合わせ、効率的な施設管理手法を検討する。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、府中市学校施設改築・長寿命化改修計画に基づいた更新を行うに当たり、周辺公共施設との連携や複合化を検討し、地域拠点としての学校の実現を目指す。</li> <li>・新たなニーズが生じた場合には、更なる施設開放の可能性について検討する。</li> <li>・周辺公共施設との複合化に合わせ、効率的な施設管理手法を検討する。</li> </ul>
学童クラブ	・育成室の狭あい化が進行している学童クラブは将来需要を分析した上で、学校の改築に合わせて学校施設と複合化することで、育成面積の確保を図る。

※これらの施設は、地域対応施設のうち「背景」欄に記載のある主な施設です。  
具体的な対象施設については、その他の地域対応施設も含めて検討していきます。

	R4	R5	R6	R7
スケジュール	○対象施設の検討及び調整	▽継続	○対象施設の決定及び機能連携や複合化について検討	○対象施設の機能連携や複合化について検討
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の拠点施設としての機能強化。</li> <li>◆世代間交流を活性化することにより、地域のつながり強化や社会性の向上など教育的効果。</li> <li>◆一体的かつ効率的な建て替えによる、更新費用や建て替え後の維持管理費用の削減。</li> <li>◆取組により生じた資産を活用することによる、新たな取組や収益の確保。</li> </ul>			
今後の展望	令和7年度の検討状況を踏まえて、令和8年度を目途に対象施設の機能連携や複合化に関する方針を決定する。			

### ●進捗管理表

取組項目	令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる
モデル事業6に関する取組	実績 各地域拠点施設の動向を把握し、対象施設の検討を進めた。	各地域拠点施設の所管課と情報を共有しながら、対象施設の決定に向けた検討を進めた。	モデル事業6の検討結果を次期推進プランに反映させるため、令和7年度に方針を決定するようスケジュールを調整した。また、各地域拠点施設の更新に係る取組や計画策定に係る検討について、関係課と情報を共有した。	令和6年度に開催を予定する検討協議会の準備を進めたほか、対象施設として想定している学校施設や文化センターの担当課と今後の取組について情報を共有した。	検討協議会を立上げ、会議を開催した。また、機能連携や複合化の可能性を検討するため、地域対応施設の機能や立地状況の整理、他市事例の確認など分析を進めた。	年度内に全7回の検討協議会を開催したほか、検討協議会からの答申を受けた。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）において、取組基本方針として検討した。	市民意見を踏まえて第4次府中市公共施設マネジメント推進プランにおいて、取組基本方針として位置付けた。
	予定 令和6年度以降の具体的な検討に向けて、引き続き、各施設の動向を注視しながら、対象施設の検討を行う。	各地域拠点施設の更新に係る取組や、計画策定に係る検討に関わりながら、対象施設の決定に向けた検討を行う。	次年度に予定している具体的な検討や協議会の開催に向けて準備を進めるとともに、引き続き各地域拠点施設に係る取組について、関係課と情報を共有する。	検討協議会の開催に向けて準備を進めるとともに、他の自治体の事例の情報収集等を行う。	引き続き検討協議会を運営するとともに、地域対応施設における機能連携や複合化の可能性について検討を進める。	検討協議会からの答申を踏まえ、引き続き検討を進める。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）の策定に向けた手続を進める。	第4次府中市公共施設マネジメント推進プランにおいて位置付けた取組基本方針に基づき、取組を進める。

※次頁に続く

● 4年間の取組の総括

評価	B. 予定どおり方針決定や計画策定を行った。
取組の成果	施設所管課や検討協議会において、地域対応施設の機能連携や複合化の検討を行い、第4次府中市公共施設マネジメント推進プランの取組基本方針として位置付けた。